



取扱説明書

XL

メモリーナビシステム



**最初にクイックセットアップ
を完了させてください**

操作は2～3ページで！



このたびは、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、本書の「安全のために必ずお読みください」(22～25ページ)を必ずお読みください。

- お使いになる前に本書をよくお読みください。
- お読みになった後も、本書を手元に置いてご使用ください。

初期設定

はじめに

ナビ

電話・通信

A/V

設定・調整

情報・更新

オプション機器

付録

索引

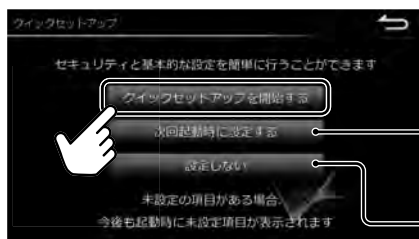
1. 初期設定

クイックセットアップをする(1/2)

本機の初回起動時にクイックセットアップ画面が表示されます。お客様向けクイックセットアップを行うと、本機をより便利に使うことができます。

■ クイックセットアップを行いましょ！

クイックセットアップを開始する をタッチしてください。



今回はクイックセットアップを行いません。次回起動時に再びクイックセットアップの画面が表示されます。

クイックセットアップを行いません。クイックセットアップの項目を設定するときは、「各種設定」画面から個別に設定してください(95ページ)。



セキュリティコードを設定する

パスワードロックにより、盗難時に個人情報の流出を防止するとともに、盗難そのものを防止する効果があります。

• 設定を行わない場合は **次へ→** をタッチします。



設定する をタッチする

任意のセキュリティ
コードを入力する
(3～12桁の英数字)

完了 をタッチする

- 設定が終わったら **次へ→** をタッチしてください。
- セキュリティコードの設定が完了すると、「セキュリティインジケータ設定」(107ページ)も「する」に設定されます。
- 登録したセキュリティコードは、セキュリティの解除やセキュリティコードの変更を行うときに必要になります。メモなどをしておくことをおすすめします。

自宅を登録する

自宅を登録すると簡単に帰宅ルートを探求できるので便利です。

自宅駐車場に車を停めて、自転車位置をタッチするだけで簡単に登録できます。

• 設定を行わない場合は **次へ→** をタッチします。



設定する をタッチする

地図から をタッチする

自転車位置をタッチする



登録 をタッチする

自宅が登録されます

- 設定が終わったら **次へ→** をタッチしてください。
- **電話番号から** **住所から** で自宅位置を探求して登録することもできます。

1. 初期設定

クイックセットアップをする(2/2)

初期設定

クイックセットアップをする

ガイド音声の音量を設定する

ルート案内中のガイド音声案内の音量設定を行います。

音声をOFFにすることもできます。

初期設定値：4



< > をタッチして音量を調整する

- 設定が終わったら **次へ** をタッチしてください。

優先して探索するルート条件を設定する

優先的に探索・表示するルート条件を設定します。

探索条件は「推奨」「一般」「距離」「幹線」「燃費」「別ルート」の6ルートです。

初期設定値：推奨

＜有料道路優先「する」(※)＞



優先したいルート条件をタッチして選ぶ

- 設定が終わったら **次へ** をタッチしてください。
 - 目的地到着に時間と料金のバランスを考慮したいときは「推奨」(※)、燃費消費量を節約したいときは「燃費」、できるだけ幹線道路を通りたいときは「幹線」と用途に応じて設定してください。
- ※「有料道路優先」(100ページ)を「する」にした場合、「推奨(有料優先)」と表示されます。

地図/メニュー画面の文字サイズを変更する

ナビゲーション地図画面に表示される地名・施設名や、ナビ/オーディオビジュアルメニュー画面に表示される文字サイズを「大」「標準」のいずれかに設定します。

初期設定値：標準



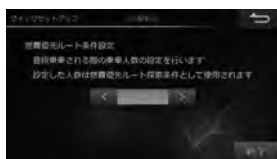
変更するには **大** をタッチする

- 設定が終わったら **次へ** をタッチしてください。

燃費優先ルートの条件を設定する

乗車する人数の設定を行います。設定された人数は「燃費優先」ルート探索条件として使用されます。

初期設定値：4人



< > をタッチして人数を設定する

クイックセットアップを終了する



終了 をタッチする

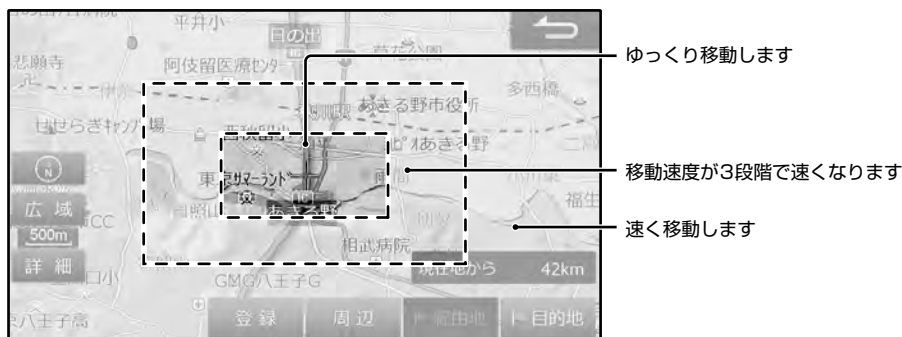
画面メッセージを確認して
はい をタッチする

2. はじめに 地図の操作について(1/2)

タッチ操作・フリック(はらう)操作・ドラッグ(なぞる)操作、二本の指で画面を操作するピンチイン(とじる)、ピンチアウト(ひろげる)による地図操作ができます。

タッチ操作での地図の動かし方

地図画面のタッチスイッチ以外をタッチすると、タッチした位置が画面中央に移動します。また、地図画面にタッチし続けると、その方向に地図が移動します。タッチし続けるエリアによって移動する速さがかわります。



フリック操作・ドラッグ操作での地図の動かし方

<フリック操作>

動かしたい方向に画面を指で軽くはらうと地図画面が移動します。



<ドラッグ操作>

画面を指でタッチしたままなぞるように動かすと地図画面が指の動きに合わせて移動します。



・はらう速度に応じて移動する長さが変わります。

ピンチイン・ピンチアウト操作での地図の動かし方

地図エリアの縮尺を切りかえたいときに操作してください。

・細街路地図表示のときは操作できません。

<ピンチイン操作>

画面を2本の指でタッチしたままとじるようにすると地図縮尺が縮小します。



<ピンチアウト操作>

画面を2本の指でタッチしたままひろげると地図縮尺が拡大します。



2. はじめに 地図の操作について(2/2)

現在地画面について

電源を入れると、地図に現在の車の位置(自車位置)を主体に見た地図が表示されます(現在地画面)。

VICSタイムスタンプ※

高速渋滞情報や駐車場の空き情報が提供された時刻を表示します。タッチすると、ルート上にある高速道路上のJCT(ジャンクション)やIC(インターチェンジ)の混雑状況がわかる高速渋滞情報画面を表示します(13ページ)。

地図表示切りかえ

タッチするたびにヘディングアップ→3Dマップ→ノースアップの順に切りかわります。

ナビ・オーディオ操作スイッチ (27ページ)



【現在地】スイッチを押すと現在地画面を表示します。

自車位置マーク
車の位置と向いている方向を示します。自車マークは変更することができます(97ページ)。

※ 大雨や大雪、大津波などの特別警報情報を受信した際には[特別警報]アイコンを表示します。



タッチすると受信した気象警報・災害エリアリスト画面を表示します(「気象警報/災害エリア」129ページ)。また、特別警報情報を受信した際に[特別警報]アイコンを表示しないように設定することができます。

ノースアップ/ヘディングアップ/3Dマップ表示について

常に北方向を上にして表示する地図(ノースアップ)と、進む方向を上にした地図(ヘディングアップ)があります。また、立体的な地図(3Dマップ)に切りかえることもできます。



ノースアップ



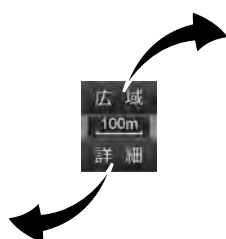
ヘディングアップ



3Dマップ

縮尺の変更(地図スケール切りかえ)について

地図を拡大または縮小して表示します。地図画面に表示される情報は縮尺によって異なります。一方通行などは地図を拡大して詳細地図にすると表示されます。



市街地図が収録されている都市では50m以下のスケールにすると市街地図を表示し、さらに詳細な道路・建物形状・建物名称などが表示されます。

- **広域** または **詳細** をタッチすると13段階で縮尺が切りかわります。**広域** または **詳細** をタッチし続けると、無段階で縮尺を切りかえます。
- ピンチイン・ピンチアウト操作でも地図の縮尺を変更することができます(4ページ)。(細道路地図表示のときは操作できません。)

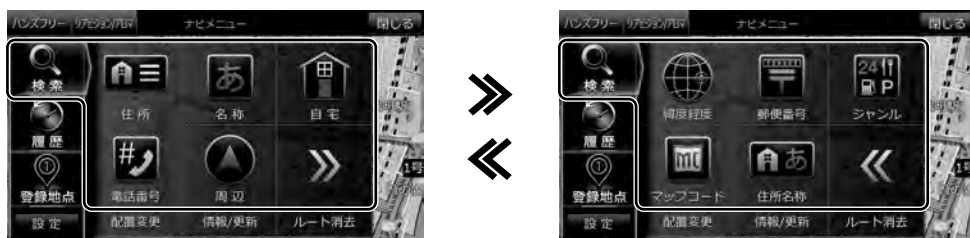
2. はじめに ナビメニュー画面について

目的地検索や設定・編集などナビに関するすべての操作が、この画面からスタートできます。

■ バリエーション豊かな目的地検索方法

ナビメニューから現在地の周辺施設・目的地の名称・住所・電話番号など、多彩な方法による目的地検索ができます(36、37ページ)。過去に訪れた場所は履歴から、自宅・販売店・あらかじめ登録した場所は登録地点から、それぞれ目的地を探し出せます。

<さまざまな方法による目的地検索>



<目的地履歴からの目的地検索>



<登録地点からの目的地検索>



■ ナビメニュー操作画面について

「次に行う操作画面」が画面切りかえを意識することなく表示されますので、直感的に目的地設定を行うことができます。



2. はじめに

住所で目的地を探してルート案内する

現在地点からルートを決めます。目的地はさまざまな方法で探し出せますが、ここでは都道府県から住所を絞り込んで目的地を設定する方法について説明します。

1 [④ NAVI] スイッチを押してナビメニュー 検索

画面から **住所** にタッチする

- ・住所リスト画面が表示されます。
- ・住所の絞り込みは、都道府県名→市町村名→大字→丁目・字→番地→戸番の順に行います。



2 地方名タブにタッチし都道府県名にタッチする



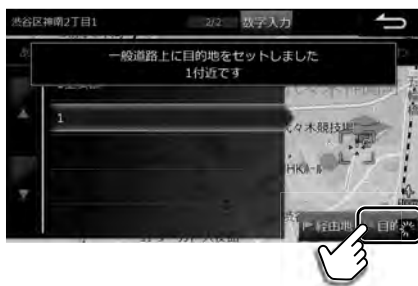
3 50音タブにタッチし、市町村名→町名→番地などを順に選ぶ

- ・検索した住所周辺の地図が画面右側に表示されます。



4 **目的地** をタッチする

- ・目的地までのルート探索が行われ、探索終了後、探索結果画面が表示されます。



5 走行するか、**案内開始** にタッチすると自車位置画面を表示しルート案内を開始する

- ・ルート探索条件は「クイックセットアップ」(2、3ページ)、「優先探索ルート」(100ページ)で設定したルートとなります。
- ・**他ルート** にタッチして、他の探索条件のルートを選択することができます。他ルートについて詳しくは40ページを参照してください。
- ・設定されたルートの詳細は「ルート確認・編集画面」(41ページ)で確認してください。



2. はじめに 主な画面の見かた(1/5)

■ ルート案内画面について

ルートを設定するとルート案内画面に切りかわります。ルート案内中は音声での案内のほか、さまざまな案内画面が地図上に表示されます。

はじめに
主な画面の見かた

到着予想時刻と目的地までの距離の目安を確認することができます。



方向誘導線
自車位置からの目的地や経由地の方向が直線で表示されます。
(方向誘導線を表示するかどうかを設定できます(「誘導方向表示」96ページ。))

青色で目的地までの案内ルートを表示します。

ルートの確認・編集画面を表示します(41ページ)。

今いる場所や道路名を確認できます。

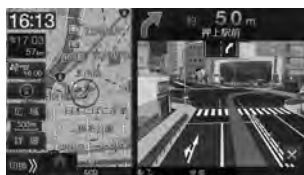
・VICS規制マークやその他の地図画面については、「地図画面の見かた」(187ページ)も合わせてご覧ください。

<多彩な補助画面>

交差点・分岐点・高速道路の出入り口など迷いがちなポイントは、リアルな3D拡大図などさまざまな表示でわかりやすく案内します(44～46ページ)。



交差点拡大図



リアル3D交差点拡大図



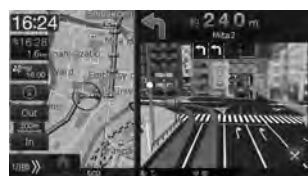
高速分岐案内



高速渋滞モード



方面看板表示



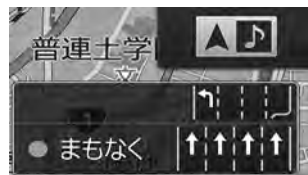
英語表示・案内



ビッグアロー表示



細街路案内







レーン(車線)ガイド表示

主な画面の見かた(2/5)

地図切換画面について

地図画面で **地図切換** をタッチすると地図切換アイコン画面がポップアップ表示されます。地図画面の表示のしかたを1画面・2画面・行程ガイドから選択できます。また、エコインフォの画面表示を行うこともできます。

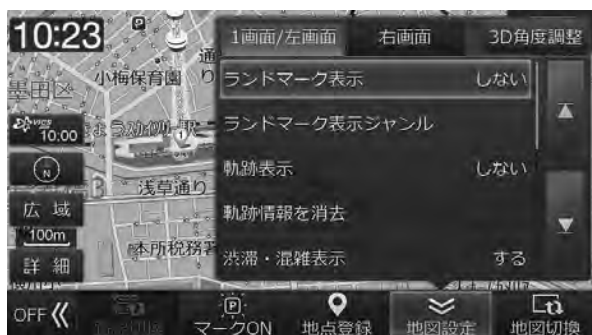


 1画面	地図を一画面で表示します。	<ul style="list-style-type: none"> 縮尺を変更して詳細スケールと広域スケールの2画面を表示させたり、3D市街地図とノースアップ地図とを組み合わせることなどができます。 2画面表示のときに左右の自車位置が若干ずれることがあります。これは左右別々に描画しているためで故障ではありません。 2画面表示のとき左右両画面で同時に3Dマップを表示することはできません。 高速・有料道路モード地図は左画面にのみ表示されます。
 2画面	地図画面を左右に分割します。	<ul style="list-style-type: none"> 行程ガイド画面に表示されるマークについては「行程ガイドマーク一覧」(47ページ)および「行程ガイド施設マーク一覧」(47ページ)を参照してください。 ▲ ▼ をタッチすると前後の行程を表示します。タッチし続けると連続して行程ガイドをスクロールします。行程ガイドを現在の位置に戻すには [現在地] スイッチを押します。 ジャンクション間の混雑状況を表示することができます(46ページ)。
 行程ガイド	<p>目的地案内中に、走行中のルートの簡易行程図を表示します。行程ガイド画面では、交差点や高速道路のインターチェンジ・SA/PAなどが現在地に近いほうから表示されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> エコインフォについて詳しくは「エコインフォについて」(52ページ)を参照してください。
 エコインフォ	<p>エコインフォでは車速・GPS・ジャイロなどの情報をもとに、ドライブに役立つ車の様々な情報を表示します。</p>	

2. はじめに 主な画面の見かた(3/5)

地図設定画面について

地図画面で **地図設定** にタッチすると地図設定画面が表示されます。地図に表示する内容などを設定することができます。また、立体的な地図(3Dマップ)を表示しているときの視点の角度を変えることもできます。



1画面/左画面 /



右画面

地図に表示する内容などを左画面(1画面)と右画面で個別に設定することができます。

・設定内容については、「各種設定—地図表示 設定画面について」(95ページ)を参照してください。

3D角度調整

立体的な地図(3Dマップ)を表示しているときの視点の角度を変えることができます。

・ をタッチするたびに立体的になり、 をタッチするたびに平面に近づきます。

ナビメニューカスタマイズ画面について

ナビメニューカスタマイズ画面ではナビメニュー画面に表示するアイコンを自由に入れかえることができます。よく使うアイコンを1ページ目にまとめて配置するなど、より使いやすい操作画面へのカスタマイズが可能です。

<アイコンの配置変更例: **自宅** と **電話番号** を入れかえる場合>

- 1 **[NAVI]** を押して
配置変更 アイコンをタッチする



・ナビメニューカスタマイズ画面を表示します。



- 2 **自宅** → **電話番号** アイコンをタッチする



- ・アイコンの位置が入れかわります。
- ・移動先が2ページ目の場合は、ページ切りかえスイッチにタッチして移動先のアイコンをタッチしてください。
- ・引き続き他のアイコンの配置変更をする場合は、手順2を繰り返してください。

- 3 アイコン配置が完了したら、**完了** をタッチする



・**初期配置** をタッチすると、ナビメニューカスタマイズ前の初期状態に戻ります。

2. はじめに 主な画面の見かた(4/5)

■ 設定・調整画面について

設定・調整画面では、本機に関するさまざまな設定操作を行うことができます。詳しくは「6. 設定・調整」(95 ~ 121 ページ)を参照してください。



- **設定** にタッチすると設定・調整画面を表示します。



- AVソースメニュー画面(71ページ)からも設定・調整画面を表示することができます。

■ 情報/更新画面について

情報/更新画面ではWi-Fi通信やメディアを使用して本機のデータ更新やVICS情報を確認することができます。詳しくは「7. 情報・更新」(122 ~ 132ページ)を参照してください。



- **情報/更新** にタッチすると情報/更新画面を表示します。

■ ハンズフリー画面について

ハンズフリーフォンの操作画面を表示します。詳しくは「電話をかける」(61ページ)を参照してください。



- **ハンズフリー** にタッチするとハンズフリーフォンの操作画面を表示します。



- AVソースメニュー画面(71ページ)からもハンズフリー操作画面を表示することができます。

2. はじめに 主な画面の見かた(5/5)

リアビジョン/アロマ設定画面について

リアビジョン/アロマ設定画面を表示します。プラズマクラスターの風量やアロマ噴出量の設定、サウンドなどの設定を行うことができます。詳しくは「リアビジョンについて」(140～145ページ)を参照してください。



- ・**リアビジョン/アロマ** にタッチするとリアビジョン/アロマ設定画面を表示します。

アドバイス

- ・AVソースメニュー画面(71ページ)からもリアビジョン/アロマ設定画面を表示することができます。
- ・カーアロマとリアビジョンを接続する場合は、カーアロマに対応したリアビジョンが必要です。

各種インジケータの表示について

本機の画面に、インジケータでさまざまな情報が表示されます。



- **BLUETOOTH機器/バッテリーレベル**
バッテリー残量をレベル0～3で表示します。
■: (レベル0) ~ ■: (レベル3)
■: 充電中 (BT AUDIO画面のみ表示)



- **ECOインジケータ**
エコ判定の点数により、「良好」、「普通」、「悪い」の3段階で表示されます(53ページ)。



Wi-Fi電界強度インジケータ

- : 未接続時。接続試行時は点滅します。
- : (レベル1) 接続時。電界強度をレベル1～4で表示します。通信中は点滅します。
- : (レベル4)

BLUETOOTHインジケータ

- 灰色は未接続、灰色点滅は接続試行時、青色は接続時、青色点滅は通信中です。
- : ハンズフリー通話用携帯電話登録時
- : BLUETOOTHオーディオ機器登録時
- : 携帯電話とオーディオ機器、どちらも登録してある場合

- **プラズマクラスターインジケータ**
プラズマクラスター対応リアビジョン接続時、設定した風量が表示されます(140ページ)。



ETC/ETC2.0インジケータ

- ETC車載器接続時はETCインジケータ、ETC2.0車載器接続時はETC2.0インジケータが表示されます。使用状態で色が異なります。
- : ETC車載器・カード使用可
- : ETC車載器・カード使用不可
- : ETC2.0車載器・ETCカード使用可
- : ETC2.0車載器使用可/ETCカード使用不可
- : ETC2.0車載器使用不可

BLUETOOTH電界強度インジケータ

- 電界強度をレベル0～3で表示します。
- : (レベル0) ~ ■: (レベル3)
- : 圏外



進捗バー

- データダウンロード中、ログアップロード中、データインストール中に進捗バーが表示されます。データダウンロード中は状態に応じて、ダウンロード休止/ダウンロード完了時に表示が変化します。

2. はじめに

便利なナビゲーション機能

お気に入り周辺検索機能について

よく使う施設(コンビニやファーストフードなど)を登録しておけば、すぐに「お気に入り」を周辺から検索できます。詳しくは「ルート案内を開始するーお気に入り周辺検索」(34、35ページ)を参照してください。

1 お気に入り をタッチする




2 行きたい施設アイコンにタッチする



- ・お気に入り周辺検索アイコン画面はカスタマイズすることができます(35ページ)。

高速渋滞情報画面について

ルート案内中に、VICISの渋滞情報を受信して高速道路上のJCT(ジャンクション)やIC(インターチェンジ)の混雑状況を表示します。現在地画面で  (VICISスタンプ)にタッチすると高速渋滞情報画面が表示されます。

<高速渋滞情報画面表示例>



- ・VICISからの交通情報を取得するので、一目で混雑状況わかります。

赤:混雑
橙:渋滞
緑:空き道
白:VICIS情報未取得

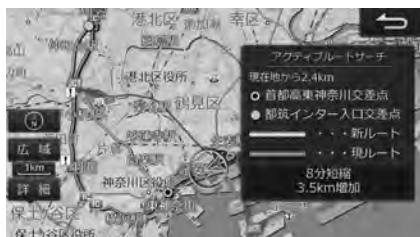
- ・▲ にタッチすると先の情報を表示し、▼ にタッチすると手前の情報を表示します。
- ・⏪ にタッチすると現在地画面に戻ります。

アクティブルートサーチ機能について

予期せぬ渋滞・通行止めなど道路状況の変化や交通情報を考慮して、目的地までの所要時間が走行中のルート案内よりも最短となるルートを探検したときに自動でルート変更を行います。

<アクティブルートサーチ画面例1>

ルート短縮内容が表示されます。



<アクティブルートサーチ画面例2>

抜け道発見の通知画面が表示されます。



- ・時間短縮できるルートが見つからない場合は、アクティブルートサーチ機能は動きません。詳しくは「アクティブルートサーチ」、「アクティブルートサーチ案内音声割込み」(100ページ)を参照してください。

2. はじめに ダブルゾーン機能について

ダブルゾーン機能について

本機にリアビジョンを接続すると前席(運転席、助手席)と後部座席で、同じAVソースを楽しんだり、またはそれぞれ独立したAVソースを楽しんだりすることができます。例えば、前席でラジオを聴きながら、後部座席ではDVDを楽しむことができます(「ダブルゾーンを設定する」(141ページ)を参照)。また、別売のリモコンを使用しリア用ダブルゾーンメニューから目的地検索や地図を見るなどのナビゲーション操作や後席個別モードの選択をすることができます(「リアビジョンから本機を操作する」(142ページ)を参照)。

<リア用ダブルゾーンメニューの画面表示例>



- ・リモコンの[リア専用メニュー]スイッチを押すと、リア用ダブルゾーンメニューを表示します。



- ・リアビジョン側で、目的地検索や地図を見ることができます。

ダブルゾーンサウンドコントロール機能について

前席と後席それぞれ独立したAVソースを視聴中、個別に音量調整を行った際、前席または後席音量が大きくなりすぎて視聴の妨げとなる音量の最適値を超えた場合にボリューム表示を赤色で表示します。前席と後席それぞれ最適値範囲内で音量調整することをお勧めします。詳しくは「ダブルゾーンサウンドコントロールについて」(145ページ)を参照してください。



- ・前席の音量調整をした場合、最適値の範囲内であれば青色で表示します。



- ・最適値を超えると赤色で表示します。

ダブルゾーンコミュニケーション機能について

後部座席では聞こえにくい運転手の声を、内蔵のハンズフリーマイクを利用してリアスピーカーから出力することができます。運転中でも、後ろを振り返ることなく会話がしやすくなります。詳しくは「ダブルゾーンコミュニケーションについて」(144ページ)を参照してください。

<本機側の画面表示例>



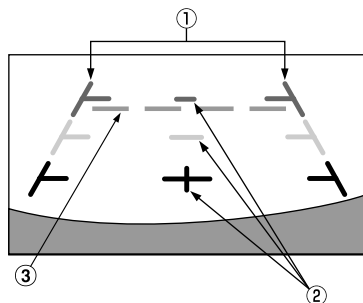
<リアビジョン側の画面表示例> (DVDソース視聴時)



- ・取付車両のサイズ、形状、スピーカー位置などによってはダブルゾーンコミュニケーション使用時にハウリングが起き、本機能を使用できない場合があります。

リアカメラのガイド線表示について

ガイド線が色別に表示されます。「リアカメラのガイド線について」(137ページ)もあわせてご覧ください。



• 実際の映像とは異なります。

■ 固定ガイド線

- ① 車幅延長マーク(手前より **赤色** **黄色** **緑色** のライン)

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたいときの進路の目安を示します。

- ② 距離目安マーク

クルマの後方(バンパー後端から)の距離を示します。

- それぞれの中心位置で、**約0.5m先(赤色)**・**約1m先(黄色)**・**約2m先(緑色)**を示します。

■ バックドア開閉ガイド線

- ③ バックドアガイド線(**水色** のライン)

バックドア(トランク)の開け閉めスペースを考慮したガイド線を表示します。

- 車種専用チューニング(112、180ページ)で対象車種を選択した場合のみ表示されます。

2. はじめに AVソースの選び方

AVソースメニュー画面について

[♪ AUDIO]スイッチを押すとAVソースメニュー画面が表示されます(71ページ)。

テレビ放送・DVDの映像・高音質の音楽などをお楽しみいただけます。iPodやウォークマン®を接続したり、USBメモリーの音楽を聴くことができます。

また、ダブルゾーンの各種設定やAVソースの音質調整をすることもできます。

「時計表示設定(映像ソース)」(105ページ)が「する」になっている場合、AVソース画面でのみ時計表示エリアをタッチすると時計表示のON/OFFができます。

テレビ放送の時計表示が重なって見づらい場合などは、時計表示をOFFにしてください。



テレビ放送を視聴します。遠くにドライブしても自動的に電波を切りかえて受信するので、チャンネル切りかえの手間はいりません(73ページ)。



ダブルゾーン設定画面が表示されます(141ページ)。

後席(リアビジョン)に出力するAVソースの切りかえや後席スピーカー音量の設定、目的地到着予想時間を表示させる設定などができます。



スマートフォンやビデオカメラなどに保存した映像・音楽・写真などを再生します(82ページ)。

別売DVDプレイヤー DVE-5300接続時は、DVD(149ページ)やCD(153ページ)を再生します(「HDMI接続機器選択」(103ページ)DVD/CD設定時)。

AM・FM放送を受信します(80ページ)。

音質調整画面を表示します(109ページ)。

設定画面を表示します(95ページ)。

iPod・iPhone・USBメモリーに保存した音楽を再生します(84、88ページ)。

道路交通情報を受信することができます(80ページ)。

接続したウォークマン®やドライブレコーダーなどの映像を表示します(83、94ページ)。

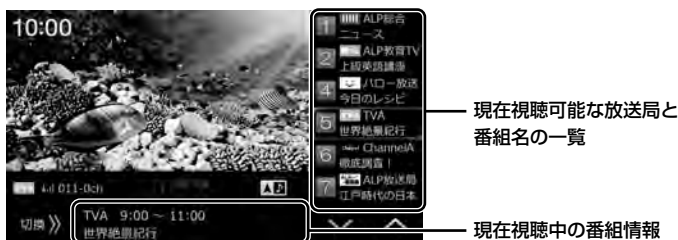
ルート案内の音声・映像はそのままオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(71ページ)。

BLUETOOTHオーディオ機器の音楽を再生します(92ページ)。

2. はじめに テレビ・HDMIの映像について

地上デジタル放送操作メニューについて

テレビを視聴中に画面をタッチすると現在放送中の番組一覧がリアルタイム表示されます。



放送局を自動で記憶する:お出かけスキャン

お出かけ先ではお出かけスキャンを使うと、簡単に放送局を設定できます。

1 切換>> にタッチして操作画面を切りかえる



2 スキャン をタッチする

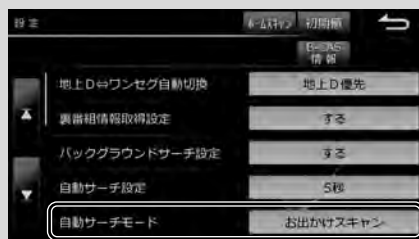


• お出かけスキャンを開始します。視聴中の放送局の中継局や系列局をサーチします。

• お出かけスキャンしたチャンネルはお出かけモードのプリセットスイッチに記憶されます。

<お出かけスキャンを自動的に起動設定することができます>

切換>> にタッチして操作画面を切りかえ、設定▲ → 設定 にタッチして自動サーチモードをお出かけスキャンに設定してください。



HDMI対応機器の映像出力について

旅行先で撮影したビデオカメラの映像や、スマートフォンの動画を本機・リアビジョンで再生することができます。



HDMI接続



HDMI接続



※ 専用の接続ケーブル(別売)が必要です。

※ 走行中は本機側には映像表示できません。

※ HDMI対応のリアビジョン(別売)と専用の接続ケーブル(別売)が必要です。

※ 車種によっては対応していない場合があります。

2. はじめに

2画面表示Navi+AV

2画面表示Navi+AVについて

ルート案内画面を表示したまま音楽再生画面を表示するなど、ナビゲーションとオーディオ・ビジュアルの2つの画面を同時に表示することができます。

地図画面は、左右どちら側に表示された場合でも、ランドマークなどの地図表示設定の内容は1画面表示の地図と同じです。



AD (または **♪A**) をタッチすると2画面Navi+AV画面を表示します。



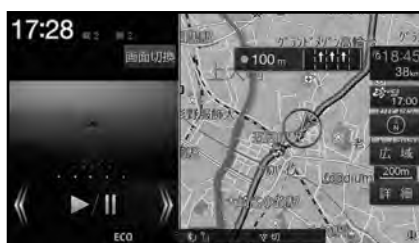
ルート案内画面



オーディオ・ビジュアル画面

画面の位置を入れかえるには(ドラッグ&ドロップで移動)

ナビ画面とAVソース画面を入れかえるには、左右どちらかの画面にタッチしたまま、もう片方の画面までドラッグしてから指を離します。



画面を1画面に戻すには

<地図画面に戻す>

【現在地】スイッチを押す、または地図画面をタッチする。

<オーディオ画面に戻す>

【AV】スイッチを押す、またはオーディオ画面をタッチする。

<映像画面(DVD・テレビなど)に戻す>

【AV】スイッチを押す、または映像画面を2回タッチする。

2. はじめに 本書の見かた

機種により、スイッチ形状が異なります。

<本書の操作方法説明・スイッチ表記について>

本書は本体スイッチとタッチスイッチを使って操作方法を説明しています。

本体スイッチ	[AV] [現在地]
画面のタッチスイッチ	案内開始 ▶▶

1. 項目・操作タイトル
項目・操作目的ごとにタイトルがつけられています。

2. 項目・操作概要
項目・操作目的ごとの概要説明をしています。

3. 操作手順
操作の手順を示しています。

4. 補足
手順や結果に対する補足説明をしています。

5. 操作画面
操作を行う前の画面を示しています。操作によっては、操作を行ったあとの状態を示す結果画面があります。

6. セクション見出し
セクションの見出しを示しています。

7. アドバイス
知っておくと便利な情報や、関連する参照先などを示しています。
注意
制限事項や注意事項など重要な説明をしています。必ずお読みください。

8. 画面表示項目・番号
画面に表示される項目の内容を説明しています。

3. ナビゲーション機能 ルート案内を開始する—地図で目的地を探索する

地図上の任意の地点を目的地に設定してルート案内を開始します。

- 1 地図を動かして目的地にしたい地点を表示し、そこをタッチする
 - 地図の動かし方は4ページを参照してください。
 - 地図を拡大すると目的地を正確にタッチできます。地図の拡大・縮小については、ピンチイン・ピンチアウト操作(4ページ)、縮尺の変更(地図スケール切り替え)について(5ページ)を参照してください。



- 2 目的地 をタッチする



• 走行中は安全のため「ルート情報」・「ルートブラウザ」・「デモ走行」はタッチできません。安全な場所に停車してから操作してください。



ルート情報
目的地までの全ルートを高速道路のインターチェンジや経由地などで分割し、それぞれの区間距離や高速道路などの料金やインターチェンジの通過予想時間などを一覧で表示します。



全ルート表示
現在地から目的地までのルートと、乗り降りするインターチェンジが表示されます。

• 道路によっては料金が表示されない場合があります。
• 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより実際の料金と異なることがあります。
• 駐車予想時間は設定した車速(「到着予想時刻速報設定」)113ページ参照)やVICS通行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより誤差が生じることがあります。

• ルート情報で確認できる案内地点とマークについては、「ルート情報画面案内地点・マーク」(49ページ)を参照してください。
• 全ルート表示ではスクロール・方位変更・縮尺変更が行えます。3Dマップへの切り替えはできません。
• ルートの一部が画面に表示されない場合があります。

■ 本書の画面について

車種・機種により、表示画面のデザイン・色調が異なります。

• 対応車種については、アルパインホームページを参照してください。

2. はじめに もくじ

1. 初期設定

クイックセットアップをする(1/2)	2
クイックセットアップをする(2/2)	3

2. はじめに

地図の操作について(1/2)	4
地図の操作について(2/2)	5
ナビメニュー画面について	6
住所で目的地を探してルート案内する	7
主な画面の見かた(1/5)	8
主な画面の見かた(2/5)	9
主な画面の見かた(3/5)	10
主な画面の見かた(4/5)	11
主な画面の見かた(5/5)	12
便利なナビゲーション機能	13
ダブルゾーン機能について	14
カメラによる駐車機能について	15
AVソースの選び方	16
テレビ・HDMIの映像について	17
2画面表示Navi+AV	18
本書の見かた	19
もくじ	20
安全のために必ずお読みください(1/4)	22
安全のために必ずお読みください(2/4)	23
安全のために必ずお読みください(3/4)	24
安全のために必ずお読みください(4/4)	25
各部の名称とはたらき	26
ナビ・オーディオ操作モード時のスイッチについて	27
電源ON・OFF	28
タッチスイッチ操作について	29
オプションキー操作について	30

3. ナビゲーション機能

ルート案内を開始する—メニューから目的地を探索する	31
ルート案内を開始する—地図で目的地を探索する	32
ルート案内を開始する—目的地周辺の施設を経由地として探索する	33
ルート案内を開始する—お気に入り周辺検索(1/2)	34
ルート案内を開始する—お気に入り周辺検索(2/2)	35
ナビメニュー画面について(1/4)	36
ナビメニュー画面について(2/4)	37
ナビメニュー画面について(3/4)	38
ナビメニュー画面について(4/4)	39
ルート探索結果画面について	40
ルート確認・編集画面について(1/3)	41
ルート確認・編集画面について(2/3)	42
ルート確認・編集画面について(3/3)	43
ルート案内中の画面や音声案内について(1/4)	44
ルート案内中の画面や音声案内について(2/4)	45
ルート案内中の画面や音声案内について(3/4)	46
ルート案内中の画面や音声案内について(4/4)	47
地点登録について	48
地点登録画面について(1/3)	49
地点登録画面について(2/3)	50
地点登録画面について(3/3)	51
エコインフォについて(1/2)	52
エコインフォについて(2/2)	53

VICSについて(1/5)	54
VICSについて(2/5)	55
VICSについて(3/5)	56
VICSについて(4/5)	57
VICSについて(5/5)	58

4. 電話・通信機能

BLUETOOTH通信とWi-Fi通信について	59
携帯電話・スマートフォンを接続する	60
電話をかける・受ける	61
通話中画面について	62
電話メニュー画面について(1/2)	63
電話メニュー画面について(2/2)	64
電話帳を読み込むには	65
Wi-Fi通信機器を接続する(1/3)	66
Wi-Fi通信機器を接続する(2/3)	67
Wi-Fi通信機器を接続する(3/3)	68
スマートフォンナビ連携機能	69
「NaviCon」の操作	70

5. オーディオビジュアル機能

AVソースメニュー画面について(1/2)	71
AVソースメニュー画面について(2/2)	72
テレビを見る	73
テレビ画面について	74
テレビ操作画面について(1/2)	75
テレビ操作画面について(2/2)	76
番組表画面について	77
テレビ設定画面について(1/2)	78
テレビ設定画面について(2/2)	79
ラジオを聴く・交通情報を聴く	80
ラジオ操作画面について	81
HDMI/MHL対応機器(iPhoneやスマートフォンなど)をつないで使う	82
ウォークマン®をつないで使う	83
iPodやiPhoneの音楽を聴く	84
iPod AUDIO再生画面について(1/2)	85
iPod AUDIO再生画面について(2/2)	86
iPod AUDIOサーチ画面について	87
USBメモリーの音楽を聴く	88
USBメモリー再生画面について(1/2)	89
USBメモリー再生画面について(2/2)	90
BLUETOOTHオーディオ機器を接続する	91
BT AUDIO再生画面について(1/2)	92
BT AUDIO再生画面について(2/2)	93
外部機器をつないで使う	94

6. 設定・調整

各種設定—地図表示 設定画面について(1/3)	95
各種設定—地図表示 設定画面について(2/3)	96
各種設定—地図表示 設定画面について(3/3)	97
各種設定—案内誘導 設定画面について(1/2)	98
各種設定—案内誘導 設定画面について(2/2)	99
各種設定—経路 設定画面について(1/2)	100
各種設定—経路 設定画面について(2/2)	101
各種設定—VICS 設定画面について	102
各種設定—接続機器 設定画面について(1/2)	103

2. はじめに もくじ

各種設定—接続機器 設定画面について(2/2)	104
各種設定—AV 設定画面について	105
各種設定—その他 設定画面について(1/3)	106
各種設定—その他 設定画面について(2/3)	107
各種設定—その他 設定画面について(3/3)	108
音質調整—基本設定 画面について(1/2)	109
音質調整—基本設定 画面について(2/2)	110
音質調整—詳細設定 画面について	111
車種専用チューニング 画面について	112
メディア編集 画面について	113
画質調整 画面について	114
音量調整 画面について	115
電話設定 画面について	116
BLUETOOTH設定 画面について	117
BLUETOOTH機器設定 画面について	118
Wi-Fi設定 画面について(1/2)	119
Wi-Fi設定 画面について(2/2)	120
Wi-Fi機器探索 画面について	121

7. 情報・更新

データ更新について(Wi-Fi)(1/2)	122
データ更新について(Wi-Fi)(2/2)	123
データ更新について(メディア)(1/2)	124
データ更新について(メディア)(2/2)	125
地図更新について	126
Wi-Fi更新 画面について	127
メディア更新 画面について	128
VICS情報画面について(1/2)	129
VICS情報画面について(2/2)	130
車両情報について	131
本機情報の確認	132

8. オプション機器

ETC・ETC2.0について	133
ETC2.0について(1/2)	134
ETC2.0について(2/2)	135
カメラについて(1/4)	136
カメラについて(2/4)	137
カメラについて(3/4)	138
カメラについて(4/4)	139
リアビジョンについて(1/6)	140
リアビジョンについて(2/6)	141
リアビジョンについて(3/6)	142
リアビジョンについて(4/6)	143
リアビジョンについて(5/6)	144
リアビジョンについて(6/6)	145
リモコン(RUE-RST01)の使い方(1/3)	146
リモコン(RUE-RST01)の使い方(2/3)	147
リモコン(RUE-RST01)の使い方(3/3)	148
DVDを見る	149
DVD操作画面について(1/2)	150
DVD操作画面について(2/2)	151
ディスク初期設定画面について	152
CDを聴く	153
CD再生画面について(1/2)	154
CD再生画面について(2/2)	155

9. 付録

文字入力のかた(1/2)	156
文字入力のかた(2/2)	157
困ったときは(よくあるご質問)(1/3)	158
困ったときは(よくあるご質問)(2/3)	159
困ったときは(よくあるご質問)(3/3)	160
トラブルシューティング(故障かな?と思ったら)(1/3)	161
トラブルシューティング(故障かな?と思ったら)(2/3)	162
トラブルシューティング(故障かな?と思ったら)(3/3)	163
トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)(1/4)	164
トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)(2/4)	165
トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)(3/4)	166
トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)(4/4)	167
AVソースメディアについての注意	168
本機対応のフォーマットについて	169
約款・規約、その他(1/7)	170
約款・規約、その他(2/7)	171
約款・規約、その他(3/7)	172
約款・規約、その他(4/7)	173
約款・規約、その他(5/7)	174
約款・規約、その他(6/7)	175
約款・規約、その他(7/7)	176
保証について/規格(1/2)	177
保証について/規格(2/2)	178
地図マーク一覧	179
クイックセットアップ(販売店設定)について	180

10. 索引



索引(1/3)	181
索引(2/3)	182
索引(3/3)	183
地図画面の見かた	187

2. はじめに




安全のために必ずお読みください(1/4)

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる事故やケガに対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う危険が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の説明

 強制	必ず実行していただく強制の内容を示しています。
 禁止	禁止(やってはいけないこと)の内容を示しています。
	注意(警告を含む)しなければならない内容を示しています。

取り付け・接続

警告



強制

DC12Vマイナスアース車専用です
24V車で使用しないでください。事故・
火災・故障の原因になります。

フィルムアンテナは、保安基準の取付許
容範囲に貼り付ける
視界不良による事故の原因になります。

コードの被覆がない部分はテープなどで
絶縁する
ショートにより、火災や感電、故障の原
因になります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が
元通り正常に動作するか確認する
正常に動作しない状態で使用すると、火
災や感電、交通事故の原因になります。

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の
届かないところに保管する
誤って飲み込み、事故・ケガの原因にな
ります。飲み込んだ場合には、ただちに
医師に相談してください。

配線作業の前にはバッテリーのマイナス
端子からアース線を外して、配線作業を
する
感電・ケガの原因になります。

コード類は運転操作の妨げとならないよ
うに束ねる
ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルな
どに巻き付くと、交通事故・故障の原因
になります。

説明書に従って、取り付け・配線をする
作業は、手順通りに正しく行ってくださ
い。火災・事故の原因になります

安全のため、パーキングブレーキ線を必
ず接続する
交通事故の原因になります。パーキング
ブレーキ線の接続により、走行中はテレ
ビ、ビデオの画像が表示されず、音声の
みとなります。また、画面を注視する必
要がある複雑な機能は操作できないよ
うになっています。

安全のために必ずお読みください(2/4)



強制

取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する
 取り付け、配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、事故・火災・ケガ・故障の原因となります。また、お客様ご自身による取り付け・配線は、事故・火災・ケガ・故障の原因となります。



禁止

分解・改造をしない
 特にコードの被覆を切って他の機器の電源を取るの、絶対におやめください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けない
 事故・ケガの原因になります。

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わない
 制動不能・火災の原因になります。

助手席エアバッグの近くに取り付け・配線をしていない
 エアバッグの動作を妨げ、死亡事故・ケガの原因になります。

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけない
 事故・火災の原因になります。

注意



強制

車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジが緩まないように確実に締め付ける
 ネジが緩み、事故・故障の原因になります。

コード類を車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさんだり、突起部に当てないように配線する
 断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

付属部品を指定通りに使い、確実に固定する

付属の部品以外の使用や指定用途以外の使用は、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故・故障の原因になります。



禁止

コード類は絶対に途中で切断しない
 コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因になります。

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない
 火災や感電の原因になります。

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けない
 火災・故障の原因になります。

通風孔・放熱板をふさがない
 火災・故障の原因になります。

使用方法

警告



強制

ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守る
 事故・火災・故障の原因になります。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける
 交通事故の原因になります。テレビやビデオは、安全のため走行中は表示されません。

緊急時に使用する場合は、本製品の情報のみに頼らない
 交通事故の原因になります。警察や消防署、病院などに連絡をして、状況に応じて場所などの確認を行ってください。

探索したルートは、ルート上の安全性を考慮して探索されていません。危険な地域への誘導がされている場合は、事故や災害を避けるために、運転者はそのときの状況を判断して回避してください。

カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う
 カメラの死角になっている人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因になります。

安全のために必ずお読みください(3/4)



禁止

故障や異常な状態のまま使用しない
音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、必ず販売店(かサービス相談窓口)に相談する。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因になります。

運転中は操作をしたり、画面を見ない
交通事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、必ず安全な場所に停車してください。

カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない
カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因になります。

注意



強制

実際の交通規制に従って運転する
ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると、実際の交通規制に反する場合があります。交通事故の原因となります。

新旧の電池を混ぜない、指定外の電池を使用しない、極性に注意して指示通り入れる
電池の破裂・液漏れや火災・ケガの原因になります。



禁止

車以外には使わない
感電・ケガの原因になります。

メディア挿入口等の機器内部に、指や異物を入れない
ケガ・故障の原因になります。

落下させる、たたくなどの強い衝撃を与えない
故障・火災の原因になります。

大きな音量で使用しない
車外の音が聞こえないことによる交通事故・故障または聴力障害の原因になります。



カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なるため注意して使用する
事故の原因になります。

取り扱い上のご注意

使用上のお願い

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

- 本機側の雑音や誤動作の原因になったり、電話や無線機の正常な送受信ができなくなる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをおすすめします。
また、リモコンスターター・カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。
- キーレスエントリーシステムが装着されている車では、キーを本機に近づけると、キーレスエントリーシステムがキーを認識しなくなる場合があります。また、キーを本機やBLUETOOTHオーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合がありますので、キーを離れてご使用ください。

測位状態が安定してから走行する

- GPSを測位してから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自車位置がずれる場合があります。

無理な力を加えない

- 製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

お手入れは乾いた布を使う

- お手入れは乾いた布か堅く絞った布でふいてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

- 車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

お知らせ

本機は国内で使う

- 本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

安全のために必ずお読みください(4/4)

お読みください

- この取扱説明書に記載されているソフトウェアは、ライセンスの所有者にのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用することが許されます。
- 当該ライセンスが許可している場合を除き、本出版物のいかなる部分もアルパイン株式会社の書面による事前の許可なしには、いかなる条件下でも、また電子的・機械的・録音・その他のいかなる手段によっても、コピー・検索システムの記憶・転送を行うことはできません。
- この取扱説明書に記載された内容は、情報の提供のみを目的にしており、予告無しに変更されることがあります。
- 仕様および外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は日本国内専用です。

モニターのお手入れ

- モニターが汚れたら柔らかい布(シリコンクロスなど)でふいてください。
- 汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、よくしぼってからふきとってください。
- 「水」や「水で薄めた中性洗剤」は直接モニターにかけないでください。
液体が内部に入り「シミ」や「故障」の原因になります。
- モニターは傷つきやすいため、硬いものでふいたり、こすったり、物をぶつけたり、強い力で押したりしないでください。
- ペンジン・アルコール・シンナーは使用しないでください。変色・変質の原因になります。



注意

- 本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。



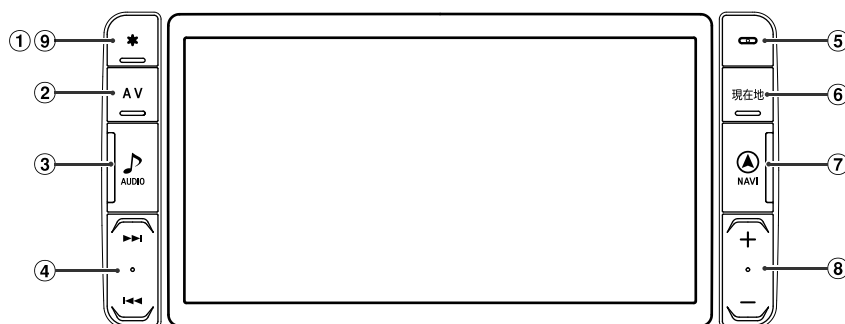
ご使用前にお読みください

- 本機には、交通規制データが収録されておりますが、運転に際しては、必ず現場の交通規制標識・掲示板等を確認し、もしデータと違うときには、現場の標識・掲示板等に従ってください。
- 運転中の操作は大変危険です。必ず停車中に操作してください。
- 情報の最終更新年月が地域によって格差があるため、ある特定地域での道路の整備状況によっては、未収録や更新されていない場合があります。
天変地異による規制には対応しておりません。該当する周辺を走行する際には、警察・交通情報センター等へご確認ください。
- 本機を使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害についても、弊社はその責任を一切負いかねます。
- 本機収録の内容に誤字・脱字・位置ずれ等の表記または内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- 本機収録の内容は予告なく変更されることがあります。
- 本機に含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。

2. はじめに 各部の名称とはたらき

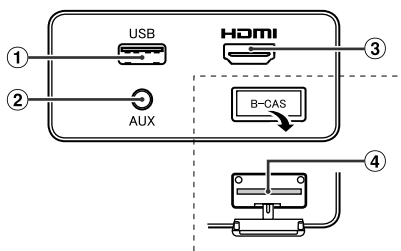
取り付け車種によりスイッチ形状・配列・名称が異なります。下記イラストはイメージであり実際の製品と異なる場合があります。

■ 本体スイッチ



① オプションキースイッチ オプションキー設定で設定された機能呼び出します(30、107ページ)。 ＜初期設定値＞ 1回押し:ダブルゾーンコミュニケーション 長押し:1. 画面OFF、2. ミュート、3. VICS割込み情報	⑥ 現在地画面表示スイッチ 現在地画面を表示します。ルート案内中に自車位置画面で押すと音声案内を行います。また、地図画面下部の現在地名/道路名表示を切りかえます。
② AV画面呼び出しスイッチ 現在再生・視聴中の画面に戻ります。 2秒以上押すとオーディオ・ビジュアルソースのONとOFFを切りかえます。	⑦ ナビメニュースイッチ ナビメニュー画面を表示します。目的地探索時に使用してください。
③ AVソースメニュースイッチ AVソースメニュー画面を表示します。	⑧ 音量調整スイッチ オーディオ・ビジュアルソースの音量を調整します。
④ 選局・選曲スイッチ 選局・選曲を行います。 2秒以上押すと早送り/早戻しを行います。	⑨ セキュリティインジケーター セキュリティ設定をONにすると、ACC電源OFF時にセキュリティインジケーターとして点滅します。
⑤ ハンズフリーマイク ハンズフリーマイクが内蔵されています。ハンズフリー通話、またはダブルゾーンコミュニケーションモード時にお使いください。	

■ メディアポート



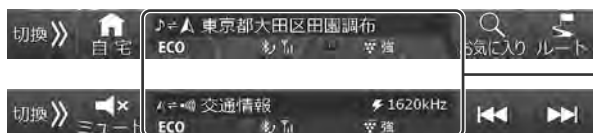
① USB端子 USB機器を接続します。	③ HDMI端子 HDMI機器、または別売DVDプレイヤー DVE-5300を接続します。
② AUX端子 PIN接続コードを使用して外部機器を接続します。	④ B-CASカード挿入口 miniB-CASカードを挿入します。

※ 車種によりメディアポートの取付場所は異なります。

ナビ・オーディオ操作モード時のスイッチについて

ナビ操作・オーディオ操作切りかえスイッチについて

現在地画面上の操作スイッチを、ナビ操作モードかオーディオ操作モードに切りかえることができます。



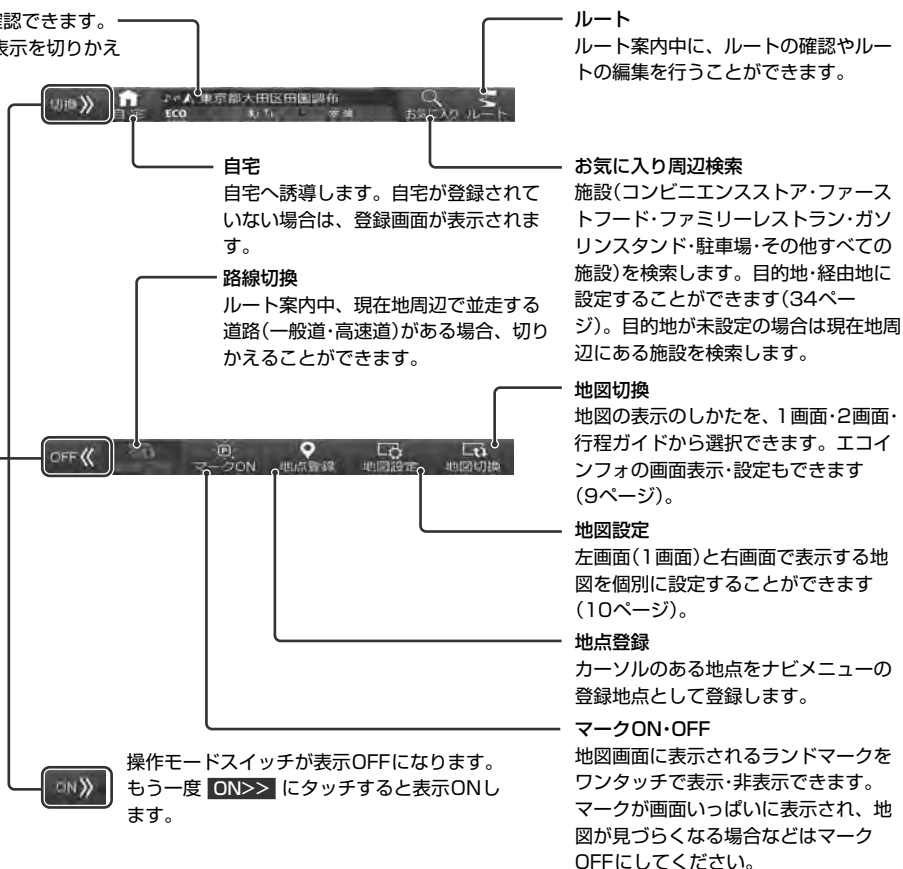
ナビ操作・オーディオ操作切りかえスイッチ
タッチするたびに、ナビ操作モードスイッチ・オーディオ操作モードスイッチの切りかえを行います。

ナビ操作・オーディオ操作モード時のスイッチについて

<ナビ操作モード時>

今いる場所または道路名を確認できます。
[現在地] スイッチを押して表示を切りかえます。

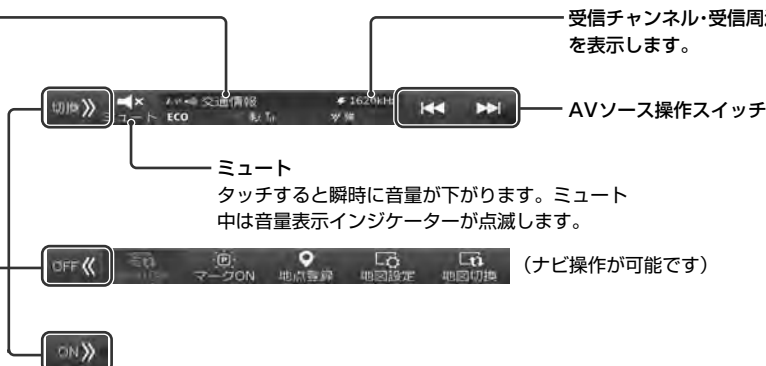
ページ切りかえスイッチ
タッチすると、**切換>>**
→ **OFF<<** → **ON>>**
の順に操作スイッチが切りかわります。



<オーディオ操作モード時>

タイトル/ソース表示

受信チャンネル・受信周波数表示
を表示します。



ページ切りかえスイッチ
オーディオ操作スイッチ
の切りかえを行います。

(ナビ操作が可能です)

2. はじめに 電源ON・OFF

電源ON/OFFのしかた

車のエンジンをACCまたはONにすると、本機の電源も連動してONになります。電源が入るとオープニング画面と安全のためのご注意画面に続いて、モード画面(地図画面やCD画面など)が表示され、スイッチ照明が明るく点灯します。

表示されるモード画面は、前回の電源OFFにしたモード画面を表示します。例えばテレビ画面のときエンジンをOFFにすると、次回はテレビ画面で起動します。

車のエンジンをOFFにすると、本機の電源もOFFになります。



- 車種専用チューニング(112、180ページ)で選択した一部の車種にのみ、オープニング画像に合わせオープニングサウンドが適応されます。またオープニングサウンドは音量調整をすることができます。詳しくは「オープニングサウンド音量」(115ページ)を参照してください。
- 本機をアイドリングストップ機能付き車両でご使用した場合、アイドリングストップ状態から復帰するとき、瞬間的に本体スイッチが暗くなったり、音声が途切れる場合があります。

2. はじめに タッチスイッチ操作について

■ タッチスイッチの操作について



操作するときはタッチスイッチに軽くタッチしてください。



操作できないタッチスイッチはグレイアウトしています。



選択されているスイッチはオレンジ色になります。



前の画面に戻ります。機能によってはタッチした画面で行った操作がキャンセルされる場合があります。

- 画面保護のため、必ず指でタッチしてください。
- ポールペンの先など、先端が硬いものや、とがっているもので操作しないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなったり、故障の原因となったりします。
- 液晶ディスプレイ画面に保護フィルムを貼り付ける場合には、アルパイン製のフィルムをご使用ください。

2. はじめに オプションキー操作について

よく使う機能(例えば、ミュートやハンズフリーなど)を【*】(オプションキー)に登録すると、【*】(オプションキー)スイッチを押すだけで登録した機能呼び出すことができます。

■ オプションキーに機能を登録する

オプションキーに機能を登録します。【*】スイッチを押すだけで機能呼び出しできる「1回押し」と、【*】スイッチを1秒以上押し、画面に表示される3つの機能から呼び出す機能を選ぶ「長押し」の2種類に登録できます。

初期設定値

1回押し : ダブルゾーンコミュニケーション

長押し : 1. 画面OFF、2. ミュート、3. VICS割込み情報

・設定・調整画面からも登録を行うことができます。「オプションキー」(107ページ)を参照してください。

1 【*】スイッチを1秒以上押し、画面右下の **+** にタッチする

2 オプションキー登録画面で、変更したい機能の **変更** にタッチする

3 リストから希望の機能を選んでタッチする

登録できる機能:

ダブルゾーンコミュニケーション・VICS割込み情報・ミュート・画面OFF・TVを見る・自宅に帰る(地図画面のみ操作可能)・ハンズフリー・後席個別ON/OFF・ダブルゾーンメニュー・画質調整・交通情報を聞く

・選択した機能が上書き登録されます。



「1回押し」登録リスト画面の場合:



■ 登録した機能呼び出す

<「1回押し」の場合>

1 【*】スイッチを押す

・登録した機能が呼び出されます。

<「長押し」の場合>

1 【*】スイッチを1秒以上押す

2 リストから希望の機能を選んでタッチする

・選んだ機能が呼び出されます。

3. ナビゲーション機能

ルート案内を開始する—メニューから目的地を探索する

施設の名称や住所などから目的地を探してルート案内を開始します。

1 [▲ NAVI] スイッチを押してナビメニュー検索画面から探索方法を選んで目的地を探す

- ナビメニューについては「ナビメニュー画面について」(36ページ)を参照してください。



2 目的地 をタッチする

- 目的地がすでに設定されている場合は **経由地** にタッチすると探索した地点を経由地に設定します。
- 表示されるルート探索結果画面については40ページを参照してください。



3 案内開始 をタッチする

- ルート探索条件はクイックセットアップ(2、3ページ)、優先探索ルート(100ページ)で設定したルートとなります。
- **他ルート** にタッチして、他の探索条件のルートを選択することができます。他ルートについて詳しくは40ページを参照してください。
- 設定されたルートの詳細は「ルート確認・編集画面」(41ページ)で確認してください。



リルートについて

ルート案内中に道を間違えて別の道に入ったときは、適切なルートを自動的に再探索して案内を続けます。

- 自動でリルートされないときはルート案内画面で **ルート** → **リルート** をタッチしてください。

ルート案内を途中でやめるには

目的地に着く前にルート案内を途中でやめることができます。ナビメニュー画面の **ルート消去**、またはルート案内画面の **ルート** → **ルート消去** にタッチしてください。

3. ナビゲーション機能

ルート案内を開始する—地図で目的地を探索する

地図上の任意の地点を目的地に設定してルート案内を開始します。

1 地図を動かして目的地にしたい地点を表示し、そこをタッチする

- 地図の動かし方は4ページを参照してください。
- 地図を拡大すると目的地を正確にタッチできます。地図の拡大・縮小については、ピンチイン・ピンチアウト操作(4ページ)、縮尺の変更(地図スケール切りかえ)について(5ページ)を参照してください。



2 目的地 をタッチする



3 案内開始 をタッチする

- ルート探索条件はクイックセットアップ(2、3ページ)、優先探索ルート(100ページ)で設定したルートとなります。
- 他ルート にタッチして、他の探索条件のルートを選択することができます。他ルートについて詳しくは40ページを参照してください。
- 設定されたルートの詳細は「ルート確認・編集画面」(41ページ)で確認してください。



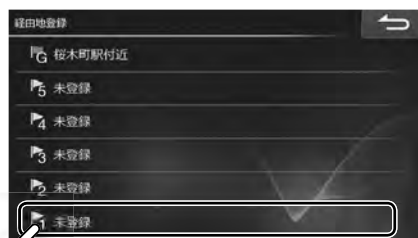
地図上の地点を経由地を設定する

目的地まで自分の好きな道を通って行きたいときは、地図を動かして通りたい地点を経由地として設定してください。経由地は最大5か所まで設定できます。

1 地図を動かして任意の地点をタッチし、経由地 をタッチする

2 未登録 をタッチする

- ルートが自動的に再探索され、案内が開始されます。
- 経由地は「経由地編集」(42ページ)でも設定できます。
- すでにセットされている経由地をタッチすると、新たに指定した経由地が上書きされます。



3. ナビゲーション機能

ルート案内を開始する—目的地周辺の施設を経由地として探索する

目的地探索結果画面から、周辺の施設を経由地に設定することができます。経由地は最大5か所まで設定できます。

1 目的地探索結果画面で **周辺** にタッチする



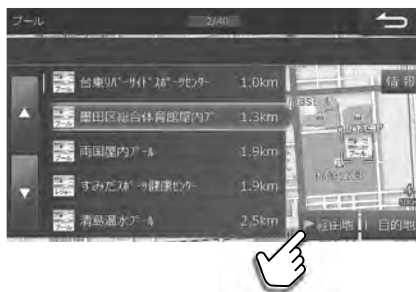
2 施設を選んでタッチする

- 表示されていないジャンルを選択する場合は **その他ジャンル** から選択してください。 **その他ジャンル** をタッチすると周辺の全ての施設を検索することができます。



3 **経由地** をタッチする

- 選んだ施設が経由地に設定されます。



4 経由地1～5いずれかの **未登録** をタッチする

- ルートが自動的に再探索され、案内が開始されます。
- 経由地は「経由地編集」(42ページ)でも設定できます。
- すでにセットされている経由地をタッチすると、新たに指定された経由地が上書きされます。



ナビ

ルート案内を開始する—目的地周辺の施設を経由地として探索する

ルート案内を開始する—お気に入り周辺検索(1/2)

現在地・ルート・目的地周辺のよく使う施設(コンビニエンスストア(コンビニ)・ファーストフード・ファミリーレストラン・ガソリンスタンド・駐車場)を簡単に検索することができます。

1 [現在地] スイッチを押して **お気に入り** をタッチする



2 行きたい施設アイコンをタッチする

- 目的地がすでに設定されている場合は、ルート周辺にある施設を検索します。
- **コンビニ全て** **駐車場全て** にタッチすると全てのコンビニエンスストア・駐車場を検索することができます。
- **その他** をタッチすると現在地周辺の全ての施設を検索することができます。
- 画面に表示する施設アイコンはカスタマイズすることができます。**配置変更** をタッチするとお気に入り周辺検索カスタマイズ画面が表示され、施設アイコンの配置変更ができます。「お気に入り画面をカスタマイズする」(35ページ)を参照してください。



3 現在地周辺にある施設一覧が表示される。行きたい施設をタッチする

- 現在地から近い順に、最大40件まで表示されます。
- ルート案内中は、ルート周辺・目的地周辺の施設一覧も表示することができます。タブをタッチして表示を切りかえます。
- ルート案内中はルート周辺の施設を最初に表示します。
- コンビニエンスストア、デパート、ガソリンスタンドを検索したときは、施設のリスト画面で**営業時間考慮** をタッチして時刻を入力すると、営業中かどうかを確認することができます。営業していない店舗のアイコンには「閉」と表示されます。
営業時間を考慮せずに全ての施設を表示する場合は**指定無し** をタッチします。
- 駐車場を検索したときは、駐車場のリスト画面で**車両情報考慮** をタッチすると車体の大きさや車高を考慮して駐車場を探すことができます。
- 目的地がすでに設定されている場合は、選択した施設を経由地に設定することができます。



<営業が終了している場合の表示例>



4 **目的地** → **案内開始** の順にタッチする

- ルート探索条件はクイックセットアップ(2、3ページ)、優先探索ルート(100ページ)で設定したルートとなります。
- 走行すると自動的に案内が開始されます。
- **他ルート** をタッチすると6ルート探索結果画面が表示されます。
- 目的地がすでに設定されている場合は、**経由地** にタッチすると経由地登録されます。**目的地** にタッチすると目的地変更となります。



ルート案内を開始する—お気に入り周辺検索(2/2)

お気に入り画面をカスタマイズする

お気に入り周辺検索画面に表示されるブランドのアイコン位置を入れかえることができます。また、表示させるアイコンをリストから選ぶことができます。

- 1 **【現在地】** スイッチを押して現在地画面を表示し、**お気に入り** にタッチする



- 2 **配置変更** にタッチする



- 3 位置を入れかえたいアイコン2つを続けてタッチする

- アイコンの位置が入れかわります。



- 4 表示させるブランドを変更する場合は、**表示項目変更** にタッチする

- 5 表示されたリストから、お気に入り周辺検索画面に表示したいブランドを選択する

- すでに選択されているブランドにタッチすると、選択が解除されます。
- 最大8個まで選択できます。選択されたブランドは画面上部に表示されます。



- 6 選択が終わったら **完了** にタッチし、再度 **完了** にタッチする

3. ナビゲーション機能 ナビメニュー画面について(1/4)

ナビメニュー画面は [NAV] スイッチを押すと表示されます。



都道府県名から順に住所を選んで目的地を探します。

- 町名・丁目・番地などの選択画面で **数字入力** をタッチすると、番地などを直接入力することができます。



施設名の先頭から数文字分の読みを入力して目的地を探します。読みは数字や英字もかなで入力してください。

例)「1」→「いち」・「Z」→「ぜっと」

- 濁点や半濁点などを省略しても検索できます。大文字を小文字で、小文字を大文字で入力しても検索されます。
- 該当する施設が表示されないときは別の読み方で再度検索してください。登録されている名称は通称とは異なる場合があります。
- 件数が多い場合は、ジャンルや地域を指定したりキーワードを入力したりして絞り込むことができます。
- 検索結果のリスト画面を50音順、または距離順に並べかえることができます。 **50音順** にタッチしてから **距離順** にタッチすると、リストが距離順表示になります。 **距離順** にタッチしてから **50音順** にタッチするとリストが50音順表示になります。
- 文字入力のしかたについては156ページを参照してください。



自宅へ帰るルートを自動的に設定します。

- 自宅が登録されていない場合は自宅登録画面が表示されます。自宅の位置まで地図をスクロールして **登録** をタッチすると自宅が登録されます。または地点登録画面 - **特別地点** から登録することができます(49ページ)。



電話番号を入力して目的地を探します。施設の電話番号のほか、個人の電話番号からも検索できます。

- 電話番号は市外局番から入力してください。
- 入力した電話番号が個人の電話番号と一致したときは個人名入力画面が表示されます。名字をひらがなで入力してください。入力した電話番号が電話帳の名字と一致しない場合は検索できません。
- 電話番号が正確にはわからないときは、市外局番と市内局番のみを入力しておおよその地図を表示し、そこから地図を動かして目的の施設などを探すことができます。

ナビメニュー画面について(2/4)



現在地周辺・ルート周辺・案内地周辺の施設をジャンルから探します。



緯度・経度を入力して目的地を探します。



郵便番号で検索すると代表地点の地図が表示されます。



ジャンルと都道府県名を選んで目的地を探します。



レジャーガイドなどに掲載されているマップコードを使って目的地を探します。



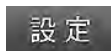
観光地などおおよその目的地はあってもそこでの施設名を特定していないようなときや、目的地の住所が正確にはわからないようなときは、地名の読みを入力して代表地点の地図を表示し、地図を動かして目的地を探すことができます。



電話操作画面を表示します。



リアビジョン/アロマ画面を表示し、リアビジョン/アロマに関する設定を行います。



本機に関するさまざまな設定操作を行うことができます。

- ・ルート周辺と案内地周辺は目的地を設定していないと選択できません。
- ・現在地周辺・ルート周辺検索の場合は現在地から近い順に、案内地周辺検索の場合は案内地から近い順に最大40件まで表示されます。
- ・駐車場を検索したときは、駐車場のリスト画面で「**車両情報考慮**」をタッチすると車体の大きさや車高を考慮して駐車場を探すことができます。あらかじめ車種の情報を登録しておいてください(99ページ)。
- ・ガソリンスタンド、デパート、コンビニエンスストアを検索したときは、施設のリスト画面で「**営業時間考慮**」をタッチして時刻を入力すると、営業中かどうかを確認することができます。「**指定無し**」をタッチすると、営業時間に関わらず施設を表示します。

- ・緯度や経度が一桁のときは「01」のように頭に「0」を付けて二桁で入力してください。

- ・郵便番号は7桁で入力してください。
- ・さらに住所を絞り込みたいときは代表地点の地図上で「**住所検索**」をタッチすると住所を指定して目的地を検索できます。

- ・充電スタンドまたは駐車場を検索したときにVICS情報がある場合、本機内蔵データまたはVICS情報を選択して検索することができます。本機内蔵データから検索する場合は「**充電スタンドデータ**」または「**駐車場データ**」、VICS情報から検索する場合は「**VICS充電施設情報**」または「**VICS駐車場情報**」のいずれかにタッチし検索してください。VICS情報については「VICS情報画面について」(129ページ)を参照してください。
- ・検索結果のリスト画面を50音順、または距離順に並べかえることができます。「**50音順**」にタッチしてから「**距離順**」にタッチすると、リストが距離順表示になります。「**距離順**」にタッチしてから「**50音順**」にタッチするとリストが50音順表示になります。

- ・マップコードとは日本全国の位置情報を6桁～10桁の数字で表したものです。10桁までの標準マップコードに加え、「*」のあとに2桁まで追加することで高度な検索ができます。住所や電話番号では特定できない河川や観光地もマップコードを指定すると目的地として設定できます。
- ・マップコードは以下のホームページでも調べることができます。
<http://www.e-mapcode.com>

- ・濁点や半濁点などを省略しても検索できます。大文字を小文字で、小文字を大文字で入力しても検索されます。
- ・件数が多い場合は絞り込みできない場合があります。
- ・文字入力のしかたについては156ページを参照してください。

- ・詳しくは「電話をかける」(61ページ)を参照してください。

- ・詳しくは「リアビジョンについて」(140ページ)を参照してください。

- ・詳しくは「6. 設定・調整」(95～121ページ)を参照してください。

3. ナビゲーション機能

ナビメニュー画面について(3/4)

配置変更

ナビメニュー画面に表示するアイコンを自由に並べかえることができます。使用頻度の高いアイコンを1ページ目にまとめて配置するなど、より使いやすい操作画面へのカスタマイズが可能です。

• 詳しくは「ナビメニューカスタマイズ画面について」(10ページ)を参照してください。

情報/更新

Wi-Fi通信やメディアを使用して本機のデータ更新を行うことができます。
車両および本機に関する各種情報の確認・編集操作や車のメンテナンスに役立つ設定を行うこともできます。

• 地図データ・車種専用チューニング/プログラムデータなどのダウンロードもここでを行います。詳しくは「7. 情報・更新」(122ページ)を参照してください。

ルート消去

ルート案内中のルートを消去します。

<履歴画面について>

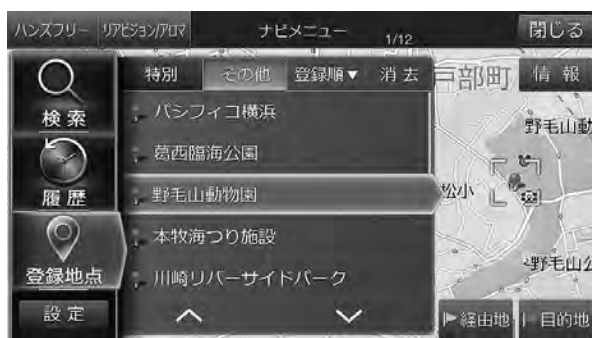
ナビメニュー画面で **履歴** にタッチすると過去に設定した目的地や経由地を再度目的地に設定することができます。目的地履歴は新しいものから順に最大200件まで記録されます。



- 目的地履歴には施設や地点名称と過去の設定日付が表示されます。
- リストから目的地履歴を選んで **消去** をタッチすると、選択した地点を消去できます。**消去** をタッチし続けるとすべての履歴を消去できます。

<登録地点画面について>

よく行く場所を登録(「地点登録」「特別地点」49ページ)しておくと、簡単にそこまでのルートを探索することができます。また、クイックセットアップで設定された自宅へのルート案内もできます。あらかじめ登録しておいた地点を目的地に設定します。



- 登録地点のリスト画面で **その他** を選択すると、登録順・マーク順・距離順に並べかえることができます。**登録順▼** **マーク順▼** **距離順▼** のいずれかにタッチしてから希望の表示方法にタッチしてください。

ナビメニュー画面について(4/4)

施設の詳細情報画面について

施設のリスト画面で **情報** にタッチすると、その施設に電話をかけたり、提携している駐車場を探したりすることができます。



3. ナビゲーション機能

ルート探索結果画面について

ルート探索結果画面は目的地や経由地を設定すると自動的に表示されます。**他ルート** にタッチすると6ルート選択画面が表示されます。



—6ルート
希望するルートを選択します。

ナビ

ルート探索結果画面について

	2時間 209 km 41分 ¥5,400	VICS情報、ルート学習情報、目的地への到着時間と料金バランスなどを考慮したルートが探索されます。	<ul style="list-style-type: none"> 有料道路を優先して案内するかどうかを考慮したルートを探索することもできます。詳細は、「有料道路優先」(100ページ)を参照してください。
	7時間 213 km 6分 ¥0	できるだけ一般道路を通るルートが探索されます。	<ul style="list-style-type: none"> 自車位置が有料道路上にある場合など有料道路を通った方が良いと判断される場合は、有料道路を通るルートを探索することがあります。
	2時間 206 km 58分 ¥5,400	最短の距離を通るルートが探索されます。	
	2時間 209 km 41分 ¥5,400	できるだけ幹線道路を通るようにルートが探索されます。	
	2時間 209 km 41分 ¥5,400	燃料消費量を節約するルートが探索されます。	<ul style="list-style-type: none"> 燃費優先ルートが選択されている場合は、ルート探索時間が長くなることがあります。
	3時間 275 km 30分 ¥6,700	推奨・一般・距離・幹線・燃費以外のルートが探索されます。	<ul style="list-style-type: none"> 他のルートと同じルートを探索する場合があります。
		6ルート選択画面が表示されます。	
		利用するインターチェンジを変更したいときにタッチします。	<ul style="list-style-type: none"> 変更したいインターチェンジ名の 変更 にタッチします。 にタッチして利用したいインターチェンジ名を表示させ、インターチェンジ名または 登録 → 完了 にタッチします。 インターチェンジを変更すると入口・出口インターチェンジが経由地として設定されます。 経由地削除を行うとインターチェンジの変更も解除されます。
		冬期は通行止めになるなど、設定したルートに季節規制のある区間が含まれる場合、通行止めの区間を回避したいときにタッチするとルートが再探索されます。	<ul style="list-style-type: none"> 冬期閉鎖区間を考慮してルート探索するかどうかをあらかじめ設定しておくこともできます(101ページ)。
		ルート案内が開始されます。	<ul style="list-style-type: none"> 選択されているルートで 案内開始 をタッチせずに走行してもルート案内を開始します。

3. ナビゲーション機能

ルート確認・編集画面について(1/3)

ルート案内中に、ルートの確認やルートの編集を行うことができます。

ルート確認・編集画面はルート案内画面で **ルート** をタッチすると表示されます。



アドバイス

- 走行中は安全のため「ルート情報」・「ルートブラウザ」・「デモ走行」はタッチできません。安全な場所に停車してから操作してください。



ルート情報

目的地までの全ルートを高速道路のインターチェンジや経由地などで分割し、それぞれの区間距離や高速道路などの料金やインターチェンジの通過予想時刻などを一覧で表示します。

- 道路によっては料金が表示されない場合があります。
- 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより実際の料金と異なることがあります。
- 到着予想時刻は設定した車速(「到着予想時刻速度設定」98ページ参照)やVICS旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより誤差が生じることがあります。
- ルート情報で確認できる案内地点とマークについては、「ルート情報画面案内地点マーク一覧」(43ページ)を参照してください。



全ルート表示

現在地から目的地までのルートと、乗り降りするインターチェンジが表示されます。

- 全ルート表示ではスクロール・方位変更・縮尺変更が行えます。3Dマップへの切りかえはできません。
- ルートの一部が画面に表示されない場合があります。



デモ走行

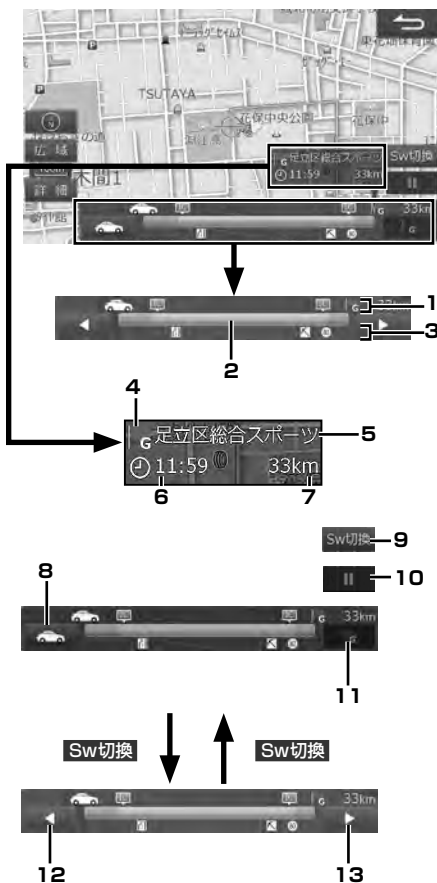
ルート探索後、目的地までのルートのデモを見ることができます。

- 実際に走行を開始するとデモ走行は終了します。
- デモ走行を終了するには [J AUDIO] または [A NAVI] スイッチを押します。
- 方位・縮尺・地図表示方法を変更してデモ走行することができます。
- 地図表示が3D表示の場合、ヘディングアップ表示に切りかえてデモ走行を開始します。
- デモ走行中は [*] (オプションキー) 操作など、一部の機能は操作できません。

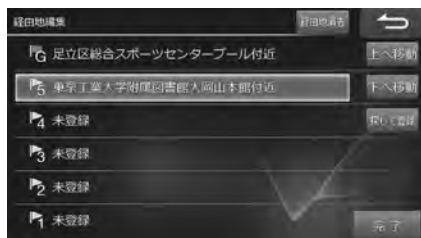
3. ナビゲーション機能

ルート確認・編集画面について(2/3)

ルートブラウザではルートに沿って地図を目的地までスクロールすることができます。



経由地を編集します。



1. ルート情報表示

現在地・経由地・目的地・乗り降りインターチェンジ・フェリー乗り場をマークで表示します。経由地・目的地・フェリー乗り場のマークにタッチすると情報を表示します。

2. ルート行程表示

ルート行程を高速/有料道路は緑色の、一般道路は青色のバーで表示します。バーの任意の場所にタッチすると、タッチした箇所に相当する地点の地図が表示されます。

3. VICS規制情報表示

VICS規制情報を現在地から近い順に3つまでマークで表示します。VICS道路交通情報マークは47ページを参照してください。

4. 案内地点(目的地・経由地)マーク

案内地点マークについては43ページを参照してください。

5. 案内地点名称

6. 案内地点到着予想時刻

7. 現在地から案内地点までの距離

8. 現在地方向スキップスイッチ

タッチすると現在地方向への案内地点にスキップし、その地点の地図を表示します。

9. スクロール方法切り替えスイッチ

10. スクロール停止スイッチ

タッチするとスクロールが停止します。

11. 目的地方向スキップスイッチ

タッチすると目的地方向への案内地点にスキップし、その地点の地図を表示します。

12. ◀

現在地方向に自動的に地図がスクロールします。タッチするたびにスクロールの速度が変化します。

13. ▶

目的地方向に自動的に地図がスクロールします。タッチするたびにスクロールの速度が変化します。

- **未登録** を選択して **探して登録** をタッチすると経由地をナビメニューから検索できます。
- **経由地消去** をタッチすると選択した経由地を消去します。経由地を消去すると自動的にルートの再探索が行われます。探索条件は削除された経由地までの条件が新しい区間に適用されます。
- **上へ移動** または **下へ移動** をタッチすると目的地・経由地の順番を入れかえることができます。
- 経由地が2か所以上設定されている場合に、目的地・経由地を選択すると **探して探索** が **周遊** に変わります。 **周遊** をタッチすると経由地を近い順に並べかえることができます。

3. ナビゲーション機能

ルート確認・編集画面について(3/3)

探索条件を変更します。経由地を設定している場合は、経由地までの区間ごとに探索条件を変更することができます。

また有料道路が近接している地点を目的地や経由地に設定したとき、誤って一般道路上または有料道路上に設定してしまった場合に地点属性を変更できます。



一般道上/有料道路上の変更



探索条件の変更

- 設定した目的地や経由地の近くに一般道または有料道路がある場合に **一般・有料** をタッチすると、目的地や経由地を一般道路上または有料道路上に切りかえます。
- 推奨・一般道・距離・幹線・燃費** をタッチすると、その区間のルート探索条件を変えて再探索します。
- すでに通過した区間は表示されません。
- 走行中は安全のため、条件変更画面はスクロールできません。

リルート

ルート案内中にルートから外れると、その位置から目的地までのルートが自動的に再探索されます。自動で再探索されないときは **リルート** にタッチすると、ルートを再探索することができます。

周辺迂回

自車位置から一定の距離を迂回するルートを探します。前方の道路が工事などで通行できないときなどに利用できます。

ルート再探索

ルートの再計算を行います。

経由地スキップ

案内中の経由地を通過済みにし、次の経由地または目的地へ案内します。

ルート消去

現在のルート・目的地・経由地を消去します。

- 迂回地点をあらかじめ登録しておくこともできます(49ページ参照)。
- 迂回する距離を設定できます「迂回距離」(101ページ参照)。
- 案内中のルートから外れている場合は、迂回ルートは探索できません。
- 周辺の道路によっては迂回できない場合があります。
- 走行中は安全のため **ルート再探索** をタッチすることはできません。
- 経由地がセットされている場合は、ルートの再探索はできません。
- 経由地までの案内を繰り返す場合には **経由地スキップ** をタッチして、経由地をスキップしてください。
- 目的地に近づくとルート案内を自動的に終了します。近づき加減が不足しているときなどは「到着した」と判断できず、いつまでも目的地への案内を繰り返す場合があります。そのようなときはルートを消去してください。

<ルート情報画面案内地点マーカー一覧>

	目的地
	経由地
	フェリー乗り場
	料金所
	JCT
	高速道路入口
	高速道路出口
	現在地

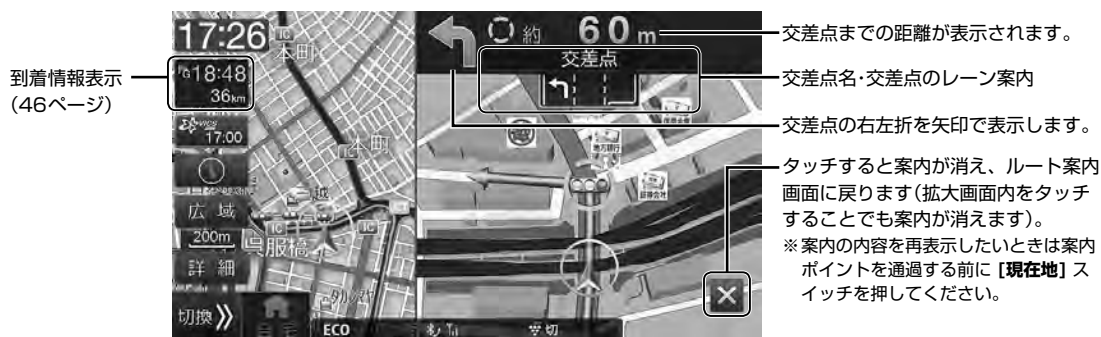
3. ナビゲーション機能

ルート案内中の画面や音声案内について(1/4)

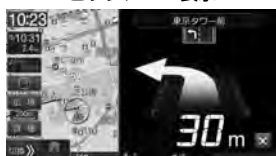
目的地までのルート案内中は、さまざまな表示や音声によって目的地までナビゲーションします。

<交差点拡大図表示>

ルート案内中に案内ポイントが表示されている交差点が近づくと、交差点拡大図が表示されます。



<ビッグアロー表示>



ルート案内中に案内ポイントが表示されている交差点が近づくと、矢印で進行方向を表示します。

- 交差点までの距離に応じて青・黄・橙色に切りかわります。



• 表示方法を交差点拡大図にするかビッグアローにするかどうかを設定できます(「案内図表示」98ページ)。

デフォルメ3D交差点拡大表示



3Dイラスト情報のある交差点が近づくと拡大して表示されます。

- 約700m手前になると音声案内が、約300m手前になると拡大画面が表示されます。
- デフォルメ3D交差点拡大図を表示するかどうかを設定できます(「詳細案内図表示」98ページ)。

リアル3D交差点拡大表示



リアル3D交差点情報のある交差点が近づくと、よりリアルな拡大図が表示されます。

- 約700m手前になると音声案内が、約300m手前になると拡大画面が表示されます。
- リアル3D交差点拡大図を表示するかどうかを設定できます(「詳細案内図表示」98ページ)。

高速入口案内図



情報のある都市高速の入り口が近づくと拡大して表示されます。

- 約700m手前になると音声案内が、約300m手前になると拡大画面が表示されます。
- 高速入口案内図を表示するかどうかを設定できます(「詳細案内図表示」98ページ)。

高速分岐案内



有料道路や高速道路を走行中に情報のある分岐点(JCT)が近づくと表示されます。レーンごとに方向が表示されます。

- 約2000m手前になると音声案内が、約1000m手前になると拡大画面が表示されます。

3. ナビゲーション機能

ルート案内中の画面や音声案内について(2/4)

ETCレーン表示



ETCレーン情報のある料金所が近づくと表示されます。ETC・ETC2.0車載器(別売)にETCカードが装着されている場合はETCレーンに矢印が表示されます。

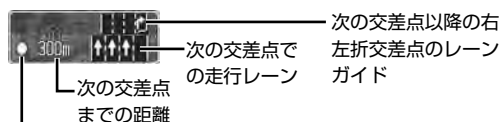
- ETCレーンを表示するかどうかを設定できます(「料金所ゲート案内」99ページ)。

レーンガイド表示



レーン情報のある分岐交差点が近づくと(約10km以内)、交差点までの距離と走行レーンが表示されます。

- レーンガイドを表示するかどうかを設定できます(「レーンガイド表示」98ページ)。



レーン情報がある交差点は ● が表示されます。
右左折する場合は交差点拡大図が表示されるタイミングで ● が表示されます。

方面看板表示



方面看板情報のある交差点の約500m手前になると方面看板が表示されます。

- 方面看板を表示するかどうかを設定できます(「方面看板表示」98ページ)。

ハイウェイモード表示



高速道路に入ったら自動的にハイウェイモードに切りかわります。ハイウェイモードではインターチェンジやサービスエリアの情報が表示されます。

- ハイウェイモードを解除するには **地図切換** をタッチし、地図切換画面で **1画面** **2画面** **エコインフォ** のいずれかを選択してください。
- ハイウェイモードを自動で表示するかどうかを設定できます(「自動ハイウェイモード」97ページ)。
- **高速渋滞** にタッチすると高速渋滞モード画面(46ページ)が表示されます。

フェリー航路表示



フェリーが利用できる場合はフェリーターミナルまでルート案内されます。フェリーを降りるとルート案内が再開されます。

- フェリー航路は --- (破線) で表示されます。画面にフェリー航路が表示されていてもルート検索の対象外航路の場合があります。
- ルート探索のときにフェリー航路を含まないように設定することもできます(「フェリー使用」101ページ)。

細街路案内表示



細街路を走行すると自動で2画面表示に切りかわり、右画面に25m市街地図を表示して細街路案内を行います。

- 細街路案内表示を解除するには、**【現在地】** スイッチを押してください。
- 細街路案内地図を自動で表示するかどうかを設定できます(「細街路オートスケール」97ページ)。

英語案内表示



地図表示と音声案内を英語で行うことができます。

- 英語案内を行うかどうかを設定できます(「英語設定」106ページ)。

3. ナビゲーション機能

ルート案内中の画面や音声案内について(3/4)

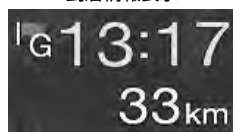
ハイウェイモード



高速渋滞モード



到着情報表示



ルート案内中に高速道路上のジャンクションやインターチェンジの混雑状況が表示されます。

ハイウェイモード(45ページ)表示中に「高速渋滞」にタッチするとジャンクション混雑状況が表示が切りかわり、それぞれの距離および所要時間を示す数字の色が混雑状況に応じて変化します。

- 数字は、順調の場合は緑色・混雑の場合は橙色・渋滞の場合は赤色・不明の場合は白色、で表示されます。「高速渋滞情報画面について」(13ページ)もあわせて参照してください。
- VICSの渋滞情報を受信していない場合は、「高速渋滞」にタッチすると「情報がありません」とメッセージ表示されます。
- ルートを設定していない場合は走行中の路線にあるジャンクション名のみを表示します。
- 「行程」にタッチすると行程ガイド画面(「ハイウェイモード表示」45ページ)に戻ります。
- ▲ にタッチすると先の情報を表示し、▼ にタッチすると手前の情報を表示します。

ルート案内中に目的地までの残距離と到着予想時刻が表示されます。

- 経由地やフェリー航路が設定されている場合は、タッチするとそれぞれの残距離と到着予想時刻が表示されます。
- 経由地の場合は 数字 が 数字 (数字は経由地の数による) に、フェリー航路の場合は 数字 が 数字 に変わります。

音声案内について

ルート案内中は案内ポイントの音声案内に加えて以下のような音声案内を行うことができます。音声案内を聞き逃したときなどは、任意のタイミングで「**現在地**」スイッチを押すと聞かれます。

- 音声案内の確認は「**現在地**」スイッチを押すタイミングによって案内の内容が変わります。

料金案内

有料道路や高速道路の出口料金所手前で料金が音声で案内されます。

- 正しい料金が案内されるようあらかじめ車種の情報を登録してください(「車両情報」99ページ)。
- 高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内はされません。

合流地点・踏み切り・事故多発地点がある場合に音声とアイコンでお知らせします。

合流案内・踏み切り・事故多発地点

合流案内	
踏み切り	
事故多発地点	

- 音声案内はルート案内中のみです。
- 合流地点・踏み切り・事故多発地点を案内するかどうかを設定できます(「合流案内」「踏み切り案内」「事故多発警告案内」98ページ)。

県境

都道府県の県境を越えるときに音声でお知らせします。

- 音声案内はルート案内中のみです。
- 県境を案内するかどうかを設定できます(「県境案内」98ページ)。

案内地点までの残距離

案内地点までの残距離が10km以内になったときに音声でお知らせします。

- 案内地点までの残距離を案内するかどうかを設定できます(「残距離音声案内」98ページ)。

到着予想時刻

目的地や経由地の到着予想時刻を音声でお知らせします。

- 到着予想時刻を案内するかどうかを設定できます(「到着予想時刻音声案内」98ページ)。

音声案内時のAVソース音量について

音声案内が聞こえたときに音楽などのAVソース音量が一時的にいつも小さくなるようにしたいときは、あらかじめ「ナビ音声案内時のAV音量ミュート」を「する」に設定し、音声案内が聞こえたときにAVソースの音量を下げると、次回以降、音声案内が聞こえたときには調整した音量で音楽などが再生されます。

表示マークについて

<VICS道路交通情報マーカー一覧>

- 地図画面に表示されるVICS交通情報マークの意味を以下に示します。
- 複数の情報を代表して1つのマークのみ表示することがあります。

	事故		大型通行止め		充電施設(急速/普通/プラグイン/不明):
	故障車		入口制限		空車(青)・満車(赤)・混雑(橙)・不明(黒)
	路上障害		オフランプ、規制		
	工事		片側交互通行		
	凍結		チェーン規制		充電施設(急速/普通/プラグイン/不明):閉鎖(赤)
	作業		進入禁止		
	通行止め、閉鎖		一般駐車場:空車(青)・満車(赤)・混雑(橙)・不明(黒)		
	対面通行				
	車線規制		一般駐車場:閉鎖(赤)		特別警報
	火災		臨時駐車場:空車(青)・満車(赤)・混雑(橙)・不明(黒)		気象・災害速報
	気象・災害・地震警戒宣言				
	気象		臨時駐車場:閉鎖(赤)		気象・災害注意報
	気象		SA:空(青)/満車(赤)/混雑(橙)/不明(黒)		右折禁止
	行事等				左折禁止
	徐行		SA:閉鎖(赤)		直進禁止
	入り口閉鎖		速度規制(40km/hの場合)		

<行程ガイドマーカー一覧>

	現在地		高速道路降り口		パーキングエリア(PA)
	目的地		料金所		ジャンクション(JCT)
	経由地		インターチェンジ(IC)		案内交差点
	高速道路入り口		サービスエリア(SA)		フェリー乗り場

<行程ガイド施設マーカー一覧>

	ガソリンスタンド		コーヒー・軽食		身障者施設
	温泉施設		ドラッグ		ベビーベッド
	FAX		ハイウェイ情報ターミナル・インフォメーション		宝くじ
	お風呂		宿泊施設		名産(ショッピングセンター)
	コインシャワー		ポスト		キャッシュコーナー
	コインランドリー		レストラン		トイレ
	コイン洗車		休憩所		公衆電話

- ガソリンスタンドはブランド別のアイコンになります。

3. ナビゲーション機能

地点登録について

あらかじめ地図上に地点を登録しておく、目的地や経由地の設定が簡単にできます(最大700か所)。登録した地点に近づいたときに音声案内が流れるようにしておくこともできます。

地点登録には現在地を登録する方法・地図上の任意の地点を登録する方法の2つがあります。



アドバイス

- 登録した地点はUSBメモリーに保存することができます(113ページ)。

■ 地点を登録する

- 1 地図上の登録したい地点またはナビメニュー画面から検索した地点で **登録** をタッチする



- 2 **地点登録** または **特別地点** をタッチする

- **地点登録** の場合は、指定された地点が登録されます。
- **特別地点** の場合は、**販売店**・**地点1**・**地点2**・**地点3**・**自宅** のいずれかにタッチすると特別地点として登録されます。



- **現在地**・**迂回する地点** については49ページを参照してください。
- 特別地点の自宅登録は通常クイックセットアップで設定しますが、住所が変わって再登録する場合には本操作で上書き登録してください。

地点登録画面について(1/3)

■ 地点登録画面について

地点登録画面はナビメニュー(36ページ)で検索したあと、または地図上の任意の場所をタッチしたあと **登録** をタッチすると表示されます。地点はナビメニューの登録地点・現在地・迂回する地点・特別地点に登録することができます。

• 登録した地点は登録地点編集画面で内容を変更することができます(50ページ)。



カーソルのある地点をナビメニューの登録地点として登録します。

- 最大700か所まで登録することができます。
- 現在地画面上のナビ操作スイッチの **地点登録** をタッチしても登録することができます(27ページ)。



カーソルのある地点を現在地(自車位置)に登録します。GPS受信状況の変化により画面上の自車マークの位置・方向が実際の車の向きと異なったときに修正します。

- 自車マークの向きは または にタッチして修正し、**登録** にタッチします。
- : 現在の角度から左回りに微調整した向きになります。
- : 現在の角度から右回りに微調整した向きになります。
- 修正なくても走行を続ければ、情報が補正され正しい位置・方位になります。



カーソルのある地点を迂回する地点に登録します。狭くて走りにくい道や普段から渋滞が多い場所などは迂回地点に登録しておくと、ルート探索の際にそのエリアを避けたルートが設定されます。

- 最大10か所まで登録することができます。
- **名称** をタッチすると迂回地点の名称を変更できます。
- **位置** をタッチすると迂回地点を変更できます。
- 「範囲」では迂回地点を中心として何m四方の範囲を迂回するかを設定できます。
- 設定した迂回範囲は地図画面上で赤色の四角で表示されます。



カーソルのある地点を特別地点に登録します。販売店・地点1・地点2・地点3・自宅の5か所を登録することができます。

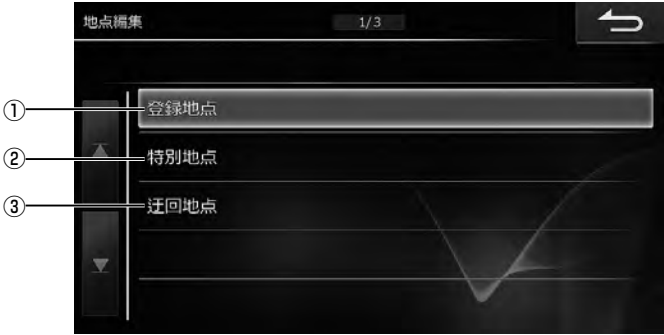
- 例えばドライブに行く際に立ち寄る可能性のある候補地などは特別地点として登録しておくと、通常の地点登録よりも簡単に目的地や経由地に設定できます。

3. ナビゲーション機能

地点登録画面について(2/3)

登録地点編集画面について

登録地点編集画面は [④ NAVI] スイッチを押して **設定** → **地点編集** の順にタッチすると表示されます。また各地点を登録したときにも編集することができます。



① 登録地点	登録地点の消去や並べかえができます。	<ul style="list-style-type: none">• リストから登録地点を選んで 消去 をタッチすると、選択した地点を消去できます。消去 をタッチし続けるとすべての登録地点を消去できます。• 基本情報・マーク情報・位置情報・詳細情報を編集することができます(51ページ)。
② 特別地点	特別地点3か所、自宅、販売店の登録や消去ができます。	<ul style="list-style-type: none">• リストから特別地点を選んで 消去 をタッチすると、選択した地点を消去できます。消去 をタッチし続けるとすべての特別地点を消去できます。• 基本情報・マーク情報・位置情報・詳細情報を編集することができます(51ページ)。
③ 迂回地点	迂回地点の消去ができます。	<ul style="list-style-type: none">• リストから迂回地点を選んで 消去 をタッチすると、選択した地点を消去できます。消去 をタッチし続けるとすべての迂回地点を消去できます。• 迂回地点の名称・位置・範囲を編集することができます(49ページ)。

3. ナビゲーション機能

地点登録画面について(3/3)

登録地点・特別地点詳細情報画面について

登録地点・特別地点詳細情報画面は、登録地点リスト画面または特別地点リスト画面で **情報** をタッチすると表示されます。

基本情報画面

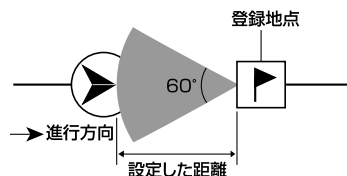
登録情報の基本情報(名称・読み・電話番号)を確認または変更できます。

マーク情報画面

地図上に表示される登録地点マークや、登録地点に近づいたときに接近音を鳴らすかどうかを確認または変更できます。また、接近距離や接近方向も変更できます。

方向設定 または **完了** をタッチして方向を指定し、**完了** にタッチし設定を保存します。

- **方向設定** で方向を指定したときは、指定した方向に向かって60°の範囲が対象となります。



登録地点の位置に関する情報が表示されます。

位置情報の変更および登録地点への属性設定ができます。

登録地点の位置を変更する

1. **位置** にタッチする
地点周辺の地図が表示されます。
2. 変更したい地点に十字カーソルをあわせる
3. **地点を変更** にタッチする
住所・緯度経度・マップコードが変更されます。

- 登録地点の位置を変更すると、地点属性はそれまでの設定を解除して「一般道路」になります。

登録地点に属性(一般道路/有料道路)を設定する

登録地点が一般道路(付近)にあるのか、または有料道路(高速道路)上にあるのかを設定できます。どちらも有り得る場合は「未設定」に設定してください。

1. 「地点属性」の **未設定** **一般道路** **有料道路** のいずれかにタッチする

登録地点に属性が設定されます。

- 登録地点の近くに一般道路/有料道路(高速道路)があり、登録地点を目的地または経由地に設定するときに本設定を利用してください。
- 登録地点付近に一般道路/有料道路(高速道路)がない場合は、地点属性は設定できません。

詳細情報画面

登録地点や施設の詳しい情報を確認することができます。

3. ナビゲーション機能 エコインフォについて(1/2)

エコインフォでは車速・GPSなどの情報をもとに、ドライブに役立つ車の様々な情報を表示します。

エコインフォ画面は地図画面から **地図切換** → **エコインフォ** をタッチすると表示されます。

■ エコインフォについて



① ②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳
㉑
㉒
㉓
㉔
㉕
㉖
㉗
㉘
㉙
㉚
㉛
㉜
㉝
㉞
㉟
㊱
㊲
㊳
㊴
㊵
㊶
㊷
㊸
㊹
㊺
㊻
㊼
㊽
㊾
㊿
自車位置が地図画面上に
表示されます。

エコインジケータが表示
されます(12ページ)。

- 本機の標高表示機能はGPSデータを元にした目安です。直前に走行した一定区間の平均表示であり、リアルタイムでの表示ではありません。またGPS信号の受信状態等により、実際と異なる標高を示す場合があります。
- トンネルの中や高層ビル等の間など、GPSの受信状態が悪い場所では標高表示できない場合があります。
- 自動ハイウェイモード(97ページ)を「する」に設定していると、高速・有料道路を走行するときに自動的に行程ガイド画面(ハイウェイモード)に切りかわります(45ページ)。

① エコガイド

エコドライブの判定結果を点数とグラフで表示します。点数は車の加速度から判定され、加速度が大きいほど低い点数になります。車速が30km/hを超えてから28km/hを下回るまで、または走行距離2km以上がひとつの採点基準になります。

より低燃費になる運転のために、エコガイド機能をご利用ください。

停車中:「区間」と表示され区間毎の採点結果を表示します。

走行中:「平均」と表示され平均採点結果を表示します。

- グラフ表示について詳しくは「エコガイドについて」(53ページ)を参照してください。

ドライブ評価

タッチするとドライブ評価画面を表示します。最新のエコ得点とアクセル操作/ブレーキ操作のティーチング採点結果がグラフで表示されます。

- 詳しくは「ドライブ評価・燃費情報画面について」(53ページ)を参照してください。
- ドライブ評価結果をクリアしたい場合には、エコ情報初期化(107ページ)を行ってください。

燃費情報

タッチすると燃費情報画面を表示します。平均燃費がリストとグラフで表示されます。

- 詳しくは「ドライブ評価・燃費情報画面について」(53ページ)を参照してください。

3. ナビゲーション機能 エコインフォについて(2/2)

エコガイドについて

エコ判定メーター

停車中・走行時におけるエコ判定結果を表示します。メーターの外側に「区間毎」、内側に「平均」の採点結果が表示されます。

加速度情報

走行中の加減速情報をアイコン表示します。停車中は非表示となります。

エコ判定・点数

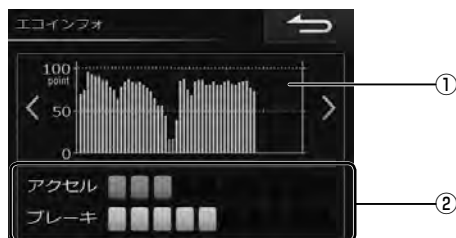


標高を表示します。

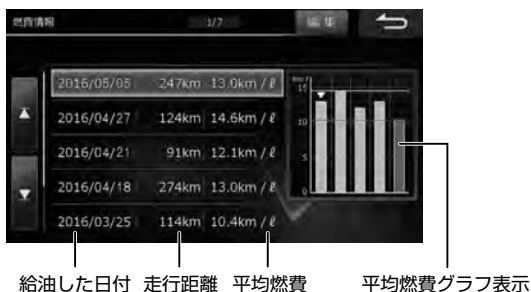
- 急加速または急減速を行うと、警告音が鳴ります。警告音はOFFにすることができます(「エコガイドトーン」107ページ)。
- 時速10km以下または電話中は警告音は鳴りません。
- エコガイドは実測による参考値で、燃費向上を保証するものではありません。
- 運転中は本機能の指示はあくまで参考とし、安全・交通の流れなどを配慮した運転を行ってください。

ドライブ評価・燃費情報画面について

<ドライブ評価画面>



<燃費情報画面>



- 最高燃費のグラフは青、最低燃費のグラフは赤、それ以外は緑で表示されます。

① ドライブ評価グラフ

最新のエコ得点を棒グラフで表示します。

- 0～20ポイントは赤、21～80ポイントは緑、81～100ポイントは青で表示されます。
- 最大で300km分までの過去のデータを表示して確認することができます。300kmを超えた分のデータを表示して確認することはできません。

② ティーチング情報表示エリア

アクセル・ブレーキ操作のティーチング採点結果をバークラフで表示します。点数は0～100点(10点刻み)で、10目盛り表示します。

- 点に合わせて、バークラフの色を変更します。1～30点は赤、31～80点は橙、81点～100点は緑で表示されます。

消去

燃費情報は20件まで保存されます。20件を超えると古いデータから削除されますが、不要なデータを選んで消去できます。タッチし続けると、全データを消去します。

編集

編集

選択している燃費情報の走行距離と給油量を修正できます。

新規入力

平均燃費を算出するために走行距離と給油量を入力してください。

3. ナビゲーション機能 VICSについて(1/5)

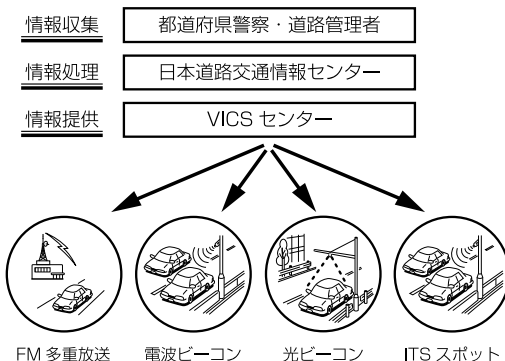
「楽しいドライブなのに突然渋滞。なんでこんなに混んでいるの？ 空から見下ろしてみたい！」

この要求に答えたのがVICS(ビークル インフォメーション アンド コミュニケーションシステム)です。VICSは渋滞や障害・規制、駐車場などのさまざまな交通情報をリアルタイムに提供します。この情報を利用すれば渋滞を減らすことができ、交通の流れが分散されます。さらにイライラによる精神的なストレス・経済的なロス・排気ガスの削減なども期待できるのです。

VICSによる渋滞・混雑などの情報を地図上に表示するため、あらかじめ「地図」に情報提供用の道路単位(VICSリンク)を設定しています。道路形状や交通情報収集施設の変化にともない、より正確な情報提供表示を行うために毎年情報提供単位が追加・変更されます。

このためにVICSによる地図情報表示は「本製品」発売後およそ3年程度で一部のエリアでVICSの地図情報が表示されなくなる場合があります。より正確な情報を表示するためには最新の「地図」をご使用ください(本製品の道路単位は2017年11月版です)。

●VICS 交通情報システム●



VICS は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
VICS リンクデータの著作権は (一財) デジタル道路地図協会、
(公財) 日本交通管理技術協会にあります。

VICS WIDEについて

本機はFM多重放送による新サービス「VICS WIDE」に対応しています。

VICS WIDEは従来のVICS-FM多重放送に加え、道路の交差点間などの一定区間の通過に要する時間(リンク旅行時間)やプローブ情報をもとに、より精度の高いルート案内が可能となります。

また気象・津波情報に火山噴火を加えたすべての特別警報(地震を除く)や大雨が発生しているエリアの情報提供を受けることができます。

- ・本機は進行方向別旅行時間表示には対応していません。
- ・VICS WIDEの情報提供は地域により異なります。VICS WIDEについて詳しくは、一般財団法人 道路交通情報通信システムセンターのホームページ <http://www.vics.or.jp> をご覧ください。

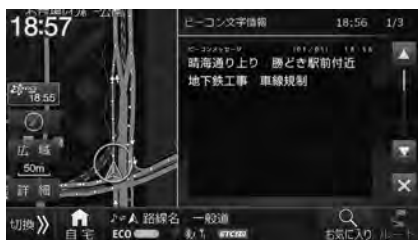
提供されるVICS情報

VICS情報には下記の4種類の情報があります。

<文字情報>

文字情報を表示します。

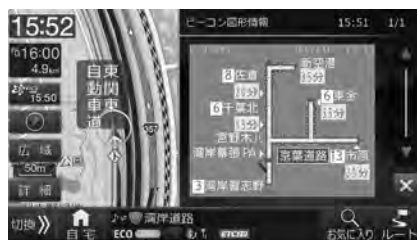
(表示例)



<図形情報>

簡易な道路図形などを表示します。

(表示例)



3. ナビゲーション機能

VICSについて(2/5)

<地図表示情報>

地図上に渋滞や規制情報などを表示します。

(表示例)



<画像・音声情報(ETC2.0のみ)>

画像を表示したり、音声情報を読み上げます。

(表示例)



- VICS情報については「VICS情報画面について(129ページ)」を参照してください。

情報を提供する媒体

情報を提供する媒体には次のような種類があります。

<FM多重放送>

FM放送局から音声のすき間を使って配信されます。FM局を受信していれば利用でき、広域で情報を受けられます。

<電波ビーコン>

主に高速道路に設置されています。ビーコンが設置された場所で周辺の情報を受けることができます。

<光ビーコン>

一般道路に設置されています。ビーコンが設置された場所で周辺の情報を受けることができます。

<ITSスポット>

主に高速道路に設置されています。ITSスポットが設置された場所で情報を受けることができます。

- FM多重放送によるVICS情報を利用するにはVICS情報を放送している放送局を選局してください。放送局の選局については「放送局選択」(130ページ)を参照してください。
- 本機は電波ビーコンには対応していません。
- ITSスポットによるVICS情報を受けるためには、別売のETC2.0車載器(HCE-B110V/HCE-B110)が必要です。HCE-B110Vは、付属の光ビーコンアンテナで光ビーコンによるVICS情報を受けることができます。

表示されるVICS情報




VICS情報は次のように表示されます。

<VICS情報表示>

FM多重放送で受信した文字または図形情報を呼び出して見ることができます。

<VICS割り込み情報表示>

光ビーコンまたはITSスポットから情報を受信したときや指定された地点で図形・文字・画像情報を自動的に表示します。

- ITSスポットからの情報に音声情報が含まれる場合は表示と共に自動的に読み上げを行います。
- 情報を割り込み表示しないようするには「情報割り込み」(102ページ)を参照してください。
- VICS割り込み情報には以下のような種類があります。
 - 緊急情報/緊急メッセージ: 大雨特別警報や地震・災害時の停車・避難等の行動指示(優先して表示します)
 - 安全運転支援: 走行路線の安全運転支援情報(優先して表示します)
 - 注意警戒情報: 工事・規制などの情報
 - ネットワーク障害/ことわり情報: VICSセンターなどからのお知らせ
 - 長文読み上げ情報: 交通状況や気象情報などの音声情報
 - 多目的情報: 道路交通情報・施設関連情報など
 - 電子標識: 標識などの案内情報
 - ビーコン図形情報: 走行中経路の交通情報
 - ビーコン文字情報: 広域の交通情報
- VICS割り込み情報の表示画面は、「割り込み時間」(102ページ)で設定した時間を経過するかまたは音声読み上げが終了すると解除されます。
- VICS割り込み情報の表示中に、 をタッチすることで表示画面を解除することができます。
- VICS割り込み情報の表示画面が複数ページある場合は  または  にタッチすると前後のページが表示されます。
- 交差点拡大図の表示中などVICS割り込み情報が表示しない場合があります。
- 別売のETC2.0車載器が必要です。

3. ナビゲーション機能 VICSについて(3/5)

VICS情報の表示例

VICSで提供されるさまざまな交通情報を地図上に表示します。

- 表示されるマークについては「VICS道路交通情報マーク一覧」(47ページ)もあわせて参照してください。
- VICS情報の更新中は情報を表示することができません。また正確に情報を表示しない場合があります。

<渋滞情報や道路交通情報マークの表示例>

渋滞情報や駐車場、規制区間などの情報を地図上に表示します。



- 「地図画面の見かた」(187ページ)もあわせてご覧ください。

渋滞情報

渋滞地点や渋滞区間などを地図上に実線の矢印で表示します。

	赤	渋滞:交通の流れが非常に悪い状態
	橙	混雑:交通の流れがやや悪い状態
	緑	空き道:交通の流れが良い状態

- 渋滞情報を表示しないように設定できます(「渋滞・混雑表示」「空き道表示」95ページ)。
- 渋滞情報は地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。

駐車場マーク

VICSで提供された一般駐車場・臨時駐車場のマークを地図上に表示します。





一般駐車場	青	空車:利用可能な状態
	赤	満車:ほぼ満車の状態
臨時駐車場	橙	混雑:利用率が高い状態
	黒	不明:駐車場情報がない状態

- マークにタッチまたはカーソルを合わせると情報画面が表示されます(「情報画面の表示例」57ページ)。
- 周辺のVICS提携駐車場を探すこともできます(「駐車場情報」130ページ参照)。
- 駐車場マークを表示しないように設定できます(「VICS駐車場・充電施設表示」96ページ)。
- 駐車場マークは地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。

3. ナビゲーション機能 VICSについて(4/5)

充電施設マーク

電気自動車用の充電施設を充電方法(急速・普通・プラグイン)に応じたマークを地図上に表示します。

	青	利用可能な状態
	赤	混雑している状態
	橙	利用率が高い状態
	黒	充電施設情報がない状態

- ・マークにタッチまたはカーソルを合わせると情報画面が表示されます(「情報画面の表示例」57ページ)。
- ・周辺の充電施設を探すこともできます(「充電施設」130ページ)。
- ・充電施設マークを表示しないように設定できます(「VICS駐車場・充電施設表示」96ページ)。
- ・充電施設マークは地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。

規制マーク

現在規制されているさまざまな規制マークを地図上に表示します。また、規制対象区間は黄色線で道路上に表示されます。

	進入禁止
	入口閉鎖
	事故
	工事

- ・マークにタッチまたはカーソルを合わせると情報画面が表示されます(「情報画面の表示例」57ページ)。
- ・規制マークを表示しないように設定できます(「規制マーク表示」96ページ)。
- ・規制マークは縮尺1km以下の地図で表示することができます。ただし、通行止め・入り口閉鎖・オフランプ(出口)閉鎖は関連する事象も含めて、道路が表示されるスケールの地図まで表示します。

(情報画面の表示例)

駐車場や充電施設、規制マークなどにタッチすると詳しい情報が表示されます。**情報** にタッチするとさらに詳しい情報が表示されます。



- ・情報が重なっている場合は、**次へ** にタッチすると近くの情報を表示します。

3. ナビゲーション機能

VICSについて(5/5)

<緊急情報画面の表示例>

大雨・大雪・津波など気象に関する情報を受信すると緊急情報画面が表示されます。



- ・ **情報** にタッチすると緊急情報の詳細情報が表示されます。詳細情報画面の **完了** または地図にタッチすると対象エリアを確認することができます(「規制や災害エリアの表示例」58ページ)。
- ・ **一覧** にタッチすると今までに受信した気象警報・災害などのリストが表示されます(「気象警報/災害エリア」129ページ)。

<規制や災害エリアの表示例>

規制・事故・災害・異常気象などが発生している対象エリア、または情報に応じたマークを地図上に表示します。対象エリアの表示方法および詳細については「VICS情報画面について」(129ページ)を参照してください。



- ・ 情報によっては対象エリアとマークが表示されない場合があります。
- ・ 今後規制やイベントなどが予定されているエリアも同様に表示することもできます(「予告配信表示」96ページ)。
- ・ 対象エリアを表示しないように設定できます(「気象警報・災害エリア表示」「規制エリア表示」96ページ)。
- ・ 対象エリアは情報に応じて赤紫色/赤色/橙色の境界線で表示されます。(情報によっては正確に表示されない場合があります。)
- ・ マークにタッチまたはカーソルを合わせると情報画面が表示されます(「情報画面の表示例」57ページ)。

■ 音声情報読み上げについて

VICS割り込み情報に音声情報が含まれる場合は、表示と共に自動的に読み上げを行います。

- ・ VICS割り込み情報内容が音声情報のみの場合、「音声のみの情報です」と表示されます。
- ・ 音声情報読み上げ中に画面遷移した場合、読み上げは中断されます。
- ・ 音声情報読み上げ中に **停止** をタッチすると読み上げは中断されます。また **読み上げ** をタッチすると最初から情報読み上げを行います(途中からの再生にはなりません)。
- ・ ナビ音声案内中に優先される音声情報が含まれるVICS割り込み情報がある場合、ナビ音声案内は中断されます。
- ・ 自動的に読み上げを行わないように設定することができます(「VICSでの音声読み上げ」102ページ)。
- ・ 別売のETC2.0車載器が必要です。

4. 電話・通信機能

BLUETOOTH通信とWi-Fi通信について

本機は、無線接続のBLUETOOTH通信とWi-Fi通信を使用できます。それぞれに使用できる機能が異なります。

<BLUETOOTH通信>		
電話(通話)	本機のマイクやスピーカーで通話するハンズフリー通話	60ページ
音楽データ再生	携帯電話・スマートフォンの音楽再生(BLUETOOTHオーディオ)	91ページ
アプリ連携	「NaviCon」および「NaviCon」と連携するアプリを利用したの地点情報の転送	69ページ
<Wi-Fi通信>		
地図データ更新	<ul style="list-style-type: none"> 全国地図データ年度更新 高速道配信の更新 	122ページ
本機プログラムデータ更新	本機のアップデートプログラムデータ	
車種専用チューニングデータ更新	車種専用のオープニング画像、チューニングデータ	
ログアップロードサービス	ログデータをアルパインサーバーへアップロードします。ログデータは、今後の製品開発や不具合が発生した際のログ解析などの用途で使用させていただきます。	108、122ページ



- NTTドコモ・au・ソフトバンクが提供する携帯電話は本機と接続できますが、携帯電話の機種によっては接続できない場合があります。
- お使いの携帯電話と本機の適合については、下記のホームページでご確認ください。
<https://www.alpine.co.jp/support/inquiry/>
- お車を運転中は携帯電話を直接操作しないでください。事故の原因になります。



<本機で使えるプロファイルについて>

プロファイルは、BLUETOOTH通信の接続手順を機能ごとに標準化したもので、プロファイルが本機と携帯電話で一致していない機能は利用できません。お使いの携帯電話が本機の対応プロファイルと一致しているかどうか確認してください。

- HFP :ハンズフリー通話を行うためのプロファイル
- OPP/PBAP :電話帳のデータなどを送受信するためのプロファイル
- A2DP :音声データを送信するためのプロファイル
- AVRCP :ポータブルオーディオプレーヤーで音楽再生の操作を行うためのプロファイル
- SPP :仮想シリアルポートを用いて2台のデバイスを接続するプロファイル

<本機で使えるWi-Fi規格について>

本機は下記規格のアクセスポイントと接続することができます。

- 無線LAN規格 :IEEE 802.11b/g/a/n
- 周波数帯域 :2.4/5GHz帯(W56のみ)
- 使用チャンネル :1 ~ 13ch(2.4GHz)
:100 ~ 140ch(5GHz)

<Wi-Fiに関する注意事項>

- 屋外設置のアクセスポイントをご使用される際は「技適マーク」付の屋外対応無線LANアクセスポイントをご使用ください。
- Wi-Fi対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法や表示・動作が正常ではない場合があります。本機との連携時には、Wi-Fiテザリング契約が必要な場合があります。
- Wi-Fi対応機器と本機が近くで接続していても電波の状況によりノイズ等が入る場合があります。

<対応セキュリティ方式および暗号強度>

セキュリティ方式	暗号強度
Open system	—
WEP	低
WPA Personal	中
WPA2 Personal	高

携帯電話・スマートフォンを接続する

BLUETOOTH対応の携帯電話を本機とBLUETOOTH接続することでハンズフリー通話ができます。ハンズフリー電話を使うと、本機から電話をかけたり受けたりすることができ、運転中でも携帯電話を持たないで通話することができます。また本機に携帯電話の電話帳を読み込んで電話をかけることもできます。

初めてお使いになるときは、お使いの携帯電話を以下の手順に従って本機に登録してください。登録した携帯電話は、BLUETOOTH機能がONになっていれば、エンジンをACCまたはONにするだけで本機と自動的に接続されます。

- 1 **[Ⓐ NAVI] スイッチ**を押し、**設定** → **Bluetooth/Wi-Fi設定** → **Bluetooth設定** の順にタッチする

- 2 **登録/変更** → **未登録** → **機器登録** の順にタッチする

- **登録/変更** をタッチした後にBLUETOOTH機器との接続解除のメッセージが表示された場合は **はい** を選択してください。
- 本機にはBLUETOOTH機器を5台まで登録できますが、2台以上の携帯電話をハンズフリー機器として同時に使うことはできません。複数台を登録したときは、利用する携帯電話を切りかえてお使いください。



- 3 **Bluetooth機器から探索** をタッチし、**ハンズフリー** **ハンズフリー+オーディオ** のいずれかにタッチする

- ハンズフリー電話としてお使いになるときは **ハンズフリー**、ハンズフリー電話とBLUETOOTHオーディオどちらにもお使いになる場合は **ハンズフリー+オーディオ** にタッチします。
- BLUETOOTHオーディオとしてお使いになる場合は **オーディオ** にタッチします。(91ページ)
- **MITM設定** をタッチするとMITM(中間者攻撃)Protection設定を一時的に変更することができます。 **OFF** にすることにより、機器設定ができない機器の登録が可能となる場合があります。

- 4 携帯電話のBLUETOOTH機能をオンにし、携帯電話で本機を検索する

- 5 携帯電話にパスキーの入力画面が表示されたら本機と同じパスキーを入力する

- 携帯電話によってはパスキーの入力が不要な機種もあります。
- パスキーの初期値は"1234"です。

- 6 BLUETOOTH接続が開始される

- BLUETOOTH機器設定画面に戻ります。

- 上記の手順で接続できない場合は携帯電話のBLUETOOTH機能をオンにし、手順3で **ナビから探索** をタッチし画面の説明に従って登録してください。
- 接続した携帯電話のBLUETOOTH機器リストには「ALPINE」と表示されます。
- 登録した携帯電話が音楽機能つきの場合は、携帯電話の音楽も再生できます。
- **1** にタッチすると、接続した携帯電話の詳細情報を表示することができます。

電話をかける・受ける



・ハンズフリーで通話するときは窓を閉め、大きめの声ではっきりお話しください。

電話をかける

1 [ⓐ NAVI] スイッチを押し、**ハンズフリー** をタッチする

2 電話をかける方法を選ぶ

- ・走行中は短縮ダイヤルとリダイヤル以外は無効です。
- ・短縮ダイヤルとリダイヤル発信のときは手順3は不要です。
- ・電話メニューについては63ページを参照してください。

3 電話をかけたい相手を選び、**発信** をタッチする

- ・通話を終了するには **終了** をタッチしてください。地図画面などを表示しているときは、 をタッチして通話中画面に切り替え、**終了** をタッチします。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら **開始** を押す

- ・電話がかかってくると着信音が鳴り、着信メッセージが表示されます。テレビの音声や音楽などはオフになります。着信メッセージ画面の大きさは変更できます(「着信全画面割込み」116ページ)。
- ・通話を終了するには **終了** をタッチしてください。地図画面などを表示しているときは、 をタッチして通話中画面に切り替え、**終了** をタッチします。通話を終了すると自動で元のソースに切りかわり、元の画面に戻ります。
- ・かかってきた電話に出られないときは **応答保留** をタッチしてください。なお、お使いの機器によっては応答保留が動作しない場合があります。
- ・かかってきた電話を自動的に受けるように設定することができます(「自動着信」(116ページ))。
- ・本機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録しておく、電話がかかってきたときにその名前と電話番号が画面に表示されます(相手が電話番号を通知して発信した場合)。
- ・携帯電話で応答時間を設定している場合は携帯電話の設定が優先されます。
- ・ステアリングリモコン接続対応車の場合、ハンズフリーでの電話着信時にステアリングリモコンの「MODEボタン」を押すことで電話を受けることができます。また、通話中に「MODEボタン」を押すことで電話を切ることもできます。
 - 車種によっては受話/終話スイッチが使用できます。
 - 発信はできません。
 - 「MODEボタン」の名称は、車種によって異なります。

着信全画面割込み設定が「する」の場合:



着信全画面割込み設定が「しない」の場合:



4. 電話・通信機能 通話中画面について

通話中は下記の通話中画面が表示されます。



① 名前	本機の電話帳に登録されている名前が表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> 相手が電話番号を通知して発信した場合や、電話帳に登録した相手・登録地点・検索した施設に電話をかけた場合に 표시됩니다。 画面に名前を表示しないようにすることもできます (「着信・通話画面情報表示」116ページ)。
② 電話番号	相手の電話番号が表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> 相手が電話番号を通知してこない場合などは何も表示されません。 画面に電話番号を表示しないようにすることもできます (「着信・通話画面情報表示」116ページ)。
③ 通話時間	通話時間が表示されます。	
④ 送話音量/受話音量	現在の音量が表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> ◀ または ▶ をタッチすると音量を調整できます。
	前の画面に戻ります。	
	通話を終了します。	
	本機のハンズフリー機能で通話するか、携帯電話で通話するかを切りかえます。	<ul style="list-style-type: none"> ハンズフリー通話の場合:  携帯電話での通話の場合:  着信時に携帯電話で通話になっている場合でも、着信音は携帯電話とナビゲーションの両方で鳴ります。
	トーン発信用の数字入力画面を表示します。	<ul style="list-style-type: none"> 音声ガイドンスなどに従って数字を入力する必要があるときなどにタッチしてください。
	通話が開始されます。	<ul style="list-style-type: none"> 通話中は無効です。

電話メニュー画面について(1/2)

電話メニュー画面は、[▲ NAVI] スイッチを押して **ハンズフリー** をタッチすると表示されます。



かかってきた相手に電話をかけます。

- 最大30件まで履歴として残ります。30件を超えた場合は古いものから削除されます。
- 着信履歴を消去したいときは、着信履歴画面で消去したい相手を選び、**消去** をタッチします。**消去** をタッチしたままにすると着信履歴をすべて消去できます。
- 走行中は使用できません。



以前かけた相手に電話をかけます。

- 最大30件まで履歴として残ります。30件を超えた場合は古いものから削除されます。
- 発信履歴を消去したいときは、発信履歴画面で消去したい相手を選び、**消去** をタッチします。**消去** をタッチしたままにすると発信履歴をすべて消去できます。
- 走行中は使用できません。



相手の電話番号を入力して電話をかけます。電話番号は市外局番から入力してください。

- 走行中は使用できません。



携帯電話の電話帳を本機に読み込んでおくと、本機の電話帳から電話をかけることができます。

- 電話帳は50音順・メモリー番号順・グループ順に並べかえることができます。
- 取り込んだ電話帳を消去したいときは、電話帳画面で消去したい相手を選び、**消去** をタッチします。**消去** をタッチしたままにすると取り込んだ電話帳をすべて消去できます。本機の電話帳を消去しても携帯電話からは消去されません。
- **i** にタッチすると、読み込んだ電話番号の詳細情報を表示することができます。
- 電話帳の読み込みについては65ページを参照してください。
- 走行中は使用できません。



他の携帯電話から登録した電話帳を呼び出して電話をかけることができます。

4. 電話・通信機能

電話メニュー画面について(2/2)



携帯電話の電話帳を本機に読み込みます。

- 電話帳の読み込みについては65ページを参照してください。



BLUETOOTH接続を解除します。接続を解除すると **再接続** に変わります。再度 BLUETOOTH接続を行うときは **再接続** をタッチしてください。



BLUETOOTH接続する機器を登録したり、他の機器に切りかえたりします。

- **機器設定** はBLUETOOTH機器が1台も登録されていない場合に表示されます。BLUETOOTH機器を新規登録する場合は **機器設定** にタッチしメッセージが表示されたら **はい** にタッチして「携帯電話・スマートフォンを接続する」(60ページ)の手順2へ進んでください。



短縮ダイヤルに登録した相手に電話をかけます。

- **短縮ダイヤル**を登録するには：
本機に読込んだ電話帳から短縮ダイヤルに登録します。
① **[NAVI]** スイッチを押して **ハンズフリー** → **電話帳** の順にタッチ
② 短縮ダイヤルに登録したい相手を選択
③ **i** → **電話番号** タブの順にタッチ
④ 登録したい電話番号を選択して **短縮登録** をタッチ
⑤ 登録する短縮ダイヤルを選択
- 短縮ダイヤルに登録されている電話番号には電話帳詳細情報画面に **1** / **2** / **3** のアイコンが表示されます。
- 上記手順⑤で登録済みの短縮ダイヤルを選ぶと電話番号が上書きされます。
- **短縮ダイヤル**を解除するには：
• 上記登録手順⑤で **登録解除** をタッチ



直前にかけた相手に電話をかけます。

電話帳を読み込むには

本機の電話帳は携帯電話の電話帳を読み込んで登録します。本機に電話帳を登録しておくと、電話帳から電話をかけたり短縮ダイヤルを登録したりすることができます。

携帯電話から電話帳を読み込む

1 電話帳を読み込みたい携帯電話を本機と接続する

2 [Ⓜ NAVI] スイッチを押し、**ハンズフリー** → **電話帳読み込み** → **追加** の順にタッチする

- 電話帳を読み込む携帯電話がPBAPのプロファイルに対応している場合は、**追加** をタッチするかわりに **同期** をタッチすると、本機の電話帳がすべて更新されます。



3 携帯電話から電話帳を転送する

4 読み込みが完了したら **保存** をタッチする

- 本機の電話帳には携帯電話1台につき最大1000件まで登録できます。
- 電話帳1件あたり最大5つまで電話番号を読み込むことができます。
- 携帯電話から「全件送信」を行ったときは携帯電話の電話帳のグループを取り込むことができます(最大100件)。
- 取り込み可能な名称・読み・グループ名称・電話番号は半角または全角30文字までです。携帯電話の電話帳でP(ポーズ)を付けて電話番号を登録している場合はP(ポーズ)の前まで取り込まれます。ハイフンを付けて登録されている電話番号はハイフンを削除して取り込まれます。
- 長い名称や電話番号は一部が表示されない場合があります。
- 携帯電話でシークレット登録されている電話番号は取り込まれません。
- 携帯電話の発信履歴と着信履歴は取り込みできません。

Wi-Fi通信機器を接続する(1/3)

初めてお使いになるときは、Wi-Fi通信機器を「本機から自動探索する」「機器名を入力して登録する」「WPS機能を使用して登録する」のいずれかの方法で本機に登録してください。登録したWi-Fi通信機器の自動接続(120ページ)が「する」に設定されていれば、エンジンをACCまたはONにするだけで本機と自動的に接続されます。

<Wi-Fi通信機器接続後の画面表示例>



Wi-Fi電界強度インジケータ
接続・通信中は点滅表示します。



- Wi-Fi通信機器は最大10件まで登録できますが、2台以上のWi-Fi通信機器を同時に使うことはできません。複数台を登録したときは、利用するWi-Fi通信機器を切りかえてお使いください。

■ 本機から自動探索してWi-Fi通信機器を登録する

Wi-Fi設定(機器探索)画面の機器リストから接続するアクセスポイントを選んで登録することができます。

- 1 [⬆ NAVI] スイッチを押し、**設定** → **Bluetooth/Wi-Fi設定** → **Wi-Fi設定** → **機器探索** の順にタッチする

- アクセスポイント(技適マーク)の確認画面が表示されます。

- 2 アクセスポイント(技適マーク)の確認画面の **確認** にタッチする

- Wi-Fi設定(機器探索)画面が表示されます。

- 3 登録したい機器名を選んでタッチし、**機器登録** にタッチする



- 4 パスワード入力確認画面が表示されたら **確認** にタッチし、入力画面で機器のパスワードを入力し、**完了** にタッチする

- パスワードについては、Wi-Fi通信機器側の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器によっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。手順5にお進みください。

- 5 Wi-Fi通信接続が開始され、Wi-Fi設定画面に戻る

- 登録したWi-Fi通信機器はWi-Fi設定画面へ追加されます。
- 接続中のWi-Fi通信機器には“接続”と表示されます。
- 登録したWi-Fi通信機器を消去できます。消去したい機器を選んで **消去** にタッチします。確認画面が表示されたら **はい** にタッチします。

Wi-Fi通信機器を接続する(2/3)

■ 機器名を入力してWi-Fi通信機器を登録する

接続する機器が決まっていれば、本機に機器名(SSID)を入力して登録することができます。

- 1 [Ⓜ NAVI] スイッチを押し、**設定** → **Bluetooth/Wi-Fi設定** → **Wi-Fi設定** → **機器探索** の順にタッチする

- アクセスポイント(技適マーク)の確認画面が表示されます。

- 2 アクセスポイント(技適マーク)の確認画面の **確認** にタッチする

- Wi-Fi設定(機器探索)画面が表示されます。

- 3 **機器名入力登録** → **機器名(SSID)** の順にタッチする

- 同じ機器名(SSID)がすでに登録されている場合は、別の機器名(SSID)への変更をお勧めします。



- 4 機器名称を入力して **完了** にタッチする

- 5 セキュリティの種類を **なし** **WEP** **WPA** **WPA2** のいずれかにタッチして選ぶ

- セキュリティを「なし」に設定した場合は、パスワードの入力は行いません。手順7に進んでください。

- 6 **パスワード** にタッチし、入力画面で機器のパスワードを入力して **完了** にタッチする

- WEPを選択した場合は「16進数(HEX)」「0～9の数字とa～fの英字」、WPA・WPA2の場合は「ASCII」(半角英数字)でそれぞれ入力してください。
- パスワードについては、Wi-Fi通信機器側の取扱説明書をご覧ください。

- 7 入力が終了したら **完了** にタッチする

- 8 Wi-Fi通信接続が開始され、Wi-Fi設定画面に戻る

- 登録したWi-Fi通信機器はWi-Fi設定画面へ追加されます。
- 接続中のWi-Fi通信機器には「接続」と表示されます。
- 登録したWi-Fi通信機器を消去できます。消去したい機器を選んで **消去** にタッチします。確認画面が表示されたら **はい** にタッチします。

Wi-Fi通信機器を接続する(3/3)

■ WPS機能を使用してWi-Fi通信機器を登録する

接続する機器にWPS 機能があれば、WPS機能を使用して登録することができます。

- 1 [⬆ NAVI] スイッチを押し、**設定** → **Bluetooth/Wi-Fi設定** → **Wi-Fi設定** → **機器探索** の順にタッチする

• アクセスポイント(技適マーク)の確認画面が表示されます。

- 2 アクセスポイント(技適マーク)の確認画面の **確認** にタッチする

• Wi-Fi設定(機器探索)画面が表示されます。

- 3 **WPS登録** → **プッシュボタン方式** または **PINコード入力方式** にタッチする



- 4 プッシュボタン方式の場合は、2分以内にWi-Fi通信機器側で登録操作を行う。PINボタン方式の場合は、2分以内に本機画面に表示されたPINコードをWi-Fi通信機器に入力する

- WPS機能については、Wi-Fi通信機器側の取扱説明書をご覧ください。
- WPS使用時のセキュリティはWPAまたはWPA2を選択してください(TKIP/WEKは「OFF」に設定)。

- 5 Wi-Fi通信接続が開始され、Wi-Fi設定画面に戻る

- 登録したWi-Fi通信機器はWi-Fi設定画面へ追加されます。
- 接続中のWi-Fi通信機器には“接続”と表示されます。
- 登録したWi-Fi通信機器を消去できます。消去したい機器を選んで **消去** にタッチします。確認画面が表示されたら **はい** にタッチします。

スマートフォンナビ連携機能

スマートフォンの「NaviCon」および「NaviCon」と連携するアプリを本機と連動させることができます。「NaviCon」と、連携するアプリで検索した地点をBLUETOOTH通信で本機側へ転送し、本機側で目的地設定・案内することができます。

本機能を使用するには、「NaviCon」およびアルパインオリジナルアプリ「おでかけコンシェル」をApp StoreまたはGoogle Playからスマートフォンにダウンロードしてください。

- NaviCon(iOS版/Android版)は無料で利用することができます。インストール方法は下記を参照してください。
NaviConサポートサイト: <https://navicon.com/>



- スマートフォンを本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、電波状態が悪化する場合があります。
- スマートフォンナビ連携機能を使用するには、スマートフォンを本機に接続・登録する必要があります。接続・登録方法については60ページを参照してください。
- 別売のiPod/iPhone接続ケーブルを使ってiPhoneを接続している状態では、「NaviCon」および「NaviCon」と連携するアプリとの接続ができません。
- 一部機能については走行中の操作はできません。
- 本機はNTTドコモ・au・ソフトバンクのスマートフォンに対応しています。動作確認済みのスマートフォン機種についてはアルパインのホームページ(<https://www.alpine.co.jp>)を参照してください。
- 「NaviCon」と連携するアプリ(アルパインオリジナルアプリ「おでかけコンシェル」)については、アルパインのホームページ(<https://www.alpine.co.jp>)を参照してください。
- 「NaviCon」と連携するアプリ(アルパインオリジナルアプリ「おでかけコンシェル」)を利用すると通信費が発生します。通信費はお客様負担となります。

1 スマートフォンを操作してApp StoreまたはGoogle Playからアプリケーション「NaviCon」および「おでかけコンシェル」をダウンロードする



- アルパインオリジナルアプリについては、アルパインホームページを参照してください。
<https://www.alpine.co.jp>

2 本機にスマートフォンをBLUETOOTH接続する

- 60ページを参照して、お使いになるスマートフォンを本機に「ハンズフリー」または「ハンズフリー+オーディオ」で登録・接続してください。
- 別売のiPod/iPhone接続ケーブルを使ってiPhoneを接続している状態では、BLUETOOTH接続ができません。接続ケーブルを外してからBLUETOOTH接続を行ってください。

3 [現在地] スイッチを押して本機の地図画面を表示し、スマートフォンを操作して「NaviCon」または「おでかけコンシェル」を起動する

- NaviConおよびおでかけコンシェル利用時は、本機側は必ず地図画面を表示した状態にしてください。
- NaviConが起動し、本機との接続が完了するとNaviConの接続インジケータ表示が「ONLINE」になり、スマートフォンと本機の画面上に同じ位置の地図が表示されます。ナビ画面の状態・使用アプリによっては地図表示がされない場合があります。
- Androidスマートフォンの場合、スマートフォン側での接続先設定が必要になります。NaviConのメニュー→「接続先設定」→本機(初期設定はALPINEと表示)を選択して「完了」をタッチしてください。
- 安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

「NaviCon」の操作

NaviConは多彩な連携アプリで探した行先を、ワンタッチでカーナビに転送し目的地に設定できるお出かけサポートアプリです。

- NaviConは、他のスマートフォン検索アプリと連携することができます。また、他のアプリで検索した地点情報や店舗情報をNaviCon上に取り込むこともできます。連携できるアプリの種類や詳細については<http://www.denso.co.jp/>を参照してください。
- スマートフォンの連絡先などに登録されている住所情報を「NaviCon」に取り込み、取り込んだ地点情報をNaviConで目的地に設定することができます。
- NaviConユーザー間で、地点情報をメール・SMSで共有することができます。



アドバイス

- ・「NaviCon」を利用すると通信費が発生します。通信費はお客様負担となります。
- ・安全のため、運転中はスマートフォンの操作をしないでください。

地点情報を利用する

1 [現在地] スイッチを押して本機の地図画面を表示し、スマートフォンを操作して「NaviCon」を起動する

- ・NaviCon利用時は、本機側は必ず地図画面を表示した状態にしてください。
- ・NaviConが起動し、本機との接続が完了するとNaviConの接続インジケータ表示が「ONLINE」になり、スマートフォンと本機の画面上に同じ位置の地図が表示されます。ナビ画面の状態・使用アプリによっては地図表示がされない場合があります。

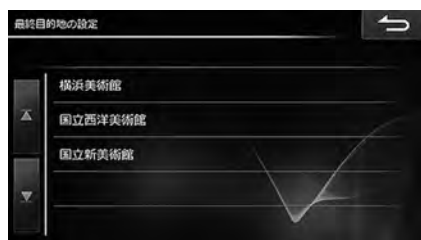
2 NaviConから本機に地点情報を転送する

- ・転送された場所が本機に画面表示されます。
- ・地点情報の転送方法についてはNaviConの操作方法をご覧ください。
- ・有料道路付近の施設に目的地・経由地を設定しても、一般道路に設定される場合があります。目的地・経由地を有料道路に設定する場合は、ルートの条件変更(43ページ)で **一般・有料** を再度選択してください。

3 本機の地図画面上で目的地設定を行い、**案内開始** をタッチする

<複数地点が送信された場合>

1 目的地設定画面で地点を選んで目的地を設定する



2 経由地設定画面で経由地を設定する

<すでに目的地が設定されていた場合>

1 **目的地に設定** または **経由地に追加** をタッチする

5. オーディオビジュアル機能

AVソースメニュー画面について(1/2)

AVソースメニュー画面は【**AV AUDIO**】スイッチを押すと表示されます。テレビ放送・DVDの映像やBT AUDIOの音楽・ラジオなどを楽しむことができます。



	テレビ放送を視聴することができます(73ページ)。	
	HDMI入力 HDMI設定時: HDMI接続端子を持つスマートフォンやビデオカメラなどをメディアポートに接続して、ビデオ・音楽・写真などを再生することができます(82ページ)。	※ 別売DVDプレーヤー DVE-5300使用時は、使用できません。
	HDMI入力 DVD/CD設定時: 別売DVDプレーヤー DVE-5300を接続してDVDの映像(149ページ)やCDの音楽(153ページ)を再生することができます。	
	AMラジオとFMラジオを聴くことができます(80ページ)。	
	USBメモリー接続時: メディアポートに接続したUSBメモリーに保存されている音楽を再生できます(88ページ)。	
	iPod/iPhone接続時: メディアポートに接続したiPodやiPhoneの音楽を再生することができます(84ページ)。	
	本機とBLUETOOTH接続したオーディオ機器の音楽を再生することができます(92ページ)。	
	ウォークマンやポータブルオーディオプレーヤーなどメディアポートに接続した外部接続機器の音楽や映像などを再生することができます(83・94ページ)。	
	ハンズフリーフォンの操作画面を表示します(63ページ)。	
	道路交通情報を受信することができます(80ページ)。	
	ルート案内の音声・映像はそのままオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます。	<ul style="list-style-type: none"> • 【AV】スイッチを2秒以上押し続けることでオーディオ・ビジュアルソースの音声・映像出力をOFFにできます。

AVソースメニュー画面について(2/2)

音質調整

音質調整画面を表示します(109ページ)。



ダブルゾーン



ダブルゾーン



ダブルゾーン



ダブルゾーン



ダブルゾーン

後席(リアビジョン)に出力するソースの切りかえ設定を行うことができます(141ページ)。

- 現在の設定がスイッチに表示されます。
- DVDまたはHDMIは、「HDMI接続機器選択」(103ページ)で設定した機器のみ選択することができます。

リアビジョン/アロマ

リアビジョン/アロマ画面を表示し、リアビジョン/アロマに関する設定を行います(140ページ)。

設定

設定・調整画面を表示します(95ページ)。

<AVソース情報マーカー一覧>

AVメイン画面、ナビ地図画面インジケータに、下記のような情報アイコンが表示されます。

テレビ		チャンネル番号
ラジオ		周波数
オーディオ		再生中の曲番号

5. オーディオビジュアル機能 テレビを見る

テレビを視聴できます。走行中は安全のため映像が消えて音声だけになります。

1 [♪ AUDIO] スイッチを押し、AVソースメニューの **TV** をタッチする

- テレビを初めて使うときは初期設定画面が表示されます。



2 チャンネルを切りかえるには画面をタッチし、表示されたプリセットスイッチをタッチまたは [◀◀] / [▶▶] スイッチを押す

- **[AV]** スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」71ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

初期設定について

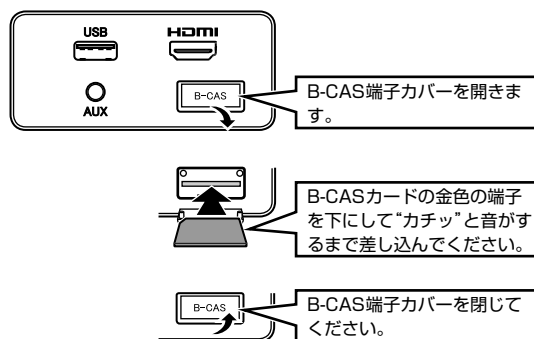
初めてテレビモードにすると初期設定画面が表示されます。画面に従ってお住まいの地域を設定し、最後に**ホームスキャン** をタッチしてください。

- **ホームスキャン** をタッチしたあとスキャンが終了するまではしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。
- 初期設定(ホームスキャン)は自宅周辺で実行してください。ホームスキャンしたチャンネルは、ホームモードのプリセット番号として記憶されます。
- 引っ越しなどで居住地域が変わったときは、ホームスキャンをやり直してください。

B-CASカードについて

B-CASカードはテレビ放送の視聴に必要なICカードです。付属のB-CASカードの表面を上にして“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

- B-CASカードの「使用許諾契約約款」をよくお読みください。
- 付属のB-CASカードは他の製品には使用しないでください。
- B-CASカードにはICチップが組み込まれています。取り扱いには十分注意してください。
 - 折り曲げたり、変形させない。
 - 水をかけたり、濡れた手でさわらない。
 - 炎天下の車内や厳冬期の車内には長時間放置しない。
 - 分解加工は行わない。
- B-CASカード裏面の金色端子部に触れないよう、カードの側面を持ってください。カード端子部に手を触れた場合、手に付着している見えない異物が端子部に付着し、カードの読み取り不良が発生する恐れがあります。
- B-CASカードについてのお問い合わせ先はカードの台紙に記載されています。台紙は大切に保管しておいてください。



B-CASカードお問い合わせ先:

(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター TEL 0570-000-261

5. オーディオビジュアル機能 テレビ画面について

テレビ視聴中に画面にタッチすると、情報画面が表示されます。テレビ操作を行うには **切換>>** をタッチして操作画面に切りかえます。しばらく(約8秒)操作しないと、情報・操作部分の表示が消えます。

■ 映像画面



画面にタッチ

約 8 秒後に情報・操作表示が
消えます

■ 情報画面



番組名表示部分にタッチすると、
番組情報画面を表示します

■ 操作画面 2



切換>> にタッチ

■ 操作画面 1



AV

テレビ画面について

5. オーディオビジュアル機能 テレビ操作画面について(1/2)

テレビを視聴中に画面をタッチするとテレビ操作画面が表示されます。操作画面は2画面あります。



操作スイッチの表示を切りかえます。 プリセットスイッチを切りかえます。

※ 放送局のロゴマークは表示されない場合があります。

受信電波の強弱がアイコンで表示されます。 テレビ受信状態マーク一覧														
① 受信状態表示	<table><tr><td>表示</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>受信状態</td><td>圏外</td><td>微弱</td><td>弱</td><td>中</td><td>強</td></tr></table>	表示						受信状態	圏外	微弱	弱	中	強	
表示														
受信状態	圏外	微弱	弱	中	強									
② チャンネル番号	受信しているチャンネル番号が表示されます。													
③ 状態表示	現在の受信状態をアイコンで表示します。	<ul style="list-style-type: none">・ SCAN: 受信可能な放送局をスキャンしているときに表示されます。・ ワンセグ: ワンセグ放送を受信しているときに表示されます。・ SEARCH: 自動サーチ中に表示されます(78ページ)。												
④ モードインジケータ表示	モード切換 で切りかえた内容がインジケータに表示されます(76ページ)。	<ul style="list-style-type: none">・ : 音声多重放送の主音声/副音声切りかえ・ : マルチビュー放送のアングル切りかえ・ : 映像が複数ある場合の切りかえ・ : 音声複数ある場合の切りかえ・ : 字幕切りかえ												
⑤ プリセットスイッチ	プリセットされた放送局と番組名を表示し、タッチすると番組を切りかえます。	<ul style="list-style-type: none">・ プリセットスイッチに放送局を記憶するには: ホームスキャンまたはお出かけスキャンを行うと、プリセットスイッチに放送局が最大12チャンネル記憶されます。・ プリセットした放送局を呼び出すには: いずれかのプリセットスイッチをタッチします。・ 受信中の放送局のプリセットスイッチにタッチすると、地上デジタル放送とワンセグ放送が切りかわります。地上デジタル放送の映りが悪いときはワンセグ放送に切りかえてください。												
⑥ バックグラウンドサーチインジケータ	バックグラウンドサーチ中はインジケータ(SEARCH)が表示されます。	<ul style="list-style-type: none">・ バックグラウンドサーチインジケータ表示中は、一時的に受信感度が低くなります。												
/		プリセット番号順にチャンネルを切りかえます。												
/		プリセットされた放送局がスクロールします。												

5. オーディオビジュアル機能 テレビ操作画面について(2/2)

スキャン

お出かけモードやホームモードでは受信できない地域でテレビを見るときに、その地域で受信できる放送局をプリセットします(お出かけスキャン)。

2秒以上タッチし続けると、視聴中の放送局の中継局や系列局をサーチします。

- お出かけスキャンしたチャンネルはお出かけモードのプリセットスイッチに記憶されます。
- お出かけスキャンを実行するとお出かけモードにすでに登録されているチャンネルは上書きされます。

ホーム ↑↓ お出かけ

ホームモード/お出かけモードを切りかえます。

- ホームモード: お住まいの地域のチャンネルが設定されているモードです。
- お出かけモード: お出かけした際に、その地域のチャンネルを記憶するのに利用します。

番組表

番組表を表示します(77ページ)。

情報更新

番組名や放送局名を最新の情報に更新します。

- 受信状態によってはプリセットスイッチに放送情報が表示されない場合があります。表示させるには受信状態の良い場所で「情報更新」にタッチしてください。受信できない放送局の番組情報は更新されません。

d

データ放送に切りかえます。

データ放送受信画面で をタッチするとデータ放送操作スイッチが表示されます。



- **キーOFF**: 操作スイッチを非表示にします。もう一度画面をタッチすると操作スイッチが表示されます。
- **10キー**: 10キーを表示します。数字を入力することができます。
- **◀ ▶ ▲ ▼**: 項目を選択します。
- **青 赤 緑 黄**: 画面に従ってタッチすると、スイッチに割り当てられた操作を行うことができます。
- **d**: データ放送受信画面を終了し、テレビ受信画面に戻ります。
- **決定**: 項目を決定します。
- **戻る**: 前の画面に戻ります。
- **移動**: 操作スイッチの表示場所が変わります。
- **↶**: データ放送操作スイッチ表示を終了します。

サービス リスト

現在視聴可能な放送局と番組名の一覧を表示します。

見たい番組を選んでタッチすると、選んだ番組を視聴できます。

タッチすると **モード切換** **画面設定** **設定** **スイッチ**を表示します。

設定 ▲



- **モード切換** では主/副音声の切り換え・字幕の切り換え・マルチビュー映像の切り換え・多言語放送の音声切り換えを行うことができます。選択した内容はインジケータに表示されます。視聴している番組が音声多重放送かどうかなどについては、番組の詳細情報画面で確認できます。
- **画面設定** では画質の調整を行います。画質調整については114ページを参照してください。
- **設定** ではテレビの設定を行います。設定内容については78ページを参照してください。

5. オーディオビジュアル機能 番組表画面について

番組表画面はテレビの操作画面で **番組表** をタッチすると表示されます。



① 日付	番組の日付が表示されます。	
② アイコン	放送の種類がアイコンで表示されます。	<div> <div>MV</div> <div>マルチビュー放送</div> </div> <div> <div>多</div> <div>音声多重放送</div> </div> <div> <div>音声</div> <div>複数の音声を持つ放送</div> </div> <div> <div>SD</div> <div>標準画質放送</div> </div> <div> <div>字</div> <div>字幕放送</div> </div> <div> <div>映像</div> <div>複数の映像を持つ放送</div> </div> <div> <div>HV</div> <div>ハイビジョン放送</div> </div> <div> <div>S</div> <div>ステレオ放送</div> </div>
③ 放送開始時間/ 番組名	番組の放送開始時間と番組名が表示されます。	
④ 映像	現在受信中の番組の映像が表示されます。	
⑤ プリセット番号	放送局のプリセット番号が表示されます。	
	前後の時間帯の番組を表示します。	
	次の日の番組表を表示します。続けてタッチすると、本日の番組表に戻ります。	
	ワンセグ放送の番組表に切りかわります。 ワンセグ が 地上D に変わります。 地上D をタッチすると地上デジタル放送の番組表に切りかわります。	
	選択している番組の番組名やあらすじなどの番組情報を表示します。音声多重放送かどうかやマルチビュー放送かどうかなども確認できます。	<ul style="list-style-type: none"> 操作画面の番組情報表示エリアをタッチしても、番組情報画面を表示します。
	前後のプリセット番号へ移動します。	

5. オーディオビジュアル機能 テレビ設定画面について(1/2)

テレビ設定画面はテレビの操作画面で **設定▲** → **設定** をタッチすると表示されます。設定画面は3画面あります。



設定画面切りかえスイッチ

① 地上D⇄ワンセグ自動切換	受信レベルが低下したときに、地上デジタル放送とワンセグを自動で切りかえるかどうかを設定できます。 初期設定値 : 地上D優先	
② 裏番組情報取得設定	視聴中の放送局の受信感度が良いときに、視聴を継続しながらプリセットスイッチに表示する番組情報を取得します。 初期設定値 : する	
③ バックグラウンドサーチ設定	視聴中の放送局の受信感度が低下した際に、視聴を継続しながら受信状態の良い中継局の放送局サーチを行います。 初期設定値 : する	
④ 自動サーチ設定	一定時間放送局を受信できないときに、中継局や同系列局の放送局を自動で選局するまでのおおよその時間を設定できます。 初期設定値 : 5秒	<ul style="list-style-type: none"> • お出かけモードの場合のみ、自動サーチしたチャンネルはお出かけモードで選択中のプリセット番号に記憶されます。
⑤ 自動サーチモード	自動サーチで中継局が受信できなかった場合、視聴局の系列局サーチを行うか、またはお出かけスキャンを実行してその地域で受信できる放送局をお出かけモードに登録するかどうかを設定します。 初期設定値 : お出かけスキャン	<ul style="list-style-type: none"> • 「自動サーチ設定」が「しない」設定の場合、本設定を行うことはできません。 • 「お出かけスキャン」に設定すると、隣県へ移動したときなどに、視聴中の放送局以外にその地域で受信可能な放送局に登録します。 • お出かけスキャンを実行すると、すでに登録されているチャンネルがある場合は新しく登録した内容に書き換えられます。受信状況により放送局を受信できない場合は、スキャン開始前の状態に戻ります。
⑥ 放送局自動選局	チャンネルのスキャンを行うときに、それまで視聴していた放送局と同じ系列の放送局を自動で受信するかどうかを設定できます。 初期設定値 : する	<ul style="list-style-type: none"> • お出かけモードのときスキャンが行われると、お出かけモードのプリセットスイッチに上書きされます。ホームモードのときはプリセットスイッチには上書きされません。
⑦ 文字スーパー表示	文字スーパーを表示するかどうかを設定します。表示する場合は言語を選択できます。 初期設定値 : 言語1	
⑧ 地域設定	ホームモードで受信する放送局の地域を設定します。	
⑨ 県域設定	ホームモードで受信するデータ放送視聴のための県域を設定します。	
⑩ 郵便番号設定	ホームモードで受信するデータ放送視聴のための郵便番号を設定します。	

5. オーディオビジュアル機能
テレビ設定画面について(2/2)



⑪ 緊急警報放送 (EWS) の割込み	<p>地震や津波などの災害が発生した場合に、緊急警報放送 (EWS-Emergency Warning System) を表示するかどうかを設定できます。</p> <p>初期設定値 : する</p>	<ul style="list-style-type: none">オーディオビジュアルソースがテレビ以外のときは緊急警報放送 (EWS) のメッセージは表示されません。
B-CAS 情報	<p>B-CAS ID情報画面が表示されます。B-CASカードの情報を確認したり、B-CASカードが正常に機能しているかテストすることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none">B-CASカードのテスト手順は以下の通りです。<ol style="list-style-type: none">B-CAS ID 情報画面で テスト をタッチする テスト開始の確認画面が表示されます。開始 にタッチする B-CASカードのテストが開始されます。テストが終了するとテスト完了のメッセージを約4秒間表示し、B-CAS ID情報画面に戻ります。B-CASカードのテスト中はカードを抜いたり本機の電源をOFFにしたりしないでください。カードの破損や故障の原因になります。
ホームスキャン	<p>お住まいの地域で受信できる放送局をスキャンしてホームモードに記憶します。</p>	<ul style="list-style-type: none">ホームスキャンは自宅周辺で実行してください。ホームスキャンしたチャンネルは、ホームモードのプリセット番号として記憶されます。引っ越しなどで居住地域が変わったときは、ホームスキャンをやり直してください。
初期値	<p>テレビ放送の設定値をお買い上げ時の状態に戻します。</p>	<ul style="list-style-type: none">記憶したプリセットチャンネルもリセットされます。

5. オーディオビジュアル機能

ラジオを聴く・交通情報を聴く

AM放送またはFM放送を受信します。本機はワイドFM(90.1MHz～95.0MHz)に対応しています。AMラジオが入りにくいところでも、FM放送でAMラジオの番組が受信できます。

- 1 **[♪ AUDIO]** スイッチを押し、AVソースメニューの **ラジオ** をタッチする



- 2 プリセットスイッチをタッチする

- 放送局が切りかわります。
- **[AV]** スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」71ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。



交通情報を受信するには

- 1 **[♪ AUDIO]** スイッチを押し、AVソースメニューの **交通情報** をタッチする



- 2 **1620kHz** または **1629kHz** をタッチする

- 交通情報を終了するときは **[♪ AUDIO]** スイッチを押し、AVソースメニュー画面から他のソースアイコンを選択してください。



5. オーディオビジュアル機能 ラジオ操作画面について



① バンド表示	受信中のバンド(FMまたはAM)が表示されます。	
② 放送局名/周波数表示	受信中の放送局名と周波数が表示されます。	
③ プリセットスイッチ	各放送局の番組に切りかえます。	<ul style="list-style-type: none"> • 手で放送局を記憶するには: 記憶させたいプリセットスイッチを操作音があるまでタッチし続けます。 • プリセットした放送局を呼び出すには: いずれかのプリセットスイッチをタッチします。
  (ダウン スイッチ) / (アップ スイッチ)	プリセットで登録した放送局を選局します。	
	聴きたい放送局(周波数)を選局します。	<ul style="list-style-type: none"> • 選局モード設定(次項目)により、選局先が変わります。 • 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。
選局モード設定 	タッチすると、DX SEEK・SEEK・MANUALのいずれかを選択できます。 初期設定値：DX SEEK	<ul style="list-style-type: none"> • DX SEEK: 受信可能な放送局を自動的に受信します(自動選局)。 • SEEK: 電波の強い放送局だけを自動的に受信します(自動選局)。 • MANUAL: 手で周波数を切りかえます。
	受信できる放送局をプリセットスイッチに自動で記憶します。	<ul style="list-style-type: none"> • 受信感度のよい放送局を周波数の低い順にAMとFM各9局まで自動的に記憶します。 • 受信電波の弱い地域ではオートメモリーでの自動受信ができないことがあります。受信できなかった場合はオートメモリー前の状態に戻ります。 • 受信電波の状態により記憶される放送局が異なることがあります。
	タッチすると、マニュアル・オート・エリアのいずれかを選択できます。	<ul style="list-style-type: none"> • マニュアル: 手で選局した放送局を記憶するとき。 • オート: オートメモリーで放送局を記憶するとき。 • エリア: 本機に記憶されている各エリアの放送局を現在位置で判断して自動でプリセットします。
	ラジオバンド(FMまたはAM)を切りかえます。	

5. オーディオビジュアル機能

HDMI/MHL対応機器(iPhoneやスマートフォンなど)をつないで使う

iPhoneやスマートフォンまたはビデオカメラなどを本機とHDMI接続し、ビデオ・音楽・写真などを再生することができます。お使いになるiPhoneやスマートフォン・ビデオカメラによりHDMI/MHL接続ケーブルが異なります。お使いになる機種に合う別売HDMI/MHL接続ケーブルセットをご用意ください。詳しくは取付説明書を参照してください。



- 本機で対応しているHDMI規格については「AVソースメディアについての注意」(168ページ)を参照してください。
- DVE-5300接続時は、その他のHDMI入力製品を同時に接続することはできません。

1 HDMI/MHL接続ケーブルでメディアポートのHDMI端子にHDMI/MHL機器を接続する

- 接続方法について詳細は取付説明書をご覧ください。
- 運転中はHDMI/MHL機器を接続しないでください。事故やケガの原因となります。
- HDMI/MHL機器を接続しても映像・音楽・写真などが再生できないときやHDMI/MHL機器を認識しない場合は、一度HDMI/MHL機器を外して再接続してください。
- HDMI/MHL機器に映像・音声出力設定がある場合は、本機に接続する際に「オン」にしてください。オンにしないと、映像・音声を本機に出力することができません。
- 本機はHDCP規格(著作権保護)に対応しているため、リアビジョンでHDMIコンテンツを視聴するにはHDMI入力対応リアビジョンとのHDMI接続が必要です。HDMI入力非対応リアビジョンの場合は黒画面表示となり音声のみの出力となります。
- 本機とBLUETOOTH接続している機器をHDMI/MHL接続すると、音声出力されない場合があります。

2 HDMI接続機器選択画面で接続機器に「HDMI」を選ぶ

[**NAVI**] スイッチを押して **設定** → **各種設定** → **HDMI接続機器選択** の順にタッチし、**HDMI** にタッチしてください。

- 「HDMI接続機器選択」の初期設定値は「HDMI」です。
- HDMIまたはDVD/CD再生時は本設定を操作することができません。設定変更するときは、HDMIまたはDVD/CD以外のAVソースに切りかえてから操作を行ってください。

3 [**AUDIO**] スイッチを押し、**HDMI** をタッチする



4 HDMI/MHL機器でビデオ映像や写真の再生操作をする

- 運転中はHDMI/MHL機器を操作しないでください。事故やケガの原因になります。
- HDMI/MHL機器を使用しているときにエンジンをOFFにしてもHDMI/MHL機器の電源は切れません。HDMI/MHL本体の電源をOFFにしてください。
- お使いになる機種やコンテンツにより画像の表示品位が変わる場合があります。その場合には画面サイズの設定(114ページ)をしてください。
- 走行中は安全のため映像が消えて音声だけとなります。



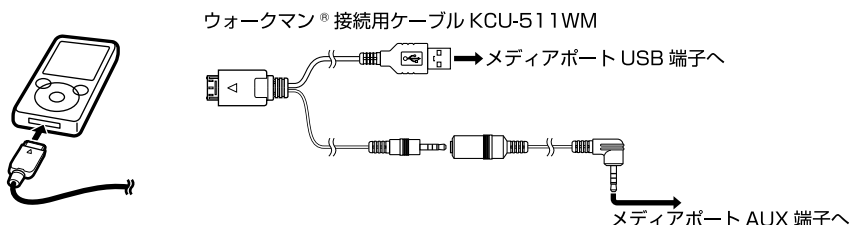
5. オーディオビジュアル機能 ウォークマン®をつないで使う

ウォークマン®を本機に接続して音楽やビデオを再生することができます。別売のウォークマン®接続ケーブル(KCU-511WM)をご用意ください。



• 本機で対応しているウォークマン®については「AVソースメディアについての注意」(168ページ)を参照してください。

1 ウォークマン®接続ケーブルでメディアポートにウォークマン®を接続する



- 取付説明書もあわせてご覧ください。
- 運転中はウォークマン®の接続や取り外し、操作はしないでください。事故やケガの原因になります。
- 運転中はウォークマン®のイヤホンを使用しないでください。事故やケガの原因になります。
- 本機にウォークマン®を接続する前に、ウォークマン®のイコライザー機能を「オフ」に設定することをおすすめします。
- ウォークマン®の機種がビデオ出力対応の場合は、ウォークマン®本体のホームメニュー「各種設定」から下記の設定を行ってください。(接続するウォークマン®の機種により操作方法が異なる場合があります。)設定を行わないと、歌詞やジャケット写真またはビデオ映像を本機へ映し出すことができません。
 - 「ビデオ設定」→「画面オフ設定」→「常時画面オン」
 - 「ビデオ設定」→「テレビ出力(ビデオ)」→「オン」
 - 「ビデオ設定」→「テレビ出力サイズ」→「16:9」
 - 「音楽設定」→「テレビ出力(ミュージック)」→「オン」
- ウォークマン®の機種がビデオ出力非対応の場合には、音声のみでご利用ください。
- 本機の「ソース別音量調整」設定(111ページ)のウォークマン®を必ず+14ステップに設定してください。
- ウォークマン®接続ケーブルKCU-511WMでウォークマン®のバッテリーを充電できます。

2 外部機器接続選択画面で接続機器にウォークマン®を選ぶ

[**NAVI**] スイッチを押して **設定** → **各種設定** → **接続機器** タブ → **外部接続機器選択** の順にタッチし、**ウォークマン®** を選択して **完了** をタッチしてください。

3 [**♪ AUDIO**] スイッチを押し、**ウォークマン®** をタッチする



4 ウォークマン®で音楽や映像の再生操作をする

- 運転中はウォークマン®を操作しないでください。事故やケガの原因になります。
- ウォークマン®を聴いているときにエンジンをOFFにしてもウォークマン®の電源は切れません。ウォークマン®本体の電源をOFFにしてください。
- 音楽再生画面・音楽サーチ画面・ビデオ再生画面以外は本機で表示できません。
- [**AV**] スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」71ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。
- 走行中は安全のため映像が消えて音声だけとなります。



iPodやiPhoneの音楽を聴く

iPod/iPhoneを本機に接続して音楽を再生することができます。



- ビデオ再生を楽しむ場合には、Lightningコネクタ搭載のiPod/iPhoneをHDMI接続する必要があります。AVソースはHDMIとなります。詳しくは「HDMI/MHL対応機器(iPhoneやスマートフォンなど)をつないで使う」(82ページ)を参照してください。
- 機種によってはBLUETOOTHで接続できます。AVソースはBT AUDIOとなります。詳しくは「BLUETOOTHオーディオ機器を接続する(91ページ)を参照してください。
- iPod/iPhoneなどは、車の中に放置したままにしないでください。車室内の熱による故障の原因になります。
- 本機で対応しているiPod・iPhoneについては「AVソースメディアについての注意」(168ページ)を参照してください。

1 iPod/iPhone接続ケーブルでメディアポートのUSB端子にiPod/iPhoneを接続する

- iPod /iPhoneの種類に応じて別売の30ピン接続ケーブルKCU-462iまたはLightning - USB変換ケーブルKCU-471iが必要です。
- KCU-462iを使用しLightningコネクタ搭載iPod/iPhoneを接続する場合はLightning - 30ピンアダプター(アップル製)が必要です。
- 取付説明書もあわせてご覧ください。
- 運転中はiPod/iPhoneの接続や取り外し、操作はしないでください。事故やケガの原因になります。
- 運転中はiPod/iPhoneのイヤホンを使用しないでください。事故やケガの原因になります。
- iPod/iPhoneを接続しても音が出ないときや、iPod/iPhoneを認識できない場合は、一度iPod/iPhone を外して再接続するか、iPod/iPhoneのリセットを行ってください。
- 本機にiPod/iPhoneを接続する前に、iPod/iPhoneのイコライザー(EQ)機能を「オフ」に設定することをおすすめします。
- USBメモリー・iPod/iPhone・ウォークマン®を同時に接続することはできません。
- iPod/iPhoneの機種によっては、本機と接続中はiPhoneのiPod機能とiPodは操作ができなくなります。
- iPod touchやiPhoneのインターネット機能や電話機能等は本機から操作することはできませんが、iPod touchやiPhone本体を操作して使用することができます。
- 「iPod自動ソース切替」(105ページ)を「する」に設定すると、iPod接続時に自動的にソースをiPodへ切りかえることができます。

2 [♪ AUDIO] スイッチを押し、iPod をタッチする

- [AV] スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」71ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

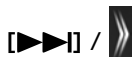


iPod AUDIO再生画面について(1/2)



① 曲番号	再生している曲の番号が表示されます。	
② 曲情報表示	再生中の曲の曲名・アルバム名・アーティスト名が表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> Podcast再生時は、エピソード名・番組名・放送日が表示されます。 タッチすると再生対象となっている曲名・アルバム名・アーティスト名をリスト表示します。リストから聴きたい曲・アルバム・アーティストを選ぶことができます。
③ 再生時間表示	再生中の曲の再生経過時間(左側)と総演奏時間(右側)が表示されます。	
④ ダイレクトアップ/ダウンスイッチ	別のジャンルやアーティストなどの曲に切りかえて再生します。	<ul style="list-style-type: none"> 画面に表示されるタッチスイッチは、サーチモードで決定したモードになります。 ダイレクトアップ/ダウンスイッチの種類: ◀ジャンル▶ ▶アーティスト▶ ◀アルバム▶ ▶プレイリスト▶ ◀Podcast▶ ▶作曲者▶
⑤ アートワーク/イメージ表示	iPodに登録しているアルバムのジャケット画像などが表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> アートワークデータを取得する間(最大3秒間)は操作を行うことができません。 1つの曲に複数のアートワークが設定されていても、取得できるアートワークは1つになります。カラーとモノクロのアートワークがある場合はカラーが、サイズの大きさに違いがある場合は大きなサイズのアートワークが優先して取得されます。 「アートワーク自動取得」(105ページ)を「する」に設定してある場合、曲が変わるたびにアートワークデータの取得が行われ、その間は操作を行うことはできません。
⑥ ビデオアイコン表示	ビデオファイルを再生している場合は、ビデオアイコンが表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> 映像は出力しません。映像を楽しむ場合には、本機とiPod・iPhoneをHDMI接続してください(82ページ)。
⏮ / ⏪ (ダウンスイッチ)	再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。	
▶ / ⏸	再生を一時停止(ポーズ)します。	<ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に ▶ / ⏸ をタッチすると再生を開始します。

iPod AUDIO再生画面について(2/2)



(アップスイッチ)

次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。

- 曲の終わりまで早送りすると通常再生に戻ります。



iPod/iPhone内のすべてのファイルを順不同に再生します(シャッフルオール再生)。

- もう一度 をタッチすると通常再生に戻ります。
- iPod/iPhone内すべてのファイルの再生が終わっても、シャッフル再生を解除するまではシャッフル再生を続けます。



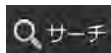
曲・アルバムを順不同に再生することができます(シャッフル再生)。タッチするたびにシャッフル再生の種類が変わります。

- SONGS → ALBUMS → OFF → ...
- SONGS:
サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内のすべての曲を順不同に再生します。
- ALBUMS:
サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番どおりに再生します。



再生中の曲のみを繰り返し再生することができます(リピート再生)。

- もう一度 (リピート) をタッチすると通常再生に戻ります。



アルバムやアーティストごとにリスト表示させて聴きたい曲を選ぶことができます。

- 詳しくは87ページを参照してください。

5. オーディオビジュアル機能

iPod AUDIOサーチ画面について

iPod AUDIO再生画面で **サーチ** をタッチすると、曲やアーティストの検索画面が表示されます。

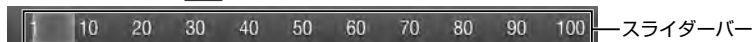


 プレイリスト	プレイリストのリストが表示されます。 選んだプレイリストの曲が繰り返し再生されます。	<ul style="list-style-type: none"> 本機は音楽データとビデオデータが混在しているプレイリストの再生には対応していません。再生すると不具合が生じる場合がありますので、自動的に音楽データとビデオデータが混在してしまう「トップ25」や「購入したもの」「最近再生した曲」などのプレイリストを選ぶときは注意してください。また、不具合が生じた場合にはiPodを取り外してリセットをしてください。
 アーティスト	アーティストのリストが表示されます。 選んだアーティストのアルバムが繰り返し再生されます。	
 アルバム	アルバムのリストが表示されます。 選んだアルバムの1曲目から繰り返し再生されます。	
 曲	登録されている曲名リストが表示されます。	
 ジャンル	登録されているアルバムのジャンルのリストが表示されます。 選んだジャンルのアルバムが繰り返し再生されます。	
 Podcast	Podcastのリストが表示されます。	
 オーディオブック	オーディオブックのリストが表示されます。	
 作曲者	作曲者のリストが表示されます。 選んだ作曲者の曲が繰り返し再生されます。	

<ダイレクトサーチ機能>

リスト表示された曲が多いときは、画面上部に表示されるスライダバーの **1** ～ **100** のいずれかをタッチするとその近辺がリスト表示されるので、聞きたい曲が選びやすくなります。

例：リストされている曲が80曲あるとき、**50** を選択すると40曲目前後のリストが表示されます。

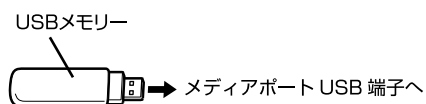


5. オーディオビジュアル機能

USBメモリーの音楽を聴く

USBメモリーのMP3/WMA/AACデータを再生することができます。

1 メディアポートのUSB端子にUSBメモリーを接続する



- 運転中はUSBメモリーの接続や取り外しはしないでください。事故やケガの原因になります。
- USBメモリーを接続しても音が出ないときやUSBメモリーを認識しない場合は、一度USBメモリーを外して再接続してください。
- USBメモリー・iPod/iPhone・ウォークマン®を同時に接続することはできません。

2 [♪ AUDIO] スイッチを押し、**USB** をタッチする

- 再生できるUSBメモリーおよびファイルの種類などについては「AVソースメディアについての注意」(168ページ)を参照してください。
- **[AV]** スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」71ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。



USBメモリー再生画面について(1/2)



① 曲番号	再生している曲の番号が表示されます。	
② 曲情報表示	再生中の曲の曲名・アルバム名・アーティスト名が表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> 曲名表示部分を選択して決定すると、再生対象となっている曲名をリスト表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。
③ 再生時間表示	再生中の曲の再生経過時間が表示されます。	
/ (ダウンスイッチ)	再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。	
	再生を一時停止(ポーズ)します。	<ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に をタッチすると再生を開始します。
/ (アップスイッチ)	次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。	
	再生中のフォルダー内全曲のイントロ部分、またはフォルダーごとの最初の曲のイントロ部分を約10秒間ずつ順に再生します。タッチするたびにスキャン再生の種類が変わります。	<ul style="list-style-type: none"> SCAN→SCAN FOLDER→OFF→... SCAN: フォルダー内の曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。 SCAN FOLDER: 全フォルダーの最初の曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。 リピート再生・ミックス再生・スキャン再生は同時に使用することはできません。
	USBメモリー内の曲またはフォルダー内の曲を順不同で再生します(ミックス再生)。タッチするたびにミックス再生の種類が変わります。	<ul style="list-style-type: none"> FOLDER→ OFF→... <ul style="list-style-type: none"> FOLDER: フォルダー内の曲のみを順不同に再生します。 :USBメモリー内の曲を順不同に再生します。 リピート再生・ミックス再生・スキャン再生は同時に使用することはできません。
	再生中の曲またはフォルダー内の曲を繰り返し再生します(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。	<ul style="list-style-type: none"> → FOLDER→OFF→... <ul style="list-style-type: none"> :1曲のみを繰り返し再生します。 FOLDER: フォルダー内の曲のみを繰り返し再生します。 リピート再生・ミックス再生・スキャン再生は同時に使用することはできません。

5. オーディオビジュアル機能

USBメモリー再生画面について(2/2)



聴きたいフォルダーを選ぶことができます。タッチするたびに前後のフォルダーに切りかわります。



聴きたい曲を探すことができます。リスト画面でフォルダー名と曲名をタッチします。

5. オーディオビジュアル機能

BLUETOOTHオーディオ機器を接続する

携帯電話・スマートフォンなどのBLUETOOTHオーディオ機器(BT AUDIO)と本機をBLUETOOTHで接続すると、本機で曲を再生することができます。初めてお使いになるときは、お使いのBLUETOOTHオーディオ機器を以下の手順に従って本機に登録してください。



- 本機にBLUETOOTHオーディオ機器をBLUETOOTH接続する前に、BLUETOOTHオーディオ機器のEQ機能を「オフ」に設定することをおすすめします。

1 **[▲ NAVI]** スイッチを押し、**設定** → **Bluetooth/Wi-Fi設定** → **Bluetooth設定** の順にタッチする

2 **登録/変更** → **未登録** → **機器登録** の順にタッチする

- **登録/変更** をタッチした後にBLUETOOTH機器との接続解除のメッセージが出てきた場合は **はい** を選択してください。
- 本機にはBLUETOOTH機器を5台まで登録できますが、BT AUDIO機器として2台以上を同時に使うことはできません。複数台を登録したときは利用するBT AUDIO機器を切りかえてお使いください。



3 **Bluetooth機器から探索** をタッチし、**オーディオ** **ハンズフリー+オーディオ** のいずれかにタッチする

- BLUETOOTHオーディオとしてお使いになるときは **オーディオ**、BLUETOOTHオーディオとハンズフリー電話どちらにもお使いになる場合は **ハンズフリー+オーディオ** にタッチします。
- **MITM設定** をタッチするとMITM(中間者攻撃)Protection設定を一時的に変更することができます。 **OFF** にすることにより、機器設定ができない機器の登録が可能となる場合があります。

4 相手機器のBLUETOOTH機能をオンにし、相手機器で本機を検索する

5 相手機器にパスキーの入力画面が表示されたら本機と同じパスキーを入力する

- BLUETOOTH機器によってはパスキーの入力が不要な機種もあります。
- パスキーの初期値は"1234"です。

6 BLUETOOTH接続が開始される

- BLUETOOTH機器設定画面に戻ります。

7 **[♪ AUDIO]** スイッチを押し、**BT AUDIO** をタッチする

- BLUETOOTH機器によっては自動的に再生を開始します。自動的に再生を開始しない場合はBLUETOOTH機器または本機から操作してください。
- **[AV]** スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」71ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。

- 上記の手順で接続できない場合は相手機器のBLUETOOTH機能をオンにし、手順3で **ナビから探索** をタッチし、以降画面の説明に従って登録してください。
- 接続したBLUETOOTH機器のリストには「ALPINE」と表示されます。
- **ℹ** にタッチすると、接続した携帯電話の詳細情報を表示することができます。

5. オーディオビジュアル機能

BT AUDIO再生画面について(1/2)

BT AUDIO再生画面は、BLUETOOTHオーディオ機器を接続して【♪ AUDIO】スイッチを押し、**BT AUDIO** をタッチすると表示されます。










アドバイス

- お使いの携帯電話のAVRCP(BLUETOOTH接続して音楽再生するためのプロファイル)のバージョンによって、再生画面に表示される内容や操作が異なります。
- 下記の画面は、AVRCPバージョン1.4に対応したBT AUDIO機器を接続したときの表示例です。
- BT AUDIO使用中にハンズフリー機能・Wi-Fi通信機能・電話帳転送機能を使用すると、一時的にBT AUDIO機能が停止したり、音切れやAVプロファイルが切断されたりする場合があります。
- ハンズフリーとBT AUDIOをBLUETOOTH接続している携帯電話では、BT AUDIO使用中に、「NaviCon」および「NaviCon」と連携するアプリから、本機に転送する機能は使えません。



① 曲番号	再生している曲の番号が表示されます。	
② 曲情報表示	再生中の曲の曲名・アルバム名・アーティスト名が表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。 タッチすると再生対象となっている曲名・アルバム名・アーティスト名をリスト表示します。リストから聴きたい曲・アルバム・アーティストを選ぶことができます。
③ 再生時間表示	再生中の曲の再生経過時間が表示されます。	
④ グループアップ / ダウンスイッチ	別のグループの曲に切りかえます。	<ul style="list-style-type: none"> 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。
⏮ / ⏪ (ダウンスイッチ)	再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。	<ul style="list-style-type: none"> 頭出し: 現在の曲の頭出しをします。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします。
⏸ / ⏹	再生を一時停止(ポーズ)します。	<ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に ⏹ をタッチすると再生を開始します。
⏭ / ⏮ (アップスイッチ)	次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。	

BT AUDIO再生画面について(2/2)

	<p>曲のイントロ部分を約10秒間ずつ順に再生します。タッチするたびにスキャン再生の種類が変わります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • SCAN GROUP: グループ内の曲のイントロ部分が再生されます。 • SCAN ALL: 全曲のイントロ部分が再生されます。 • 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。
	<p>曲を順不同で再生します(ミックス再生)。タッチするたびにミックス再生の種類が変わります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> •  GROUP: グループ内の曲を順不同に再生します。 •  ALL: 全曲を順不同に再生します。 • 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。 • 接続するBLUETOOTH機器によって GROUP再生の範囲が異なります。
	<p>曲を繰り返し再生します(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • : 1曲のみを繰り返し再生します。 •  GROUP: グループ内の曲のみを繰り返し再生します。 •  ALL: 全曲を繰り返し再生します。 • 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。 • 接続するBLUETOOTH機器によって GROUP再生の範囲が異なります。
 サーチ	<p>再生対象となっている曲名をプレイリスト・アルバム・アーティストごとにリスト表示します。リストから聴きたい曲を選ぶことができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。
 機器変更  機器設定	<p>接続するBT AUDIO機器を登録したり他の機器に切りかえます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 機器設定 はBLUETOOTH機器が1台も登録されていない場合に表示されます。BLUETOOTH機器を新規登録する場合は、機器設定 にタッチしメッセージが表示されたら はい にタッチして「BLUETOOTHオーディオ機器を接続する」(91ページ)の手順2へ進んでください。
 再接続  接続解除	<p>登録しているBT AUDIO機器と接続、または接続解除します。</p>	

5. オーディオビジュアル機能 外部機器をつないで使う

接続した外部機器(ドライブレコーダーやゲームなど)の映像を見ることができます。

1 メディアポートAUX端子に外部機器を接続する

2 [♪ AUDIO] スイッチを押し、**外部入力** をタッチする

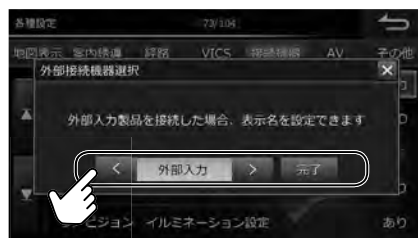
- 著作権保護(コピーガード)の信号が記録されている映像は、リアビジョンでは黒画面表示になります。

<外部接続機器を設定する>

ドライブレコーダーやゲームなどを本機に接続したら、外部接続機器を設定してください。設定した表示名がソース名称として表示されます(初期設定は「外部入力」)。

1 外部接続機器選択画面は [▲ NAVI] スイッチを押し、**設定** → **各種設定** → **接続機器** タブ→ **外部接続機器選択** の順に タッチする

- 接続した機器に合わせて **外部入力** / **ドライブレコーダー** / **ゲーム** / **ウォークマン(R)** / **なし** から選択してください。
- 選んだ表示名が外部入力モードのソース名として表示されます。
- 接続する外部機器によっては、音声ハウリングする場合があります。
- 走行中は安全のため映像が消えて音声だけとなります。



6. 設定・調整

各種設定—地図表示 設定画面について(1/3)

各種設定—地図表示設定画面は【**NAVI**】スイッチを押して **設定** → **各種設定** → **地図表示** タブの順にタッチすると表示されます。



- **▲** または **▼** をタッチすると設定項目が画面ごとスクロールします。

ランドマーク表示	コンビニエンスストア(コンビニ)・ガソリンスタンドなど、お好みの施設のランドマークを地図上に表示します。 初期設定値：する • ランドマークは200mスケール図以下の詳細な地図で表示されます。
ランドマーク表示ジャンル	「ランドマーク表示」を「する」設定時に、表示するブランド名をジャンルごとに選択できます。 初期設定値：ガソリンスタンド・コンビニのみ 全てする • 最大20種類のジャンルを設定することができます。 • 1つのジャンルに設定できるブランド名は最大5つです。6つ以上設定するときは、「全てする」に設定してください。
ランドマーク表示サイズ変更	表示するランドマークの大きさを変更します。 初期設定値：標準
軌跡表示	走行した軌跡を地図上に「点(白色)」として表示するかどうかを設定します。 初期設定値：しない • 表示可能な距離(100km)を超えると古い軌跡から消えていきます。
軌跡情報を消去	地図上の軌跡をすべて消去します。
渋滞・混雑表示	VICS渋滞情報をもとに、渋滞・混雑している道路を矢印で表示します(渋滞:赤実線矢印、混雑:橙実線矢印)。 初期設定値：する • 渋滞・混雑表示は縮尺1km以下の地図で表示されます。 • 高速・有料道路では緑取りのある矢印、一般道路では緑取りなしの矢印になります。
空き道表示	VICS渋滞情報をもとに、空いている道路を緑実線矢印で表示します。 初期設定値：しない • 空き道表示は縮尺1km以下の地図で表示されます。 • 高速・有料道路では緑取りのある矢印、一般道路では緑取りなしの矢印になります。

各種設定—地図表示 設定画面について(2/3)

渋滞推測 (渋滞・混雑)表示	<p>渋滞統計・渋滞学習情報をもとに、渋滞・混雑が予想される箇所を地図上に破線で表示します(渋滞:赤破線矢印、混雑:橙破線矢印)。</p> <p>初期設定値: する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実線矢印で表示されるVICS情報と破線表示の渋滞予測が両方ある場合は、VICS情報が優先して表示されます。 ・渋滞推測線(渋滞・混雑)は縮尺1km以下の地図で表示されます。 <p>渋滞推測機能について</p> <ul style="list-style-type: none"> - 本機能はJARTIC/VICSセンターから提供された現状情報をもとに、NTTデータが独自に作成した渋滞予測データを利用しています。 - 渋滞予測は現況の渋滞情報を考慮したものではありません。
渋滞推測 (空き道)表示	<p>渋滞統計・渋滞学習情報をもとに、渋滞が発生しないと予想される箇所を緑破線矢印で表示するかどうかを設定します。</p> <p>初期設定値: しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実線矢印で表示されるVICS情報と破線表示の渋滞推測が両方ある場合は、VICS情報が優先して表示されます。 ・渋滞推測線(空き道)は縮尺1km以下の地図で表示されます。
気象警報・災害エリア表示	<p>VICS情報で受信した大雨特別警報や土砂災害警戒情報などに関するエリアを地図上に表示するかどうかを設定します。</p> <p>初期設定値: する</p>
VICS駐車場・充電施設表示	<p>VICSが提供する駐車場を地図上に表示するかどうかを設定します。</p> <p>初期設定値: しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場マークは縮尺1km以下の地図で表示されます。
規制エリア表示	<p>規制・事故・災害・異常気象などが発生しているエリアを地図上に表示するかどうかを設定します。</p> <p>初期設定値: する</p>
予告配信表示	<p>規制やイベントなどが予定されているエリアを地図上に表示するかどうかを設定します。</p> <p>初期設定値: しない</p>
規制マーク表示	<p>規制マーク(工事・通行止めなど)を案内画面に表示します。</p> <p>初期設定値: する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規制マークは縮尺1km以下の地図で表示することができます。ただし、通行止め・入り口閉鎖・オフランプ(出口)閉鎖は関連する事象も含めて、道路が表示されるスケールの地図まで表示します。
VICS提供道路	<p>VICS情報を提供する道路を全道路・高速道・一般道から選択することができます。</p> <p>初期設定値: 全道路</p>
路上駐車場マーク表示	<p>市街詳細地図に路上駐車場のマークを表示します。</p> <p>初期設定値: する</p>
渋滞線明滅表示	<p>渋滞している区間の渋滞線(赤実線矢印)・混雑線(橙実線矢印)を点滅表示します。</p> <p>初期設定値: する</p>
地図色切換	<p>昼画面と夜画面を切りかえることができます。昼・夜それぞれの地図表示色は4種類(標準(昼)・標準(夜)・道路強調(昼)・道路強調(夜))から選択することができます。</p> <p>初期設定値: 昼→標準(昼)、夜→標準(夜)</p>
地図色昼/夜切換	<p>スモールランプの点灯・消灯に連動して、昼画面/夜画面を切りかえるかどうかを設定します。</p> <p>初期設定値: する</p>
行政界色分け	<p>市街地図で行政区(大字)の色を分けて表示します。</p> <p>初期設定値: する</p>
誘導方向表示	<p>ルート案内中に目的地の方向を直線の誘導線に表示するかどうかを設定します。</p> <p>初期設定値: しない</p>

ビル立体表示	3Dマップでビルを立体的に表示します。 初期設定値：する
3Dランドマーク表示	主要施設のリアルな立体的アイコンを地図上に表示させることができます。 初期設定値：する ・3Dランドマークは縮尺200m以下の地図で表示されます。
冬期規制アイコン表示	冬に通行止めとなる箇所にアイコンを表示します。 初期設定値：する ・冬期規制アイコンは縮尺1km以下の地図で表示されます。 ・「する」に設定すると、冬期(11月～3月)の間、冬期規制アイコンが表示されます。道路によっては4月～10月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合がありますのでご注意ください。
細街路オートスケール	目的地案内中に細街路を走行すると、自動的に2画面表示に切りかわります。右画面には25mスケール市街地図が表示され、細街路の案内を行います。 初期設定値：する ・市街地図が収録されていない地域では50mスケール地図が表示されます。 ・音声案内は行われません。
走行連動地図切換	走行中の市街詳細地図を見やすく簡略化して表示します。 初期設定値：する
高速・有料モード地図	高速・有料道路走行中に、高速・有料道路を見やすく強調した地図を表示します。 初期設定値：する
自動ハイウェイモード	高速・有料道路を走行するときに行程ガイド(ハイウェイモード)が自動的に表示されます。 初期設定値：する
スクロール方面表示	地図画面をスクロールしたときに、スクロールする方面の地名を画面の上下左右に表示します。 初期設定値：する ・スクロール方面表示は1kmスケール以下の地図で表示されます。 ・英語表示に設定している場合はスクロール方面表示は行われません。
地図の文字サイズ変更	地図上に表示される文字サイズをお好みに合わせて設定することができます。 初期設定値：標準
自転車マーク	自転車マークの表示をマーク1・マーク2・マーク3の中からお好みに合わせて変更することができます。 初期設定値：マーク1 ・マーク3のイラストは「車種専用チューニングをする」(180ページ)、「エコインフォ・燃費優先ルート」(107ページ)で設定した車種に連動します。

各種設定—案内誘導 設定画面について(1/2)

各種設定—案内誘導設定画面は [▲ NAVI] スイッチを押して **設定** → **各種設定** → **案内誘導** タブの順にタッチすると表示されます。



- ▲ または ▼ をタッチすると設定項目が画面ごとスクロールします。

県境案内	都道府県境を越えるときに音声で案内します。 初期設定値：する
合流案内	一般道路や高速道路のインターチェンジ(IC)・ジャンクション(JCT)・SA/PA出口など、合流が近づいたときに警告するかどうかをそれぞれ設定することができます。 初期設定値：「一般道・する」「SA・PA・する」「IC・する」「JCT・する」
踏み切り案内	踏み切りに近づいたときに警告します。 初期設定値：する
事故多発警告案内	交通事故が多発している区間に近づいたときに警告するかどうかを設定します。 初期設定値：しない
残距離音声案内	案内地点までの距離が残り10kmになると音声で案内します。 初期設定値：する
到着予想時刻音声案内	目的地や経由地への到着予想時刻を音声案内します。 初期設定値：する
到着予想時刻速度設定	目的地や経由地への到着時間予想のための条件(速度)を設定します。 初期設定値：「一般道・30km/h」「有料道・60km/h」「高速道・80km/h」
案内図表示	交差点に近づいた時に表示する案内図を、交差点拡大図にするかビッグアローにするかどうかを設定できます。 初期設定値：交差点拡大図 ・「車種専用チューニング」(112ページ)または「クイックセットアップ(販売店設定)」(180ページ)で選択した車種によっては、「ビッグアロー」が初期設定になります。
詳細案内図表示	3Dイラスト情報のある交差点の詳細案内図を表示します。 初期設定値：する
方面看板表示	交差点の手前で方面看板を表示します。 初期設定値：する
レーンガイド表示	ルート案内中に右左折専用などのレーン情報を表示します。 初期設定値：する
ナビ案内画面割込み	オーディオ・ビジュアルモードにナビの案内映像を割り込み表示します。 初期設定値：する

ナビ音声案内時の
AV音量ミュート

ナビ音声案内時、自動的にオーディオ音量を下げて音声案内を聞こえやすくします。

初期設定値：しない

- 音声案内が聞こえたときに音楽などのAVソース音量が一時的にいつも小さくなるようにしたいときは、「する」に設定し、音声案内が聞こえたときにAVソースの音量を下げてください。次回以降、調整した音量で音楽などが再生されます。

料金所ゲート案内

インターチェンジの入口や出口でETCの情報を案内します。

初期設定値：しない

車両情報

軽自動車や普通車などの車種を設定しておく、高速道路の通行料金を車種に合わせて表示することができます。さらに車のサイズもあわせて登録しておく、駐車場を探す際に立体駐車場など条件に合わないところを避けることができます。

初期設定値：「車両種別・普通」「駐車場条件・長さ450cm、幅160cm、高さ150cm」

- 車両寸法は車検証を参照してください。

各種設定—経路 設定画面について(1/2)

各種設定—経路設定画面は [Ⓐ NAVI] スイッチを押して **設定** → **各種設定** → **経路** タブの順にタッチすると表示されます。



- **▲** または **▼** をタッチすると設定項目が画面ごとスクロールします。

優先探索ルート

優先的に探索・表示するルート条件を選択することができます。探索条件は「推奨」「一般」「距離」「幹線」「燃費」「別ルート」の6ルートです。

初期設定値：推奨

有料道路優先

推奨ルート設定時、有料道路を優先して案内するかどうか設定します。

初期設定値：しない

・「しない」に設定すると、目的地までの距離が短いときは、一般道路を優先したルートで案内します。

アクティブルートサーチ

ルート案内中に、距離・時間・VICISの渋滞情報・スマートIC規制などあらゆる道路情報を常時演算し、時間短縮できるルートを発見した場合にリアルタイムに新しいルートを探索します。

初期設定値：する

・時間短縮できるルートが見つからない場合はアクティブルートサーチ機能は動きません。

・「短縮時間」(100ページ)で設定した時間よりも到着予想時刻が短縮できる場合のみ、アクティブルートサーチ案内が行われます。

割込み時間

割込み画面の表示時間を設定できます。

初期設定値：10秒

短縮時間

アクティブルートサーチで通知する短縮時間の目安を設定します。5分刻みで時間を選択し、**完了**をタッチすると設定されます。

初期設定値：15分以上

・ここで設定した時間を短縮できない場合はアクティブルートサーチ案内は行われません。

アクティブルートサーチ案内音声割込み

アクティブルートサーチが行われた際に音声案内を割り込みします。

初期設定値：する

抜け道探索

抜け道道路データを使用して渋滞地点を回避するルートを探索します。

初期設定値：しない

・アクティブルートサーチ設定が「する」の場合にのみ設定できます。

スマートIC利用

ルート探索時にスマートインターチェンジを利用するかどうかを設定します。

初期設定値：しない

・スマートICを利用するにはETC車載器またはETC2.0車載器が必要です。

・スマートICには、営業時間・営業期間・対象車種・出入り方向などに制約があります。また社会実験として期間限定で開設されているスマートICもあります。ご利用の際はご注意ください。

時間曜日規制考慮

時間や曜日によって規制される区間を避けたルートを探索します。

初期設定値：する

各種設定—経路 設定画面について(2/2)

フェリー使用	<p>フェリー航路を利用したルートを探索することができます。</p> <p>初期設定値：しない</p>
迂回エリア考慮	<p>あらかじめ登録しておいた迂回地点を避けてルートを探索します。</p> <p>初期設定値：する</p>
迂回距離	<p>一般道と有料道路・高速道路に分けて設定できます。</p> <p>初期設定値：「一般道5km」「有料・高速20km」</p> <p>・「迂回エリア考慮」(101ページ)を「する」に設定した場合のみ、迂回距離を設定できます。</p>
冬期閉鎖区間考慮	<p>冬に通行止めとなる区間を避けてルートを探索することができます。</p> <p>初期設定値：する</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬期(11月～3月)の期間に考慮されます。4月～10月は通常ルートとなります。道路によっては4月～10月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合があります。 「しない」に設定すると、冬期閉鎖区間が発見された時点でメッセージが表示され、避けるかどうかを選択できます(「規制考慮」40ページ参照)。
ルート学習	<p>よく通る道が優先してルート探索されるように、走行記録を記憶します。</p> <p>初期設定値：する</p> <ul style="list-style-type: none"> ナビが探索した推奨ルートまたは一般道優先ルートを走行中に、ルートからの離脱と復帰をそれぞれ同じ地点で2回繰り返すと、次のルート探索を行う際に、そのルートが推奨ルートまたは一般道優先ルートとして探索されます。 案内対象外道路はルート学習に反映されません。離脱・復帰地点が同じでも、途中のルートが案内対象外道路になると学習結果は無効になります。 ルート学習中に目的地や経由地を変更したり別のルートの選択や周辺迂回を行った場合は、ルート学習は中止されます。 最大200ルートまで学習することができます。
ルート学習結果を 消去	<p>ナビが記憶した学習ルートをすべて消去します。</p>

各種設定—VICS 設定画面について

各種設定—VICS設定画面は【**NAVI**】スイッチを押して **設定** → **各種設定** → **VICS** タブの順にタッチすると表示されます。



- **▲** または **▼** をタッチすると設定項目が画面ごとスクロールします。

渋滞学習	渋滞や混雑する地点を季節別・曜日別・時間帯別に記憶して、それら避けてルート案内されるように設定します。 初期設定値：する
渋滞学習結果を消去	ナビが記憶した渋滞学習結果をすべて消去します。
情報保持時間	受信したVICS情報の保存時間を120分、60分または30分に設定します。ここで設定した時間が経過すると情報は自動的に消去されます。 初期設定値：60分
情報割込み	ビーコンによる図形・文字情報を画面に割り込ませて表示します。 初期設定値：する ・緊急情報や安全運転支援に関わる情報は、「しない」に設定しても割り込みを行います。
割込み時間	ビーコンの情報割込み画面の表示時間を5～20秒まで、5秒刻みで設定します。 初期設定値：10秒 ・「情報割込み」を「する」に設定した場合のみ本項目を設定できます。
オーディオモード画面への割込み	ビーコンによる図形・文字情報を、サウンド・映像モード画面に割り込ませて表示することができます。 初期設定値：する ・「情報割込み」を「する」に設定した場合のみ本項目を設定できます。
特別警報アイコン表示	大雨・大雪・大津波などの特別警報情報を受信した際、VICSスタンプに特別警報アイコンを表示するか設定します。 初期設定値：する
プローブ	ナビ側からITSスポットへプローブ情報(走行履歴情報や車両挙動情報など)を送信します。 初期設定値：する ・ETC2.0車載器が接続されていない場合は設定できません。 ・プローブ情報についてはETC2.0車載器の取扱説明書をご覧ください。
VICSでの音声読み上げ	ビーコンによる音声情報を読み上げます。 初期設定値：する ・「英語設定」(106ページ)を「する」に設定していても日本語で読み上げます。 ・音声読み上げはETC2.0車載器の接続が必要です。
ブラウザでの音声読み上げ	ITSスポットから受信した信号をWebサイトに画面表示した場合に、Webサイトの音声情報を自動で読み上げることができます。 初期設定値：する ・「英語設定」(106ページ)を「する」に設定していても日本語で読み上げます。 ・音声自動読み上げはETC2.0車載器の接続が必要です。

各種設定—接続機器 設定画面について(1/2)

各種設定—接続機器設定画面は【**NAVI**】スイッチを押して **設定** → **各種設定** → **接続機器** タブの順にタッチすると表示されます。



- **▲** または **▼** をタッチすると設定項目が画面ごとスクロールします。

外部接続機器選択	ビデオやゲームなど、外部機器を接続する場合に設定します。設定した表示名がソース名称としてAVソースメニュー画面やソース別音量調整画面に表示されます。 初期設定値：外部入力
HDMI接続機器選択	別売DVDプレイヤー DVE-5300接続時は DVD/CD に設定してください。その他のHDMI入力製品を接続する場合は HDMI に設定します。設定した名称はソース名称としてAVソースメニュー画面に表示されます。 初期設定値：HDMI <ul style="list-style-type: none"> • HDMIまたはDVD/CD再生時は本設定を操作することができません。設定変更するときは、HDMIまたはDVD/CD以外のAVソースに切りかえてから操作を行ってください。
後席個別TV・DVD・HDMIリアビジョン連動設定	リアビジョンのモニター開閉・電源OFF/ON・休憩モードに連動して後席個別TV・DVD・HDMIのOFF/ONを切りかえることができます。 初期設定値：する <ul style="list-style-type: none"> • リアビジョンがリアビジョン連動設定に対応していない場合は本設定を行うことはできません。
リアビジョン プラズマクラスター設定	接続するリアビジョンにプラズマクラスター機能がある場合は、 あり に設定してください。 初期設定値：あり <ul style="list-style-type: none"> • リアビジョン製品側のNAVIリンク設定を「ナビ」に設定してください。「リアビジョン」に設定すると本機からの操作を行うことができません。
リアビジョン イルミネーション設定	接続するリアビジョンにイルミネーション切りかえ機能がある場合は、 あり に設定してください。「リアビジョン イルミネーション色」(次項目)で色を設定することができます。 初期設定値：あり <ul style="list-style-type: none"> • リアビジョン製品側のNAVIリンク設定を「ナビ」に設定してください。「リアビジョン」に設定すると本機からの操作を行うことができません。
リアビジョン イルミネーション色	リアビジョンのイルミネーション色をホワイト・ブルー・グリーン・アンバー・レッド・パープル・スカイブルーの中から選択できます。OFFにすることもできます。 初期設定値：OFF
ダブルゾーンサウンドコントロール	前席/後席それぞれの音量が最適値を超えた場合、本機画面にメッセージ表示してお知らせします。 初期設定値：ON <ul style="list-style-type: none"> • 「車種専用チューニング」(112ページ)を行っていない場合は、本設定を行うことはできません。
ステアリングリモコン	車種専用チューニング後、ステアリングリモコン設定のみ変更したい場合は本設定を行ってください。 初期設定値：設定しない <ul style="list-style-type: none"> • 選択した車種にステアリングリモコン設定がない場合は本設定を行うことはできません。

リアカメラ接続

リアカメラを接続する場合は、**あり** に設定してください。

初期設定値：なし

リアカメラのガイドの調整を行うことができます。

■ ガイドを調整する

画面に表示される **▲ ▼** で調整したいガイドを選び、**↑ ↓ ← →** にタッチして位置を調整します。

OFF または **ON** にタッチすると選択したガイド線を消去または表示することができます。

最後に **セット** にタッチすると調整位置が記録されます。

リアカメラガイド調整

- ・ガイド線は車種専用で設定されるため「車種専用チューニング」(112、180ページ)を設定した後は、「リアカメラガイド調整」は行わないでください。車の状態によりガイド線の微調整が必要な場合のみ調整を行ってください。
- ・ガイド線に直接タッチして、なぞり操作で調整することができます。
- ・ガイド調整中、**初期値** にタッチすると調整値が初期化され、初期設定値に戻ります。確認メッセージが表示されたら **はい** にタッチしてください。
- ・調整中 **クリア** にタッチすると、調整前の設定に戻ります。
- ・走行中は調整できません。車を安全な場所に移動し、停車後にパーキングブレーキを引いてから操作してください。

各種設定—AV 設定画面について

各種設定—AV設定画面は [④ NAVI] スイッチを押して **設定** → **各種設定** → **AV** タブの順にタッチすると表示されます。



- **▲** または **▼** をタッチすると設定項目が画面ごとスクロールします。

アートワーク自動取得	<p>iPodのファイルにアートワークデータがある場合は再生時に自動的に取得します。</p> <p>初期設定値：する</p> <ul style="list-style-type: none"> • iPod classicとiPod nano 3rd generation接続時は、アートワーク取得時に正常に動作しませんので、「しない」に設定してください。
iPod自動ソース切換	<p>本機能を する に設定すると、iPod接続時に自動的にソースをiPodへ切りかえることができます。</p> <p>初期設定値：しない</p>
時計表示設定(映像ソース)	<p>AV(映像)ソース画面に時計表示させることができます。</p> <p>初期設定値：する</p>

各種設定—その他 設定画面について(1/3)

各種設定—その他設定画面は【**NAVI**】スイッチを押して **設定** → **各種設定** → **その他** タブの順にタッチすると表示されます。



- **▲** または **▼** をタッチすると設定項目が画面ごとスクロールします。

時計表示

時刻の表示形式を12時間制または24時間制に設定します。

初期設定値：24H

メニューの文字サイズ変更

メニュー画面の文字表示サイズを変更します。**大** に設定すると、AVソースメニュー画面・ナビメニュー画面で文字を大きく表示します。

初期設定値：標準

英語設定

ナビメニュー画面や地図スクロール画面などのメニューの一部、および地図上の表示言語とナビ音声案内を英語に設定します。

初期設定値：しない

・「する」に設定してもVICS音声読み上げは日本語になります。

アートワークアニメーション表示

iPod/iPhoneのアートワークをアニメーション表示します。

初期設定値：する

メニューアニメーション表示

ナビメニュー画面とAVソースメニュー画面をアニメーション表示します。

初期設定値：する

距離補正

本機はGPSからの位置情報と車速パルス信号による計算上の走行距離とを比較し、それらの情報を蓄積・学習することで自車位置を補正しています。地図上の自車位置が実際の位置と大きくずれてしまう場合は、まず距離補正值を初期化して数十キロ程度走行してください。それでもずれてしまう場合には手動で距離補正を行ってください。

・通常は距離補正を行う必要はありません。

・走行距離はタイヤ1回転ごとに発生させる車速パルスの数にタイヤの円周を乗じて計算します。このためタイヤを交換したときは自車位置がずれる場合があります。

■ 自動距離補正設定

距離補正を自動で行います。

初期設定値：ON(自動)

■ 自動距離補正值

自動距離補正を開始する値を設定します。

初期設定値：-1.2%

■ 手動距離補正值

自車位置が実際の位置と合うように計算上の走行距離を微調整します。

・はじめは0.5～1%程度の調整で様子を見ることをおすすめします。極端な補正は誤動作の原因になる場合があります。

■ 学習結果

距離補正の学習状況です。

■ 初期化

自車位置が大きくずれる場合やタイヤを交換したときは距離補正值を初期化してください。

各種設定—その他 設定画面について(2/3)

イルミネーション連動設定	ヘッドライト点灯に連動してディスプレイと照光スイッチの明るさを切りかえ、画面を見やすくすることができます。 初期設定値：する
夜用明るさ調整	イルミネーション連動設定 を する に設定すると夜用の画面の明るさを調整することができます。 初期設定値：0
夜用照光明るさ調整	イルミネーション連動設定 を する に設定すると夜用の本体スイッチの明るさを調整することができます。 初期設定値：標準
エコインフォ・燃費優先ルート	<p>■ 車種タイプ選択 エコインフォ画面に表示するクルマのイラストを選択します。</p> <p>■ 乗車人数選択 普段乗車される際の乗車人数の設定を行います。設定された人数は燃費優先ルート探索条件として使用されます。 初期設定値：4人 ・乗車人数選択範囲は1人～10人です。</p> <p>■ エコガイドトーン エコガイドの警告音を出すかどうかを設定します。 初期設定値：する</p> <p>■ エコ情報初期化 エコ走行ガイドに表示されるエコ情報と標高情報を初期化します。</p>
オプションキー	ダブルゾーンコミュニケーション・VICS割込み情報・ミュート・画面OFF・TVを見る・自宅に帰る(地図画面のみ操作可能)・ハンズフリー・後席個別ON/OFF・ダブルゾーンメニュー・画質調整・交通情報を聞く、のいずれかの機能を割り当てることができます。 初期設定値：1回押し…ダブルゾーンコミュニケーション 長押し…1. 画面OFF、2. ミュート、3. VICS割込み情報
自転車位置修正	地図上の自転車マークの位置と向きが実際とは異なっている場合は手で修正することができます。 自転車位置修正 をタッチしたら自転車マークが実際の位置にくるまで地図をスクロールし、 ↻ または ↶ をタッチして向きを調整します。 登録 をタッチすると自転車位置がセットされます。 ・自転車位置修正については「現在地」(49ページ)を参照してください。
画面カラー変更	ナビメニュー画面やAVソースメニュー画面などのタッチスイッチ・背景の色を変更します。 初期設定値：ホワイト
セキュリティ設定	セキュリティコードを設定します。バッテリーを外して再度使用を開始したときやリセットスイッチを押したときに、設定したセキュリティコードを入力しないと本機を使用することができなくなります。 する にタッチした後セキュリティコードを入力し、 完了 をタッチします。 初期設定値：しない ・セキュリティ設定を解除するにはセキュリティコードが必要です。セキュリティコードを忘れてしまった場合には、裏表紙を参照してお客様登録したうえで、アルパインインフォメーションセンターにご相談ください。
セキュリティインジケータ設定	「セキュリティ設定」(前項目)と「セキュリティインジケータ設定」が する に設定されている状態で、車のエンジンをACC OFFにした時にセキュリティインジケータ用の照光スイッチが点滅します。 初期設定値：しない
クイックセットアップ状態初期化	既に設定した設定値を保持した状態で、セットアップ状態を初期化することができます。 ・リセット後に再起動します。
全設定項目初期化	本機で設定したすべての項目の設定値を初期化します。DVD/CDディスク・USBメモリーを取り出してから操作を行ってください。 ・一度消去したものは復活できませんのでご注意ください。

全情報初期化

登録地点や設定項目の設定値などすべての情報を初期化し、工場出荷時の状態にします。DVD/CDディスク・USBメモリーを取り出してから操作を行ってください。

- 一度消去したものは復活できませんのでご注意ください。

ログアップロード

ログデータをアルパインサーバーへアップロードすることができます。

ログデータは、今後の製品開発や不具合が発生した際のログ解析などの用途で使用させていただきます。ログ解析することで不具合の早期解決を行い、いち早くお客様へお知らせすることができます。

個人情報確認画面の内容を確認して **同意する** にタッチし、ログデータをアップロードする場合は **はい** にタッチしてください。アップロード完了後は **確認** にタッチしてください。

- Wi-Fi通信機器が登録されていない場合は、ログデータのアップロードはできません。個人情報確認画面の **機器設定** にタッチし、**はい** にタッチするとWi-Fi通信機器を登録することができます。「Wi-Fi通信機器を接続する」(66ページ)を参照してください。
- アップロード中に本体キーを操作したり、お車のエンジンをACC OFFにしたりした場合は、アップロードを中止します。

6. 設定・調整

音質調整—基本設定 画面について(1/2)

音質調整画面—基本設定画面は [♪ AUDIO] スイッチを押して **音質調整** → **基本設定** タブの順にタッチすると表示されます。



• ダブルゾーンコミュニケーション操作中(144ページ)は、音質調整操作はできません。



① サブウーファーレベル

「サブウーファー設定」(111ページ)でサブウーファーを「ON」に設定した場合のみ、出力レベルを調整することができます。

設定値 : 0 ~ 15(初期設定値は「0」)

• 本設定は詳細設定 1 画面・詳細設定 2 画面からも操作することができます。



車種専用チューニング(112ページ)で設定した後に、使用する条件によって車室内の音響を変更することができます。

登録されている車種名をリストから選択する方法と、**その他車種** では車内装備にあわせて、車種・ドライバースピークの位置・フロントスピーカーのサイズ・ツイーターの有無・リアスピーカーの設置位置・サブウーファーの有無・シートの材質を順に選択して設定する方法があります。

- 車種専用サウンドの設定は Media Xpander・Parametric EQ・T.CORR・X-OVER・サブウーファー設定の項目に反映され、Bass Max EQ の設定が解除されます。
- ディフィートが ON のときは操作できません。また、リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別 TV・DVD・HDMI が ON のときも操作できません。
- 「車種専用チューニング中です」と表示されているときは電源を OFF にしないでください。
- 車種専用設定中はハンズフリー機能が使用できない場合があります。
- メーカーと車種を選択して設定する場合は、メーカー名→車種の順に選んでください。
- 車のシートに皮製の生地が使われている場合は **レザー** を、クロス地の場合は **モケット** を、皮とクロスの両方を使用している場合は **ハーフレザー** を選択してください。
- スピーカーのサイズとシートタイプは必ず選択してください。
- フロントスピーカーのサイズ・ツイーターの有無・シートタイプについてご不明な点はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

音質調整—基本設定 画面について(2/2)

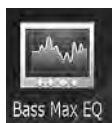


映画などの音声を聞き取りやすくしたり、CDの音楽をメリハリのある音で再生するなど、音声や楽器の音をメディアごとに際立たせて再生することができます(Media Xpander)。

初期設定値：OFF

メディア	レベル			
	OFF	1	2	3
COMPRESS MEDIA※	OFF			
FM	OFF			
AM	OFF	—	—	—
外部入力/ド ライブレコー ダー/ゲーム/ ウォークマン®	OFF	圧縮オーディオ	MUSIC	MOVIE
HDMI/DVD/ CD※	OFF			
TV※	OFF			
BT AUDIO※	OFF			

- MP3・WMA・AAC・iPod・USBは「COMPRESS MEDIA」に割り当てられます。
 - MXレベルは1→2→3の順で効果が大きくなります。
 - デフィートがONのときは操作を受け付けません。
- ※ COMPRESS MEDIA・HDMI(DVD/CD)・TV・BT AUDIOは、いずれかの設定を変えると同じMXレベルに設定変更されます。



あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、好みの音質に設定できます。

初期設定値：FLAT

設定値：FLAT・POPS・ROCK・NEWS・JAZZ・ELECTRICAL DANCE・HIP HOP・EASY LISTENING・COUNTRY・CLASSICAL

- デフィートがONのときは操作できません。
- Bass Max EQ で各音響特性を選択すると選択したEQカーブがParametric EQへ反映されます。
- 右側画面に表示されているEQカーブはイメージです。

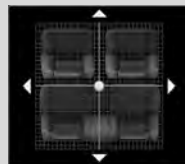


前後・左右のスピーカーの音量バランスを別々に調整することにより、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

BALANCE：L15～R15(初期設定値は「0」)

FADER：R15～F15(初期設定値は「0」)

- 微調整するときは、▲フロント ▼リア ◀左 ▶右をタッチしてください。
- 初期設定値に戻すには「センター」をタッチします。
- 調整画面右のバランスポイントエリアにタッチしても調整できます。
(バランスポイントエリア)



- 本設定は詳細設定1画面・詳細設定2画面からも操作することができます。
- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別TV・DVD・HDMIがONのときは操作できません。



ONに設定すると、MXをOFFに、EQを初期設定状態に戻します。OFFにすると、設定した値に戻ります(初期設定値は「OFF」)。

DEFEAT ON 表示：デフィートがONのとき。

DEFEAT OFF 表示：デフィートがOFFのとき。

- デフィートをONに設定すると、車種専用サウンド Media Xpander Bass Max EQ Parametric EQ はトーンダウンしてタッチできなくなります。
- 本設定は詳細設定1画面・詳細設定2画面からも操作することができます。

音質調整—詳細設定 画面について

音質調整画面—詳細設定1・2画面は[♪ AUDIO]スイッチを押して **音質調整** → **詳細設定1**、または **詳細設定2** タブの順にタッチすると表示されます。

<詳細設定1画面>



Parametric EQ(パラメトリックEQ)は、中心周波数・Q(帯域幅)・レベルをそれぞれ調整できるので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正や音創りを行うことができます。

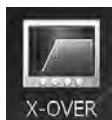
チャンネル : タッチするたびに1～9までのチャンネルに切りかわります。



T.CORR(タイムコレクション)は音が各スピーカーから耳に届くまでの時間を補正し、距離の違いによって生じる到達時間差を調整することができます。**補正時間** または **補正距離** にタッチするたびに補正モードが切りかわります。

補正時間 : 時間補正值で調整します(単位はms)。

補正距離 : リスニングポジションと各スピーカーまでの距離で調整します(単位はcm)。



X-OVER(クロスオーバー)は、HPF(ハイパスフィルター)とLPF(ローパスフィルター)を設定し、カットオフ周波数(クロスオーバーポイント)を20Hz～200Hzから選び、スロープ値を0・6・12・18・24 dB/octから選ぶことでお好みの音響空間を再現することができます。

チャンネル : タッチするたびに、フロントHPF→リアHPF→サブウーファーLPF→フロントHPFの順にチャンネルが切りかわります。



サブウーファースのON/OFFを設定します。

初期設定値 : OFF



ソースごとに基準となる音量レベルを調整します(初期設定値はいずれも「0ステップ」)。

<詳細設定2画面>



- ディフェイトがONのときは操作できません。
- 隣り合うチャンネルの周波数を超えて設定することはできません。
- Parametric EQ設定時は、Bass Max EQの設定は解除されます。
- 設定したいチャンネルのエリアにタッチしても調整できます。
- **プリセット1** **プリセット2** **プリセット3** のいずれかにタッチし続けると調整した設定値を記憶し、タッチするとスイッチに記憶されていた設定値が呼び出されます。
- **フラット** をタッチすると、設定した内容をフラットの状態にすることができます。

- 1ch・9.9msまで、5ch合計20msまで調整することができます。
- サブウーファースを「OFF」に設定している場合は、タイムコレクションの設定画面に表示されません。
- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別TV・DVD・HDMIがONのときは操作できません。
- **プリセット1** **プリセット2** **プリセット3** のいずれかにタッチし続けると調整した設定値を記憶し、タッチするとスイッチに記憶されていた設定値が呼び出されます。
- **フラット** をタッチすると、設定した内容を「0」の状態にすることができます。

- サブウーファースがOFFモードのときは、サブウーファースのX-OVERは設定できません。
- 接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。
- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別TV・DVD・HDMIがONのときは操作できません。
- **プリセット1** **プリセット2** **プリセット3** のいずれかにタッチし続けると調整した設定値を記憶し、タッチするとスイッチに記憶されていた設定値が呼び出されます。
- **フラット** をタッチすると、設定した内容をフラットの状態にすることができます。

- 「ON」に設定した場合は、PHASEでお好みの位相を設定することができます(初期設定値は「0°」)。
- リアビジョンのサウンドスピーカー設定が「前席のみ」または「後席のみ」および後席個別TV・DVD・HDMIがONのときは操作できません。

- ウォークマン®は必ず14ステップに設定してください。

車種専用チューニング 画面について

車種別設定画面は [▲ NAVI] スイッチを押して **設定** → **車種専用チューニング** の順にタッチすると表示されます。



アルパインホームページからダウンロードした車種データを設定できます。Wi-Fi通信でのダウンロードも可能です(122ページ)。

車種データ設定は下記の内容を登録します(2017年2月時点データ)。

- オープニング画面/オープニングサウンド*
- 車種専用サウンド(音響空間の設定)
- 画面背景デザイン
- 車種イラスト
- リアカメラ接続・ガイド線・コーション位置設定
- バックドアガイド線設定
- 案内図表示(交差点拡大図またはビッグアロー)
- 自動距離補正値設定
- 車両情報(車種/サイズ)
- ステアリングリモコン設定
- リアビジョン設定
- エンジンタイプ設定
- 燃費ルート探索パラメータ
- メニュー画面デザイン
- ダブルゾーンサウンドコントロール設定(前後席の推奨Vol値)

- 車種データのダウンロードを行う前に、アルパインホームページでお客様登録が必要です。
- USBメモリーを使用する場合は、ZIPファイルを解凍したデータをUSBメモリーに保存し、本機にセットします。
- 車種を選択または車種データを読み込むとカメラ設定画面が表示されます。続けて設定を行ってください。
- 車種データ更新後に車種設定画面が表示された場合は **終了** をタッチしてください。

※ 一部の車種にのみオープニングサウンドが適応されます。



アルパインホームページからダウンロードした車種データに含まれる、オープニング画像データを設定できます。Wi-Fi通信でのダウンロードも可能です(122ページ)。

初期設定値：デフォルト画像(ALPINE)

1. 設定したいオープニング画像を選択し、**完了** をタッチします。
2. 確認メッセージが表示されたら **はい** をタッチします。

- 車種専用チューニングを行っていない場合はオープニング画像を変更できません。
- オープニング画像に設定できるデータはアルパインが提供する画像データのみです。
- 追加可能なデータは1点です。すでにデータが読み込まれている場合は古いデータは削除されます。
- リセット後に再起動し、プログラムアップデートを行い、再度リセットと再起動を行います。
- 一部の車種にのみオープニングサウンドが適応されます。

アルパインホームページからダウンロードした車種データに含まれる、アイコンデザイン・背景色データを設定できます。Wi-Fi通信でのダウンロードも可能です(122ページ)。

初期設定値：ホワイト

1. 設定したいメニューデザインを選択し、**完了** をタッチします。
2. 確認メッセージが表示されたら **はい** をタッチします。

- メニューデザインを変更できない車種があります。
- 追加可能なデータは1点です。すでにデータが読み込まれている場合は古いデータは削除されます。

メディア編集 画面について

メディア編集画面は [Ⓐ NAVI] スイッチを押して **設定** → **メディア編集** の順にタッチすると表示されます。



本機で設定した登録地点をUSBメモリーにコピーして保存することができます。



USBメモリーに保存した地点を本機の地図メモリーにコピーすることができます。



USBメモリーの残容量を確認することができます。

- 登録地点保存用のフォルダーがUSBメモリー内に自動的に作成されます。
 - フォルダー名: NAVDATDR フォルダー - POIX フォルダー
 - 地点ファイル拡張子: .poix
- 作成したファイルの削除とファイル名の変更はパソコンから行うことができます。ただし拡張子.poixを変更するとファイルが認識されなくなりますので、拡張子の変更は行わないでください。なおファイル名に使用できる文字は半角英数字のみになります。
- メディア内に同一登録地点が存在する場合は上書き保存されます。
- 登録地点をメディアへコピーしている途中で他の画面に移動した場合、コピー処理はキャンセルされます。
- 本機で登録した登録地点はアルパインナビゲーションNVE-N555シリーズやNVA-HD55シリーズで使用することはできません。

- 本機の登録地点の最大数(700か所)を超えた場合は、地点のコピーは行われません。
- 本機とメディアに同一地点のデータが存在した場合は、その地点のデータはコピーされません。

画質調整 画面について

画質調整画面は [④ NAVI] スイッチを押して **設定** → **画質調整** の順にタッチすると表示されます。

画質調整は、全ての画面(映像ソース画面・カメラ画像以外)・映像ソース画面・リアカメラ画像によって調整できる項目が変わります。本項では外部入力映像ソース画面を例に説明しています。

画面例:<映像ソース>



① 画面サイズ	表示する映像をワイド、シネマ、ノーマルの3つのサイズに変えることができます。 ワイド : 16:9の映像を見るときに選択します。 シネマ : 映像を上下方向に拡大して表示したいときに選択します。画面の上下が少しカットされます。 ノーマル : 4:3の映像を見るときに選択します。画面の左右が黒く表示されます。	• 映像ソース画面のみで調整ができます。
② プリセット	映像ソース画面の調整内容を記憶したり呼び出したりすることができます。 プリセット1 または プリセット2 をタッチし続けると内容を保存できます。	• 映像ソース画面のみで調整ができます。
ライブコントラスト	画面の明るすぎる部分や暗すぎる部分の明るさを自動的に調整し、自然な明るさに補正します。 設定値 : OFF/弱/強(初期設定値は「弱」)	• 映像ソース画面とカメラ画面のみで調整ができます。
VISUAL EQ	設定値 : フラット(OFF)/ナイトモード/ソフト/シャープネス/ハイコントラスト フラット(OFF): 工場出荷時設定 ナイトモード: 暗いシーンが中心の映画に最適 ソフト : CGやアニメーションの映画に最適 シャープネス: 映像がくっきりしていない古い映画に最適 ハイコントラスト: 最新の映画に最適	• 映像ソース画面のみで調整ができます。 • お好みで映像の明るさや色の濃さを調整した場合は「カスタム」と表示されます。
明るさ	設定値 : -15 ~ +15(初期設定値は「0」) 最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示します。	• 全ての画面・映像ソース画面・カメラ画面で調整ができます。
色の濃さ	設定値 : -15 ~ +15(初期設定値は「0」) 最大値時は「MAX」、最小値時は「MIN」と表示します。	• 映像ソース画面とカメラ画面で調整ができます。
コントラスト	設定値 : -15 ~ +15(初期設定値は「0」) 最大値時は「HIGH」、最小値時は「LOW」と表示します。	• 全ての画面・映像ソース画面・カメラ画面で調整ができます。
シャープネス	設定値 : -5 ~ +5(初期設定値は「0」) 最大値時は「HARD」、最小値時は「SOFT」と表示します。	• 映像ソース画面のみで調整ができます。

• カメラの画質調整については139ページを参照してください。

音量調整 画面について

音量調整画面は [Ⓜ NAVI] スイッチを押して **設定** → **音量調整** の順にタッチすると表示されます。



前席操作音	<p>本機スイッチを押した時の操作音の音量を7段階で調整します。操作音は前席スピーカーから出力されます。</p> <p>初期設定値：4</p>
後席操作音	<p>リモコン操作する時の操作音の音量を5段階で調整します。操作音は後席スピーカーから出力されます。</p> <p>初期設定値：3</p>
ガイド音声	<p>ナビゲーション案内音声の音量を7段階で設定します。音声をOFFにすることもできます。</p> <p>初期設定値：4</p>
音声読み上げ	<p>VICS・ブラウザ音声読み上げの音量を7段階で設定します。発話する音声読み上げをOFFにすることもできます(102ページ)。</p> <p>初期設定値：4</p>
着信音量	<p>電話着信音の音量を11段階で設定できます。</p> <p>初期設定値：4</p>
受話音量	<p>受話音量を11段階で設定できます。</p> <p>初期設定値：4</p>
送話音量	<p>送話音量を11段階で設定できます。</p> <p>初期設定値：6</p>
オープニングサウンド音量	<p>オープニングサウンドの音量を7段階で設定できます。音量をOFFにすることもできます。</p> <p>初期設定値：4</p> <ul style="list-style-type: none"> 車種専用チューニング(112、180ページ)で選択したオープニングサウンド適応車種のみ音量設定をすることができます。

電話設定 画面について

電話設定画面は [ⓐ NAVI] スイッチを押して **設定** → **電話設定** の順にタッチすると表示されます。




着信全画面割込み	電話がかかってきたときに、着信全画面を自動で表示するかどうか設定します。 初期設定値：する	• 「する」に設定していても、カメラ画面表示中は着信メッセージ表示となります。
着信・通話画面情報表示	着信時または通話時に、相手の電話番号や名前などを画面に表示するかどうか設定します。 初期設定値：する	
自動着信	電話がかかってきたときに、自動的に電話を受けようかどうか設定します。 初期設定値：しない	
自動着信時間	自動着信設定時に何秒経過したら電話を受けようのかを5秒～20秒の範囲で5秒刻みに設定することができます。 初期設定値：10秒	• 「自動着信」(前項目)を「する」に設定した場合のみ、本項目を設定することができます。

BLUETOOTH設定 画面について

BLUETOOTH設定画面は [⬆ NAVI] スイッチを押して **設定** → **Bluetooth/Wi-Fi設定** → **Bluetooth設定** の順にタッチすると表示されます。



・BLUETOOTH機器の登録方法については「携帯電話・スマートフォンを接続する」(60ページ)を参照してください。

① 登録/変更	BLUETOOTH機器設定画面を表示します。	・ 設定変更する場合はBLUETOOTH接続を解除する必要があります。
② ハンズフリー	接続している携帯電話の名称と接続状況、通信接続先を表示します。 再接続 / 接続解除 をタッチすると接続状態が切りかわります。	
③ オーディオ	接続しているBT AUDIO機器の名称と接続状況を表示します。BT AUDIOソース時に 再接続 / 接続解除 をタッチすると接続状態が切りかわります。 また、自動接続をするかどうかを設定します。 初期設定値：しない	・ 「自動接続」を する に設定した場合、AVソースにBT AUDIOを選択すると自動的にBT AUDIO機器に接続します。前回接続したBLUETOOTH機器の場合のみ接続することができます。
	自機名称とパスキーを設定します。 自機名称初期設定値：ALPINE パスキー初期設定値：1234	・ 自機名称の最大入力文字数は英数記号合計32文字です。

BLUETOOTH機器設定 画面について

BLUETOOTH機器設定画面は Bluetooth設定 画面で 登録/変更 をタッチすると表示されます。



① 詳細情報

登録BLUETOOTH機器の詳細情報(機器名称・機器アドレス・機器種別・利用可能プロファイル)を表示します。

- 詳細情報画面で **暗証番号設定** をタッチすると暗証番号を登録して電話帳などにロックをかけることができます。4桁～8桁の数字を登録してください。
- **暗証番号消去** をタッチすると暗証番号入力後に消去します。
- **機器情報取得** をタッチすると機器名称・機器種別・利用可能プロファイルを再取得します。
- 暗証番号を忘れた場合は登録したBLUETOOTH機器を消去して再度登録してください。

消去

登録したBLUETOOTH機器を消去します。

接続機器
変更

本機から接続機器を変更します。登録している機器をリストから選択し **接続機器変更** をタッチします。接続するサービス(ハンズフリー・オーディオ・ハンズフリー+オーディオ)から選択し変更します。

機器登録

本機に接続するBLUETOOTH機器を登録します。接続する機器のBLUETOOTHバージョンにより接続方法が異なります。本機の画面に表示される案内に従って接続設定をしてください。

- 未登録を選択しているときは **機器登録** のみ選択できます。

Wi-Fi設定 画面について(1/2)

Wi-Fi設定画面は [⏏ NAVI] スイッチを押して **設定** → **Bluetooth/Wi-Fi 設定** → **Wi-Fi 設定** の順にタッチすると表示されます。



• Wi-Fi通信機器の登録方法については「Wi-Fi通信機器を接続する」(66ページ)を参照してください。

<p>① 接続状態</p>	<p>登録している接続機器名称および接続状況がアイコンで表示されます。</p>	<ul style="list-style-type: none">• 接続 / 未接続: 接続状況を表示します(接続/未接続)。• 2.4G / 5G: 接続周波数帯域を表示します(2.4G/5G)。• 有 / 無: セキュリティの有無を表示します。 有: セキュリティ有 無: セキュリティ無し• 電界強度アイコン: 接続しているWi-Fi通信機器の電界強度レベルを表示します。• 1 / 2: Wi-Fi通信機器の接続優先順位を表示します。エンジンをACCまたはONにした場合、登録されている優先順位に従って自動で接続されます。 優先順位変更 にタッチすると、優先順位を変更することができます(120ページ)。• Wi-Fi通信機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法や表示・動作が正常ではない場合があります。また、本機と接続する際には、Wi-Fiテザリング契約が必要な場合があります。• 電波の状況によりノイズ等が入る場合があります。
<p>② 詳細情報</p>	<p>登録Wi-Fi通信機器の詳細情報(SSID・MACアドレス・通信モード・通信レート・周波数・セキュリティ方式・暗号化方式・認証方式・電界強度・接続状態・チャンネル・チャンネルボンディング)を表示します。</p>	
<p>自機情報</p>	<p>Wi-Fiネットワーク自機情報(MACアドレス・IPアドレス)を表示します。</p>	<ul style="list-style-type: none">• 情報がない場合は“—”と表示されます。
<p>消去</p>	<p>登録済みのWi-Fi通信機器を消去します。</p>	<ul style="list-style-type: none">• 再度登録する場合は、「Wi-Fi通信機器を接続する」(66ページ)を参照してください。

Wi-Fi設定 画面について(2/2)

優先順位
変更

優先順位変更 をタッチして自動で接続される際の優先順位を変更することができます。リスト画面上の **▲上へ** **▼下へ** で優先順位を移動してください。 **完了** をタッチすると自動接続時の優先順位変更が完了します。

接続 /

切断

選択しているWi-Fi通信機器の接続状態が切りかわります。

- 接続できるWi-Fi通信機器は1台です。別のWi-Fi通信機器を接続中の場合は切断されます。
 - ACC電源をOFF、またはWi-Fi通信障害が発生すると、Wi-Fi通信は切断されます。
 - 通信中にレーダー波を検出した場合は、DFS機能(※)により自動的にチャンネルを変更しますので、通信が一時的に中断される場合または、接続も切断される可能性があります。必要に応じて本機側で再接続の操作を行ってください。
 - 接続試行中は、本スイッチの操作はできません。接続試行が終了するまでお待ちください。
- ※ DFS(ディーエフエス, Dynamic Frequency Selection):無線LANの通信が気象レーダー等に影響を与えないよう、無線LANアクセスポイント側が使用周波数帯を変更する機能。

詳細設定

Wi-Fi通信機器の設定条件を変更することができます。

自動接続

Wi-Fi接続を自動で行うかどうか設定できます。

初期設定値：する

利用周波数帯域

機器検索・自動接続の際に、表示・接続する周波数を指定できます。

初期設定値：自動

ダウンロード自動再開

ダウンロード途中の更新データがある場合、Wi-Fi接続した時に自動的にダウンロードを再開するかどうか設定できます。

初期設定値：する

機器探索

登録可能なWi-Fi通信機器の探索をおこないます。「Wi-Fi通信機器を接続する」(66ページ)を参照してください。

Wi-Fi機器探索 画面について

Wi-Fi機器探索画面は **Wi-Fi 設定** 画面で **機器探索** → **確認** をタッチすると表示されます。



• Wi-Fi通信機器の登録方法については「Wi-Fi通信機器を接続する」(66ページ)を参照してください。

① Wi-Fi通信機器 探索インジケータ	Wi-Fi通信機器探索状態を示します。	
② 機器探索結果リスト	現在登録可能なWi-Fi通信機器名称および接続状況がアイコンで表示されます。画面上の機器リストにタッチしてWi-Fi通信機器を登録できます。「Wi-Fi通信機器を接続する」(66ページ)を参照してください。	<ul style="list-style-type: none">登録済: 登録状態を表示します。登録済みのWi-Fi通信機器は 登録済 と表示されます。2.4G / 5G: 接続周波数帯域を表示します (2.4G/5G)。🔒 / 🔓: セキュリティの有無を表示します。 🔒: セキュリティ有 🔓: セキュリティ無し📶 / 📶 / 📶: 接続しているWi-Fi通信機器の電界強度レベルを表示します。機器探索結果リストには最大20件まで表示されます。
WPS 登録	WPS(Wi-Fi Protected Setup)機能を使用してWi-Fi通信機器を接続します。接続方法はプッシュボタン方式とPINコード方式があります。「WPS機能を使用してWi-Fi通信機器を登録する」(68ページ)を参照してください。	<ul style="list-style-type: none">WPS使用時のセキュリティは、WPAまたはWPA2を選択してください(TKIP/WEPはOFFに設定)。
機器名入力 登録	接続するWi-Fi通信機器名(SSID(Service Set Identifier))を直接入力してWi-Fi通信機器を接続します。「機器名を入力してWi-Fi通信機器を登録する」(67ページ)を参照してください。	
機器登録	Wi-Fi通信機器を登録します。リストに表示されたWi-Fi通信機器から、登録したい機器を選んでタッチし、 機器登録 にタッチします。「本機から自動探索してWi-Fi通信機器を登録する」(66ページ)を参照してください。	

データ更新について(Wi-Fi)(1/2)

自宅のWi-Fi通信機器やテザリング対応のスマートフォンなどを使用して本機のデータ更新を行うことができます。次のデータを一度に、または個別に更新することができます。

地図データ	<ul style="list-style-type: none"> 全国地図データ年度更新(※) 高速道配信
本機プログラムデータ	本機のアップデートプログラムデータ
車種専用チューニングデータ	車種専用のオープニング画像、チューニングデータ

※ 全国地図データ年度更新のデータサイズが大きい場合、Wi-Fi経由での地図データダウンロードサービスを行わない場合もございます。あらかじめご了承ください。Wi-Fi経由でのダウンロードサービスを行わない年度データが発生した場合、弊社ホームページおよびメールマガジンなどで、ご連絡いたします。

■データをダウンロードするために必要なこと

データをダウンロードするためには「E-Mail」と「パスワード」が必要です。あらかじめ、アルパインホームページで「お客様登録」を行い、本機の認証情報の設定を行ってください(「認証情報設定」127ページ)。

アルパインホームページアドレス <https://www.alpine.co.jp>

・スマートフォン・携帯電話を使用し「認証情報設定」(127ページ)のQRコードを読み取り、お客様登録することもできます。



- ・Wi-Fi通信機器の接続方法については「Wi-Fi通信機器を接続する」(66ページ)を参照してください。
- ・Wi-Fi通信中にハンズフリー通話・電話帳の読み込み・BLUETOOTHオーディオ再生を行うと、BT AUDIOの音切れや、ダウンロードの速度低下、Wi-Fi通信の一時的な遮断や音切れ、ダウンロードの速度低下などの影響が出る場合があります。
- ・USBメモリーを使用してデータ更新を行うこともできます。詳しくは「データ更新について(メディア)」(124ページ)を参照してください。
- ・本製品のWi-Fi接続に関して、IPv6は動作保障しておりません。

1 [ⓐ NAVI] スイッチを押して、**情報/更新** → **Wi-Fi更新** → **データ更新** → **ダウンロード可能データ確認** の順にタッチする

- ・ダウンロード可能リスト画面が表示されます。
- ・必要な更新データだけをダウンロードしたい場合は **ダウンロード**、すべての更新データをダウンロードしたい場合は **一括ダウンロード** で、それぞれダウンロードしてください。
- ・リスト画面に「地図更新(全国地図年度更新データ)」と「高速道配信」の両方表示されている場合、表示されている「高速道配信」データは年度更新前の地図に対する配信データで、最新データではありません。年度更新後の最新高速道配信データがある場合、「地図更新(全国地図年度更新データ)」をインストールした後に **ダウンロード可能データ確認** にタッチするとリスト表示されます。

2 <一部の更新データだけをダウンロードする場合>

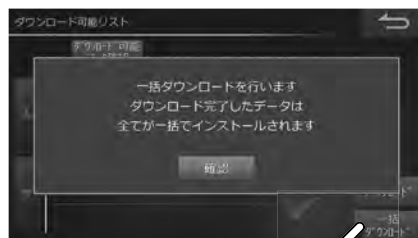
ダウンロードしたい更新データを選択して

ダウンロード をタッチする

<すべての更新データをダウンロードする場合>

一括ダウンロード をタッチし、表示されたメッセージを確認して **確認** にタッチする

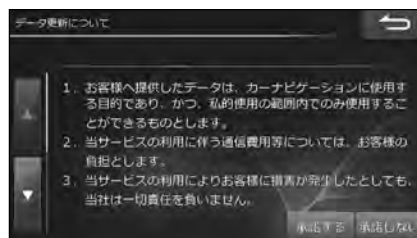
- ・ダウンロード完了したデータは全て一括でインストールされます。個別でインストールしたい場合には **ダウンロード** を選択してください。
- ・**i** (詳細情報)にタッチすると更新データの情報を見ることができます。「高速道配信データ」の場合は、さらに詳細な情報を見ることができます。情報画面で **詳細情報** にタッチします。



データ更新について(Wi-Fi)(2/2)

3 データ更新についての利用規約を読み、承諾する場合は **承諾する** をタッチする

- **承諾しない** にタッチするとダウンロード可能リスト画面に戻ります。

4 ログアップロードについての説明を読み、ログデータをアップロードする場合は、**アップロードする** にタッチする

- データダウンロードが開始され、ダウンロードが完了するとログデータのアップロードが開始されます。
- **アップロードしない** にタッチしてもデータのダウンロードは開始されます。
- データダウンロード中に **休止** をタッチするとダウンロードを休止できます。次回Wi-Fi通信機器を接続したときに自動でダウンロードを再開できます。「Wi-Fi設定 画面について(2/2)」の「詳細設定」(120ページ)を参照してください。
- ログアップロード中に **中止** にタッチすると、途中までのログデータだけがアップロードされます。
- ログアップロードはその他設定画面からも行うことができます。「ログアップロード」(108ページ)を参照してください。

5 ダウンロードまたはログアップロードが完了すると、ダウンロードデータのインストールを促すメッセージ画面が表示されます。**はい** にタッチする

- 更新データがインストールされます。
- データのインストール中は、電源をOFFにしないでください。
- 車種専用チューニングデータをインストールすると、インストール前の設定値を全て削除し上書きされますのでご注意ください。
- **後で** にタッチするとダウンロード状況画面に **一括インストール** スイッチが表示されます。タッチするとインストールを開始できます。**破棄** にタッチすると、ダウンロードしたデータを破棄します。
- ダウンロードしたデータを個別にインストールすることはできません。



6 すべてのインストールが終わると、本機が自動で再起動し、通常画面に戻ります

- 「本機プログラム」、「地図データ」更新の場合は、再起動後に続けてプログラムのアップデートが行われます。電源をOFFにしないでください。



データ更新について(メディア)(1/2)

USBメモリーを使用して本機のデータ更新を行うことができます。次のデータを一度に、または個別に更新することができます。

地図データ	<ul style="list-style-type: none"> • 全国地図データ年度更新 • 高速道配信
本機プログラムデータ	本機のアップデートプログラムデータ
車種専用チューニングデータ	車種専用のオープニング画像、チューニングデータ

■データをダウンロードするために必要なこと

データをダウンロードするためには「E-Mail」と「パスワード」が必要です。あらかじめ、アルパインホームページで「お客様登録」を行ってください。

アルパインホームページアドレス <https://www.alpine.co.jp>

• スマートフォン・携帯電話を使用して「認証情報設定」(127ページ)のQRコードを読み取り、お客様登録することもできます。



- パソコンでデータをダウンロードする際に、個別にダウンロードすると上書きされるデータがあります。必要なデータはまとめてダウンロードしてください。
- Wi-Fi通信を使用してデータ更新を行うこともできます。詳しくは「データ更新について(Wi-Fi)」(122ページ)を参照してください。
- Wi-Fi通信と同時にデータ更新はできません。もし、Wi-Fi通信でダウンロードした更新データがインストールされずに残っている場合は、ダウンロードしたデータを破棄してから行ってください。

1 パソコンでアルパインホームページのユーザーズルームにログインし、お使いの機種の「製品サービス」を選ぶ

2 更新データを選択してダウンロードし、USBメモリーに保存する

- 古い更新データがUSBメモリーに保存されている場合は、古い更新データを全て削除してから新しい更新データを保存してください。
- USBメモリーのルートフォルダに300以上ファイルが格納されていると、更新できない場合がありますので、不要なファイルは全て削除してからデータをダウンロードするようにしてください。

3 メディアポートのUSB端子にUSBメモリーを接続する

- 確認メッセージが表示されたら **はい** にタッチしてください。インストール可能データリスト画面が表示されます。
- USBメモリー内のデータ確認メッセージが表示されている間は、USBメモリーを取り外さないでください。
- USBメモリーを接続または挿入しても更新データが自動的に表示されない場合には、**[Ⓜ NAVI]** スイッチを押し、**情報/更新** → **メディア更新** → **USBで更新** の順にタッチしてください。



データ更新について(メディア)(2/2)

4 <一部の更新データだけをインストールする場合>

インストールしたい更新データを選択して
インストール をタッチし、表示されたメッセージを確認して **はい** にタッチする

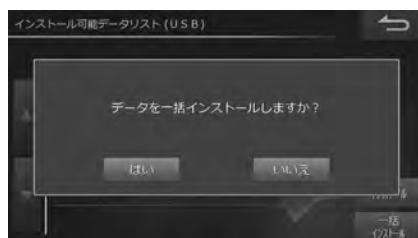
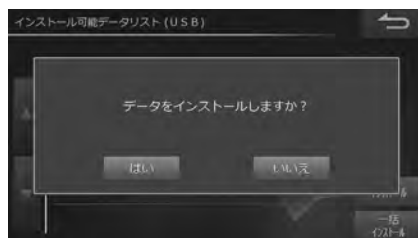
<すべての更新データをインストールする場合>

一括インストール をタッチし、表示されたメッセージを確認して **はい** にタッチする

- **いいえ** にタッチすると、インストール可能データリスト画面に戻ります。
- データのインストール中は、USBメモリーの取り外しや電源をOFFにしないでください。

5 すべてのインストールが終わると、本機が自動で再起動し、通常画面に戻ります

- 再起動後、「本機プログラム」、「地図データ」更新の場合は、続けて本機のアップデートを行います。USBメモリーの取り外しや電源をOFFにしないでください。
- 電源OFFなどでインストールが中断した場合は、手順3からもう一度作業を行ってください。



地図更新について

地図更新には、全国地図データ年度更新と、最新の高速道データだけを更新する高速道配信があります。年度更新と年度更新の間の期間中は、複数回の高速道配信が行われます。

全国の地図データ年度更新サービスは、2019年度版/2020年度版/2021年度の3回の更新を無償で行うことができます。2022年度以降の地図データ更新は有償の「地図更新データ」が必要になります。

■ 地図更新するために必要なこと

地図更新するためには「E-Mail」と「パスワード」が必要です。あらかじめ、アルパインホームページで「お客様登録」を行ってください。

アルパインホームページアドレス <https://www.alpine.co.jp>

• スマートフォン・携帯電話を使用し「認証情報設定」(127ページ)のQRコードを読み取り、お客様登録することもできます。

• 地図更新の方法について

- Wi-Fi通信によるデータ更新は、1年分の年度更新データと高速道配信データを更新することができます。「データ更新について(Wi-Fi)」(122ページ)を参照してください。
 - USBメモリーによるデータ更新は、年度更新データと高速道配信データを更新することができます。「データ更新について(メディア)」(124ページ)を参照してください。
 - Wi-Fi通信環境が使用できないお客様や一度に2年分以上まとめてデータ更新をする場合などは、USBメモリーを使用して年度更新データの更新を行います。年度更新データの更新方法については、地図更新用USBメモリーに添付されている取扱説明書を参照してください。
- 地図更新や高速道配信スケジュールは変更する場合があります。詳しくは、アルパインホームページをご覧ください。

Wi-Fi更新 画面について

Wi-Fi更新画面は [④ NAVI] スイッチを押して **情報/更新** → **Wi-Fi 更新** タブの順にタッチすると表示されます。



登録済みのWi-Fi通信機器を通じてデータを更新することができます。詳しくは「データ更新について(Wi-Fi)」(122ページ)を参照してください。

- Wi-Fi通信機器と接続する必要があります。詳しくは「Wi-Fi通信機器を接続する」(66ページ)を参照してください。
- Wi-Fi通信機器をBLUETOOTH接続している状態でデータ更新を行うと、通信が中断する場合があります。データ更新を行う際は、BLUETOOTH接続を切断してください。



Wi-Fiデータ更新での履歴が表示されます。データ更新中の場合、進捗状況を確認することができます。

- 更新履歴は最大10件記憶されています。10件を超えると古い履歴から削除されます。



データ更新に必要な認証情報の設定・変更をします。認証情報を設定するには、アルパインホームページで「お客様登録」を行い、お客様のメールアドレスとパスワードを登録する必要があります。必ず登録を行ってください。認証情報の設定・変更をする際は、あらかじめWi-Fi通信機器を本機にWi-Fi接続してください(66ページ)。

1. 認証情報入力画面で **E-Mail** と **パスワード** にタッチして、メールアドレスとパスワードをそれぞれ入力する
 - E-Mailは「お客様登録したメールアドレス」、パスワードは「その際にお客様が設定したパスワード」になります。
 - 認証情報入力画面にアルパインホームページアドレスとQRコードが表示されます。QRコードではスマートフォンからアルパインホームページへアクセスすることができます。お客様登録がお済みでない場合には、ここから登録することが可能です。
2. **完了** にタッチする

データのダウンロードが可能となります。

 - GPS時刻情報が必要なため、GPSを受信していない場合は本設定を行うことはできません。

メディア更新 画面について

メディア更新画面は [Ⓜ NAVI] スイッチを押して **情報/更新** → **メディア 更新** タブの順にタッチすると表示されます。



最新の更新データを格納したUSBメモリーを使用して更新を行います。詳しくは「データ更新について(メディア)」(124ページ)を参照してください。

VICS情報画面について(1/2)

VICS情報画面は [④ NAVI] スイッチを押して **情報/更新** → **VICS情報** タブの順にタッチすると表示されます。



大雨・大雪・津波など異常気象や災害に関する情報のリストを表示します。

- ・走行中は安全のためリストは2行のみ表示されます。
- ・気象警報・災害エリアリストは、特別警報アイコンが表示されたVICSタイムスタンプにタッチしても表示されます(5ページ)。
- ・リスト表示画面で **特別警報** **全情報** にタッチすると、特別警報リストと全情報リストを切りかえることができます。
- ・リストを選択して **情報** にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- ・リストを選択して **完了** または地図にタッチすると、対象となっている地点を地図上で確認できます(「規制や災害エリアの表示例」58ページ)。
- ・リストには警報や注意報の種類に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS道路交通情報マーク一覧」(47ページ)を参照してください。



規制・事故・災害・異常気象などが発生しているエリアのリストを表示します。

- ・走行中は安全のためリストは2行のみ表示されます。
- ・リストを選択して **情報** にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- ・リストを選択して **完了** または地図にタッチすると、対象となっている地点を地図上で確認できます(「規制や災害エリアの表示例」58ページ)。
- ・リストには規制の種類に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS道路交通情報マーク一覧」(47ページ)を参照してください。



別売のETC2.0車載器で、割り込みされたVICS割り込み情報を呼び出して見ることができます。

- ・別売のETC2.0車載器が接続されていれば、自動で割り込まれるように初期設定されています(「情報割り込み」102ページ)。自動割り込みを解除することもできます。



道路状況を文字または簡易図形として表示します。

- ・番号にタッチすると情報を確認することができます。
- ・**文字** **図形** にタッチすると文字情報・図形情報を切りかえることができます。

VICS情報画面について(2/2)



VICSと提携している駐車場(一般駐車場/臨時駐車場)リストを、高速道路ではサービスエリア(SA)/パーキングエリア(PA)のリストを表示します。

- 走行中は安全のため駐車場リストは2行のみ表示されます。
- リスト表示画面で **一般/臨時 SA・PA** にタッチすると、駐車場リストとSA/PAリストを切りかえることができます。
- リストを選択して **情報** にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- 地図上の駐車場マークをタッチしても情報を表示することができます。 **情報** にタッチすると詳細情報を表示します。 **次へ** にタッチすると近くの駐車場を選択できます(57ページ)。
- リストには利用状況に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS情報の表示例」(56ページ)および「VICS道路交通情報マーク一覧」(47ページ)を参照してください。



電気自動車の充電施設のリストを表示します。

- 走行中は安全のためリストは2行のみ表示されます。
- リストを選択して **情報** にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- 地図上の充電施設マークをタッチしても情報を表示することができます。 **情報** にタッチすると詳細情報を表示します。 **次へ** をタッチすると近くの充電施設を選択できます(57ページ)。
- リストには充電施設の種類に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS情報の表示例」(56ページ)および「VICS道路交通情報マーク一覧」(47ページ)を参照してください。



規制やイベントなどが予定されているエリアのリストを表示します。

- 走行中は安全のためリストは2行のみ表示されます。
- リストを選択して **情報** にタッチすると詳細情報を見ることができます。
- リストを選択して **完了** または地図にタッチすると、対象となっている地点を地図上で確認できます(「規制や災害エリアの表示例」58ページ)。
- リストには規制の種類に応じたアイコンが表示されます。表示されるアイコンおよび地図上のマークは「VICS情報の表示例」および「VICS道路交通情報マーク一覧」(47ページ)を参照してください。



VICS情報を受信するための放送局を設定します。受信する地域は自動(オート)で設定されますが、特定の地域を選択することもできます。
初期設定値：自動選択

- 特定の地域を指定する場合は **エリア選択** にタッチし、都道府県を指定してください。
- 放送局の周波数を指定する場合は **周波数選択** にタッチし **▼** または **▲** で周波数を指定してください。

7. 情報・更新 車両情報について

車両情報の確認画面は [④ NAVI] スイッチを押して **情報/更新** → **車両情報** タブの順にタッチすると表示されます。



GPS情報

衛星情報画面が表示されます。

- 衛星(GPS・みちびき等)の受信情報を表示します。



車両情報

GPSアンテナや周辺機器の接続状況、車速パルスなどの信号のON/OFF、距離補正学習やヨーレート学習の学習結果を表示することができます。

- **システム保存** をタッチするとシステム設定を保存します。電源OFF時に保存される情報ですので、通常はこの機能を使用する必要はありません。**はい** をタッチすると再起動します。



メンテナンス

車速・GPSアンテナからの情報をもとに、エンジンオイル・タイヤなど車両に関する各種交換・点検時期を画面表示することができます。お知らせするメンテナンス時期は、事前に年月日または走行距離をもとに設定した項目をお知らせするものです。

- **お知らせ設定** : **する** に設定するとお知らせ表示します(初期設定値:しない)。
- **お知らせ日** : 各種交換・点検日をお知らせする日付を設定します。
- **お知らせ開始日** : 「お知らせ日」で設定した日付の何日前からお知らせメッセージを表示するのかが設定します。**当日** **3日前** **7日前** から選んでください(初期設定値:7日前)。
- **お知らせ開始距離** : 何キロ走行するとお知らせするかを設定します。**+** **-** をタッチするたびに500km単位で入力できます。
- **日付リセット** をタッチすると、お知らせ日をリセットします。
- **走行距離リセット** をタッチすると、走行した距離(お知らせまでの残距離)がリセットされます。

お知らせ表示例(オイルフィルターの場合)

- お知らせ開始3日前: "オイルフィルター交換日が近づきました"
- メンテナンス機能で計測される走行距離と実際の走行距離で誤差が生じることがあります。

7. 情報・更新

本機情報の確認

本機情報の確認画面は [Ⓜ NAVI] スイッチを押して **情報/更新** → **その他** タブの順にタッチすると表示されます。



使用中のプログラムのバージョンやデータベースの情報を確認することができます。



最新のデータ更新の履歴が表示されます。データ更新中は進捗状況を確認することができます。



本機に関するお問い合わせ先を表示できます。携帯電話を接続している場合は、お問い合わせ先に電話をかけることができます。

- 最後に更新した履歴が路線別更新の場合は **高速道更新情報** をタッチして高速道更新情報画面を表示することができます。高速道差分配信画面上で **情報** にタッチすれば詳細情報を確認することができます。
- 全国地図データ年度更新(126ページ)を行うと、高速道更新情報は消去されます。
- 電話で問い合わせの場合は、アルパイン インフォメーションセンターの電話受付時間にご注意ください。
- 電話番号、電話受付時間などは変更になる場合があります。

8. オプション機器

ETC・ETC2.0について

ETC・ETC2.0画面は別売のETC車載器(HCE-B053)またはETC2.0車載器(HCE-B110V/HCE-B110)を接続し、**[NAVI]** スイッチを押して **情報/更新** → **ETC** タブ(ETC2.0車載器接続時は **ETC2.0** タブ)の順にタッチすると表示されます。



- ETC2.0車載器とETC車載器は同時に接続することはできません。

<ETC車載器接続の場合>



<ETC2.0車載器接続の場合>



ETCを利用した日時や料金をリスト表示したり、利用したインターチェンジ(IC)名などの詳細情報を確認することができます。
i : 料金の詳細情報が表示されます。

- ETCカードを挿入していないときは利用できません。
- 取得できるETCカードの料金履歴は最大で100件です。100件を超えると古い順に消去されます。
- 走行中は安全のため操作できません。安全な場所に停車してから操作してください。



ETC車載器またはETC2.0車載器に登録されているユーザー情報を確認します。車載器管理番号などのユーザー登録情報が表示されます。

ETCについて

ETC(Electronic Toll Collection System: 有料道路自動料金収受システム)とは、自動車に装備した車載器と料金所に設置したアンテナとの間で無線通信により料金支払いに必要な情報がやりとりされ、ノンストップで自動的に通行料金をお支払いいただけるシステムです。

本機では別売のETC 車載器またはETC2.0車載器を接続してETCカードを挿入することにより、料金所の手前でETC 専用レーンの案内を表示するなど、ナビゲーション機能に連動してETC 情報を提供します(45ページ)。

- ETC車載器またはETC2.0車載器の取扱説明書も参照してください。

ETC2.0について

ETC2.0とは、高度道路交通システム(ITS)で採用されている双方向無線通信技術のひとつDSRC(Dedicated Short Range Communication)を使用したシステムです。5.8GHz帯を使用し、数十mでの狭い範囲で双方向通信を行い、通信範囲内では最大4Mbpsの通信が可能となっています。すでにETCでも利用されており、さまざまなETC2.0サービス(旧 ITSスポットサービス)を提供することができます。

本機では別売のETC2.0車載器を接続することにより、ITSスポット(ETC2.0の路側アンテナ)で、ナビゲーション機能と連動し道路交通情報(VICS情報)などを提供します。

- VICSについては「VICSについて」(54ページ)を参照してください。
- ETC2.0車載器の取扱説明書も参照してください。
- ETC2.0サービスで提供される情報によっては対応できない場合があります。
- ETC2.0サービスについては、国土交通省のホームページをご覧ください。
<http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j.html/etc2/index.html>

ETC2.0について(1/2)

別売のETC2.0車載器(HCE-B110V/HCE-B110)を本機に接続することにより、道路交通情報や安全運転支援情報を音声や画像で案内したり、渋滞・規制情報を考慮したルート探索(「VICSについて」54～58ページ)ができます。

さらに、ETC機能と連動して、本機から料金案内や料金履歴表示することもできます。

ETC2.0画面は別売のETC2.0車載器を接続し、[Ⓜ NAVI] スイッチを押して **情報/更新** → **ETC2.0** タブの順にタッチすると表示されます。



ETC2.0車載器を本機に接続してできること

ETCゲート通過案内

ETCゲートを通過する際に利用料金の表示・音声案内を行います(45ページ)。

安全運転支援

<交通状況(渋滞)の表示例>



落下物や渋滞末尾情報などの注意喚起

走行ルート上に渋滞や落下物などがある場合、簡易図形と音声で注意喚起を行います。

道路交通情報提供

広範囲の道路の渋滞情報や、簡易図形と音声での道路交通状況の提供を行います(54ページ)。

その他の情報提供

ITSスポットで、道の駅・有料道路のサービスエリア・パーキングエリアなどのホームページを表示して地域観光情報や施設情報にアクセスすることができます。

詳しくは「ETC2.0のブラウザ機能を使う」(135ページ)を参照してください。

ETC2.0について(2/2)

ETC2.0のブラウザ機能を使う

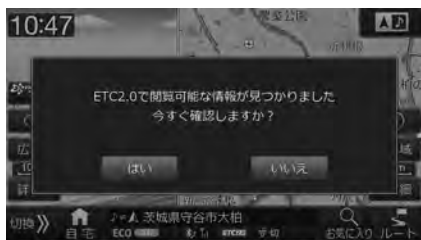
道の駅や有料道路のサービスエリア・パーキングエリアなどに設置されているITSスポットで周辺地域の観光情報や施設情報を閲覧することができます。ETC2.0のブラウザ機能が利用できるITSスポットでは、エリア内に入ると案内メッセージが表示されます。



- 走行中は安全のため「ブラウザ機能」はタッチできません。ITSスポットに完全に停車してから操作してください。
- カーナビゲーション以外の機器による閲覧を前提としたページは正しく表示できない場合があります。
- 電波状況によっては、ITSスポットからの電波を受信できない場合や、情報が表示されない場合があります。また、ブラウザ機能(インターネット接続)の通信速度が低下する場合があります。
- Wi-Fi接続中/接続試行中は操作できません。接続中のWi-Fi通信機器を切断(120ページ)または、接続試行が終了するまでお待ちください。

- 1 地図画面上に、ETC2.0での情報閲覧を確認するメッセージが表示されたら、**はい** をタッチする。または **[▲ NAVI]** スイッチを押し、**情報/更新** → **ETC2.0** → **ブラウザ** の順にタッチする

- ITSスポットから離れると、接続は自動的に切断されます。



情報画面

画面内のボタンやリンクをドラッグ(なぞり)・タッチすることで、様々な情報を閲覧することができます。



前のページに戻ります。



次のページに進みます。



通信・画像の表示を中止します。ブラウザでの音声読み上げ中にタッチすると音声読み上げを停止します。



現在開いているページを再表示します。



HOME画面に戻ります。



タイトル・全画面表示を切りかえます。

8. オプション機器 カメラについて(1/4)

本機はリアカメラを接続できます。

<リアカメラ>

バックギアにシフトすると本機の画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド(車両の車幅や距離感覚を補う補助マーク)を映すことができます。

カメラ接続時の注意

警告

● 警告

- 運転者は走行中に本機のカメラ映像を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。
- リアカメラをご使用の際は、事故防止のため、カメラ画像だけでなく、必ず目視やルームミラー / ドアミラーにより、周囲の安全を直接確認をしながら運転してください。
- リアカメラはドライバーの視界を補助するためのものであり、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。


● 注意

- カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なるため、注意が必要です。
- 乗車人数や積載量により車両が傾き、画面のリアカメラガイドの示す位置と実際の路面上の距離や障害物との距離が変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

- タイヤおよびサスペンションを交換すると、画面に表示される距離目安マークやガイドの示す位置に誤差が生じることがあります。
- 本機起動直後は下記の表示を行うことができません。
 - シフトレバーをバックギア(R)に入れたときのリアカメラガイド表示
- 接続しているカメラ側の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - 凍結したりすべりやすい路面または雪道。
 - ドアが完全に閉まっていないとき。
 - タイヤチェーンや応急タイヤを使用しているとき。
 - 坂道など平坦でない道。

リアカメラの映像

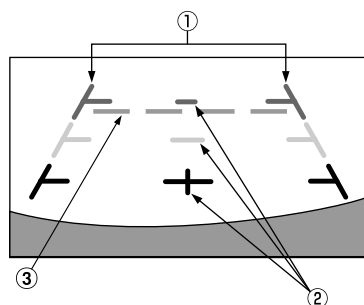
本機にリアカメラを接続した場合は「リアカメラ接続」を **あり** に設定してください(104ページ)。

後方の映像はシフトレバーをバックギア(R)に入れると自動的に映し出されます。解除するにはシフトレバーをバックギア(R)以外に入れる、または  にタッチするか、**[+]** **[-]** **[◀◀]** **[▶▶]** 以外の本体スイッチを押してください。シフトレバーがバックギア(R)の状態であれば本機画面に表示される **リアカメラ** にタッチすると再度リアカメラ映像が表示されます。

8. オプション機器 カメラについて(2/4)

リアカメラのガイド線について

<ガイド線の見かた>



■ 固定ガイド線

① 車幅延長マーク(手前より赤色、黄色、緑色のライン)

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたいときの進路の目安を示します。

② 距離目安マーク

クルマの後方(バンパー後端から)の距離を示します。

・それぞれの中心位置で、約0.5m先(赤色)・約1m先(黄色)・約2m先(緑色)を示します。

■ バックドア開閉ガイド線

③ バックドアガイド線(水色のライン)

バックドア(トランク)の開け閉めスペースを考慮したガイド線を表示します。

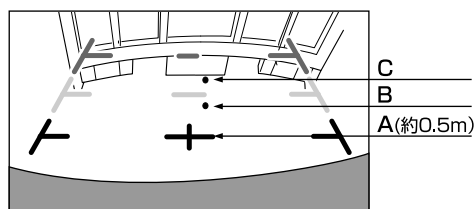
・車種専用チューニング(112、180ページ)で対象車種を選択した場合のみ表示されます。

- ・ナビゲーション起動時は、ガイド線が表示されるまでに時間がかかります。
- ・車や路面の状況により映る範囲は異なることがあります。
- ・カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- ・映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- ・車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

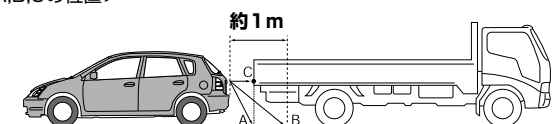
<距離目安マーク>

距離目安マークは路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

<画面>



<A,B,Cの位置>



画面では距離目安マークにより約1m先(Bの位置)にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退するとぶつかります。画面ではA・B・Cの順に近く見えますが実際の距離はAとCは同じ距離で、BはAやCより遠い距離にあります。

- ・車幅延長マークは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映しだされた場合は実際の距離感とは異なります。
- ・次のようなときは画面が見づらくなることがありますが異常ではありません。
 - 暗いところ(夜間など)。
 - レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - カメラに水滴がついたときや湿度が高いとき(雨天時など)。
 - カメラ付近に異物(泥など)がついたとき。
 - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。

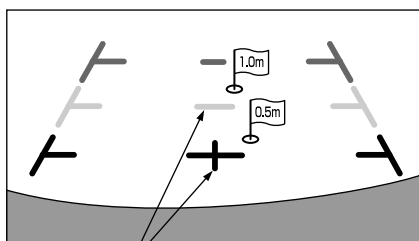
8. オプション機器 カメラについて(3/4)

画面と実際の路面との誤差

以下の状態のときは画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます(イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します)。

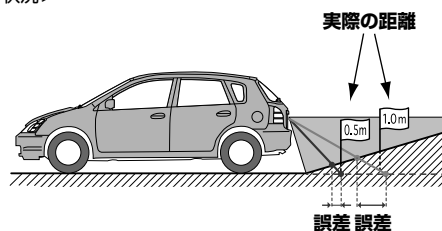
<急な上り坂が後方にあるとき(例)>

<画面>



距離目安マーク

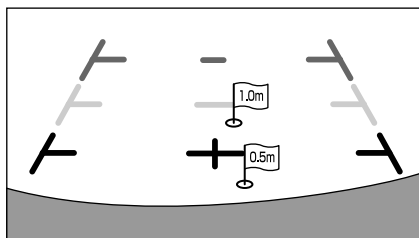
<車の状況>



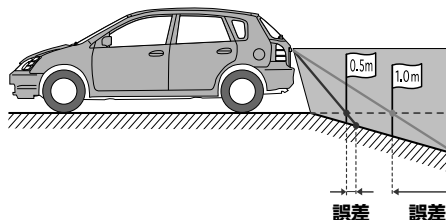
距離目安マークは平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安マークが表示されます。例えば上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

<急な下り坂が後方にあるとき(例)>

<画面>



<車の状況>



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安マークが表示されます。そのため下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

カメラについて(4/4)

■ カメラ画像の調整

<カメラ画質を調整する>

カメラ映像表示中に画面をタッチし、**画質調整** をタッチすると画質調整画面が表示されます。各項目の **設定** をタッチして調整します。

ライブコントラスト	映像の表示輝度をOFF・弱・強の中から選択します。周囲の明るさに応じて画像の明暗を自動的に調整します。 初期設定値：弱
明るさ	映像の明るさを－15(MIN)～＋15(MAX)の間で調整します。 初期設定値：0
色の濃さ	映像の色の濃さを－15(MIN)～＋15(MAX)の間で調整します。 初期設定値：0
コントラスト	映像コントラストを－15(LOW)～＋15(HIGH)の間で調整します。 初期設定値：0

<ガイド表示のON/OFF>

カメラ映像表示中に画面をタッチして **画質調整** にタッチすると、ガイド線のON/OFF設定を行うことができます。

固定ガイドOFF にタッチすると全ての固定ガイドが消えます。再度表示させたい場合は、**固定ガイドON** にタッチします。

<コーション(画面に表示される注意文)表示位置の調整>

カメラ映像表示中に画面をタッチし、**画質調整** をタッチすると画質調整画面が表示されます。 **コーション↑** または **コーション↓** をタッチすると表示位置が変わります。

8. オプション機器 リアビジョンについて(1/6)

リアビジョンを設定する

リアビジョン設定画面は [♪ AUDIO] スイッチ、または [ⓐ NAVI] スイッチを押して **リアビジョン/アロマ** をタッチすると表示されます。



<p>① アロマ設定</p>	<p>カーアロマの噴出量設定を強/中/弱/OFFから選ぶことができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> カーアロマ接続時のみ設定することができます。 カーアロマとリアビジョンを接続する場合は、カーアロマに対応したリアビジョンが必要です。
<p>プラズマクラスター</p> <p>強</p>	<p>リアビジョンのプラズマクラスター機能を操作できます。タッチするたびに「弱」→「強」→「ターボ(*)」→「切」に風量設定が切りかわります。</p> <p>※ ターボ付きリアビジョンのみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「リアビジョン プラズマクラスター設定」(103ページ)を「あり」に設定してください。 設定した風量はインジケーターに表示されます。 リアビジョン製品側のNAVIリンク設定を「ナビ」に設定してください。「リアビジョン」に設定すると本機からの操作を行うことができません。
<p>イルミネーション</p>	<p>イルミネーション切りかえ機能付きリアビジョンのイルミネーション色を、ホワイト・ブルー・グリーン・アンバー・レッド・パープル・スカイブルーから選ぶことができます。</p> <p>OFFにすることもできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「リアビジョン イルミネーション設定」(103ページ)を「あり」に設定してください。 「リアビジョン イルミネーション色」(103ページ)でも設定ができます。 リアビジョン製品側のNAVIリンク設定を「ナビ」に設定してください。「リアビジョン」に設定すると本機からの操作を行うことができません。
<p>サウンドスピーカー設定</p> <p>前席のみ</p> <p>前後座席</p> <p>後席のみ</p>	<p>出力するスピーカーを選ぶことができます。</p> <p>前席のみ：フロントスピーカーのみ音声を出力します。後席でお子さんが寝ているとき等に使用してください。</p> <p>後席のみ：リアスピーカー / サブウーファーのみ音声を出力します。後席モニターで視聴中のソースを前席では聞かないときに使用してください。</p> <p>前後座席：設定されているすべてのスピーカーから出力されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前席のみ または 後席のみ を選択中は、下記の音質調整操作を行うことはできません。 <ul style="list-style-type: none"> 車種専用サウンド T.CORR X-OVER サブウーファー設定 FAD./BAL. また、設定した音質調整は無効になります。 後席のみ に設定した場合でも、ナビ音声案内・電話・操作音は前席スピーカーから出力されます。
<p>前席優先</p> <p>後席優先</p>	<p>T.CORR(タイムコレクション)(111ページ)のリスニングポジションを切りかえることができます。</p> <p>前席優先：運転席に最適な数値に設定されます。</p> <p>後席優先：後席に最適な数値に設定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「車種専用チューニング」(112、180ページ)で、車種を設定していない場合は設定できません。また、選択した車種に、T.CORR(タイムコレクション)データがない場合も設定できません。 「スピーカー設定」を 前後座席 に設定している場合にだけ、本設定を行うことができます。

8. オプション機器 リアビジョンについて(2/6)

ダブルゾーンを設定する

ダブルゾーン設定画面は[**♪ AUDIO**]スイッチを押して **ダブルゾーン** をタッチすると表示されます。

後席(リアビジョン)に出力するAVソースの切り替え、ナビルート案内時の目的地到着予想時間をリアビジョン画面に表示する、後席スピーカー音量の設定ができます。



- 著作権保護(コピーガード)の信号が記録されている映像は、リアビジョンでは黒画面表示になります。
- 別売のカメラの映像はリアビジョンに表示できません。

① AVソース切り かえ



後席(リアビジョン)に表示する映像を設定できます。

「後席個別」**TV** **DVD** **HDMI**：

前席(本機)のAVソースに関わらず、後席(リアビジョン)にTV、DVD、HDMI映像が表示されます。音声は後席スピーカーから出力されます。

「後席表示設定」**前と同じ表示**：

前席(本機)と同じ映像が後席(リアビジョン)に表示されます。

「後席表示設定」**AVソースのみ**：

前席(本機)と同じAVソース画面がリアビジョンでのリモコン操作向けに簡易表示されます。

- 後席個別DVDまたはHDMIは、「HDMI接続機器選択」(103ページ)で設定した機器のみ選択することができます。
- 「後席個別」モード時は、サブウーファーから音声は出力されません。
- 「後席個別」モードに切りかえたとき、「後席スピーカー音量」が21以上に設定されている場合は、20に変更されます。
- AVソース画面は、リアビジョン専用調整されて表示されます。

行程情報表示

ルート案内時、後席(リアビジョン)に到着予想時間・現在地名称を簡易表示できます。

初期設定値: する

後席スピーカー音 量

後席スピーカーの音量レベルを調整できます。
設定値 : 0 ~ 35(初期設定値は10)

- 「①AVソース切りかえ」で **前と同じ表示** **AVソースのみ** を選んだときは、後席スピーカー音量は調整できません。
- ナビの案内音声・通話音は後席スピーカーからは出力されません。
- 後席スピーカーから出力されるオーディオ音声にはMedia Xpander・Parametric EQの効果は反映されません。








8. オプション機器 リアビジョンについて(3/6)

リアビジョンから本機を操作する

別売リモコン(RUE-RST01)の[リア専用メニュー]スイッチを押すと、リアビジョンにダブルゾーンメニュー画面が表示されます。

リモコンでダブルゾーンメニュー画面を操作すると、後席(リアビジョン)から本機の操作ができます。リモコン操作については「リモコン(RUE-RST01)の使い方」(146ページ)および、リアビジョンの取扱説明書を参照してください。



	ナビメニュー画面が表示されます。	
	後席個別TVモードになり、後席側でTV放送(73ページ)を見ることができます。	
	後席個別DVDモードになり、後席側でDVDの映像(149ページ)やCDの音楽(153ページ)を再生することができます。	<ul style="list-style-type: none"> 「HDMI接続機器選択」(103ページ)設定で「DVD/CD」選択時のみ選択することができます。
	後席個別HDMIモードになり、後席側でHDMIの映像(82ページ)を見ることができます。	<ul style="list-style-type: none"> 「HDMI接続機器選択」(103ページ)設定で「HDMI」選択時のみ選択することができます。
	後席表示設定を「AVソースのみ」に設定します。	
	ルート案内時、到着予想時刻・現在地名称が表示されます。	
	現在地の地図画面が表示されます(5ページ)。	

リアビジョンからAVソースを選ぶ

後席(リアビジョン)から別売のリモコンを使ってAVソースを選ぶことができます。リモコンの操作方法については「リモコン(RUE-RST01)の使い方」(146ページ)を参照してください。

1 リモコンの《》を押す

2 ジョイスティックを上下に押して項目を選択し、《決定》を押す

- 後席個別モード時にAVソースを変えると、後席個別モードは解除されます。
- 後席専用画面が表示されます。

<リアビジョン側の画面表示例>
(BT AUDIOを選択した状態)



後席個別TV・DVD・HDMI リアビジョン連動設定について

ダブルゾーンメニューの後席個別設定を「TV」、「DVD」、「HDMI」に設定した場合、リアビジョンのモニター開閉や電源OFF/ONに連動して、リアビジョン側で再生されている映像の再生が中断/再開します。

また、リアビジョン側の休憩モードにも連動して、映像の再生を中断/再開します(リアビジョン連動設定に対応したリアビジョンが必要です)。

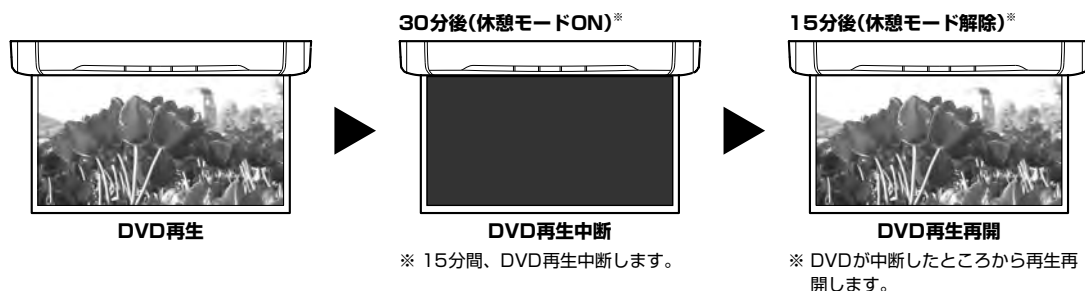
<リアビジョンのモニター開閉／電源OFF/ON時の動作イメージ>

「後席個別TV・DVD・HDMI リアビジョン連動設定」を「する」にしている状態



<リアビジョン休憩モードに連動した後席個別TV・DVD・HDMIの動作イメージ>

リアビジョン側の「休憩モード」を「ON」にして、休憩までの時間＝「30分」、休憩時間＝「15分」にそれぞれ設定した場合



- ・後席個別TV・DVD・HDMI連動を使用する場合は、「後席個別TV・DVD・HDMIリアビジョン連動設定」(103ページ)を「する」に設定してください。
- ・休憩モードについては、リアビジョン側の取扱説明書をご覧ください。
- ・休憩モード中にエンジンをOFF/ONした場合は、休憩モードは解除(DVD再生が再開)されます。
- ・リアビジョンモニターの電源を素早くOFF/ONしたり、天井取付け型リアビジョン(連動対応)を素早く開閉したりした場合は、「後席個別」モードが連動しない場合があります。
- ・エンジンをOFF(ACC電源OFF)時にリアビジョンモニターの電源をOFFした場合は、次にエンジンをONにしたときに後席個別モードでの音が数秒程度出る場合があります。

8. オプション機器 リアビジョンについて(5/6)

■ ダブルゾーンコミュニケーションについて

後部座席では聞こえにくい運転手の声を、内蔵のハンズフリーマイクを利用してリアスピーカーから出力することができます。運転中でも、後ろを振り返ることなく会話がしやすくなります。

また、アルパイン製ドライブレコーダー(別売)をリアビジョン(別売)と接続すると、後席の搭乗者はリアビジョン側に表示される前席側(運転席もしくは助手席)の車室内映像を見ながら会話することができます。

<本機側の画面表示例>



<リアビジョン側の画面表示例(DVDソース視聴時)>



- ・アルパイン製ドライブレコーダーの映像をリアビジョンに映すには、リアビジョンリンクに対応したリアビジョンおよびリアビジョン側での設定が必要です。詳しくはリアビジョン側の取扱説明書をご覧ください。


1 【*】スイッチを押す

本機側にダブルゾーンコミュニケーション画面が表示されます。

- ・**ダブルゾーンコミュニケーション** を【*】(オプションキー)に設定してください。設定については「オプションキーに機器を登録する」(30ページ)を参照してください。

2 ハンズフリーマイクに向かって発話する。ダブルゾーンコミュニケーションを終了する場合は、【*】スイッチを押す、または にタッチする

ダブルゾーンコミュニケーション発話が終了します。

- ・室内の状況により、送話音量・AV音量ミュートをそれぞれ調整してください。
- ・ダブルゾーンコミュニケーション中に他の画面に切りかえた場合は、 にタッチすると、ダブルゾーンコミュニケーション画面に戻ります。
- ・車種によっては、スピーカーの位置が後席から遠いため、前席の発話音声聴き取りにくい場合があります。
- ・ダブルゾーンコミュニケーション中は、音質調整を行うことはできません。
- ・取付車両のサイズ、形状、スピーカー位置などによってはダブルゾーンコミュニケーション使用時にハウリングが起き、本機能を使用できない場合があります。

<ダブルゾーンコミュニケーション画面以外の表示例>



■ ダブルゾーンサウンドコントロールについて

後席(リアビジョン)のソースが「後席個別」モードのときに、前席(本機)または後席(リアビジョン)の視聴の妨げとならない音量の目安を表示します。

前席(本機)の音量が大きいときは、本機の音量調整スイッチ【-】で、後席(リアビジョン)の音量が大きいときは、別売のリモコン(RUE-RST01)でリアビジョンの音量を下げてください。

- ダブルゾーン設定画面の「後席スピーカー音量」(141ページ)でも後席(リアビジョン)の音量調整をすることができます。
- 「ダブルゾーンサウンドコントロール」(103ページ)を「ON」に設定してください。

<前席側(本機)の画面表示例>

(前席音量をVol. 16にしたとき)



(前席音量をVol. 21にしたとき)



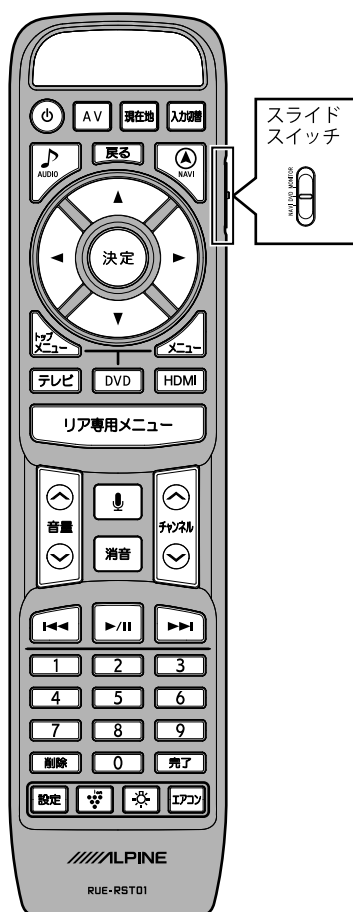
- 音量が適正値を超えると、インジケーターが赤色に変化します。

- 車種専用チューニング設定が未設定の場合には、本機能を使用することはできません。

リモコン(RUE-RST01)の使い方(1/3)

ダブルゾーン設定でリアビジョンに映し出される本機の地図画面やAVソースを別売のリモコンRUE-RST01で、リアビジョン側から走行中でも操作することができます。

- ・本機を直接リモコン操作することはできません。
- ・リアビジョンに映し出される映像によりスライドスイッチを切りかえてください。
- ・個後席個別モードまたは後席表示設定で設定したリアビジョン映像によりリモコンの操作は異なります。
- ・HDMIソースの再生操作はHDMI機器側で行ってください。
- ・リモコンの操作音は後席スピーカーから出力されます。ただし、ダブルゾーン設定を「前と同じ表示」に設定したときと音量調整操作の操作音は、前席スピーカーから出力されます。



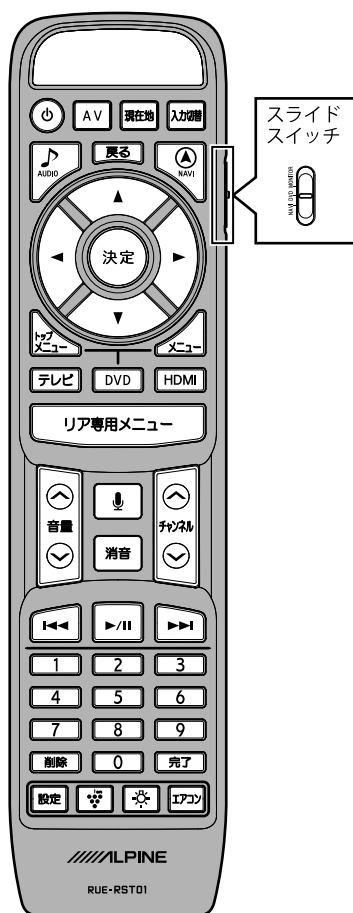
■ スライドスイッチ

【NAVI】	ダブルゾーンメニュー / 地図操作などを行う時に切りかえてください。
【DVD】	DVDソース再生中にDVD操作を行う時に切りかえてください。
【MONITOR】	リアビジョンのモニターの設定を行うときに切りかえてください。

■ 基本操作

⏻(電源)	リアビジョンの電源をON/OFFします。
AV	[地図画面表示時]: AVソース画面を表示します。 長押しするとAVソースをOFFにします。AVソース OFFの状態では長押しすると、AVソースがONに戻ります。
現在地	<後席表示設定「前と同じ表示」>: 現在地画面を表示します。 現在地画面では音声案内を出力し(ルート案内中のみ)、路線名/現在地名の表示切りかえを行います。 長押しすると路線名/現在地名の表示切りかえのみを行います。 <後席個別モード>: 行程情報表示を表示します。
入力切替	リアビジョンの入力を切りかえます。
AUDIO	AVソース選択画面を表示します。 [地図画面表示時]: AVソースメニュー画面を表示します。 [AVソース画面時]: AVソースを選ぶ画面を表示します。
戻る	一つ前の画面に戻ります。 [地図画面表示時]: 長押しすると自宅地点を表示します。
NAVI	<後席表示設定「前と同じ表示」>: ナビメニュー画面を表示します。
ジョイスティック(上/下/左/右)	画面に表示される項目を選びます。 [地図画面表示時]: 地図の移動を行います。押し続けると高速でスクロールします。
◀/▲/▼/▶	決定
決定	選択した項目を決定します。 [地図画面表示時]: スクロールした地図の地点を決定します。
トップメニュー	[DVD再生時]: DVDトップメニュー画面を表示します。
DVDメニュー	[DVD再生時]: DVDメニュー画面を表示します。
テレビ	ソースをテレビに切りかえます。
DVD	ソースをDVD/CDに切りかえます。(「HDMI接続機器選択」(103ページ)DVD/CD設定時のみ)
HDMI	ソースをHDMIに切りかえます。(「HDMI接続機器選択」(103ページ)HDMI設定時のみ)
リア専用メニュー	ダブルゾーンメニュー画面を表示します。

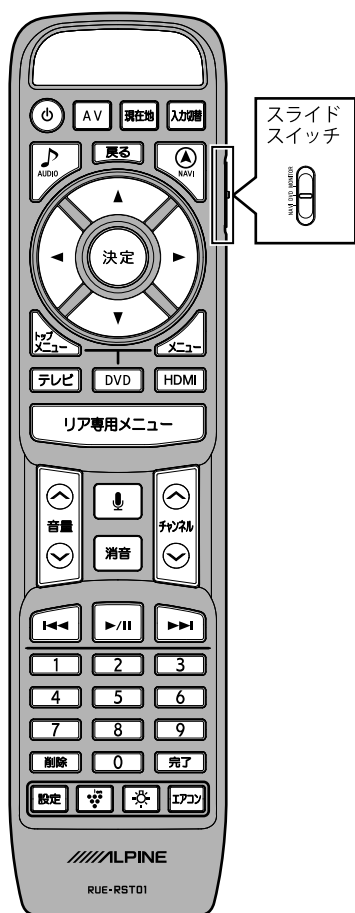
リモコン(RUE-RST01)の使い方(2/3)



音量 へ/∨	音量を調整します。 後席個別モード時は、TV・DVD・HDMIの音量(後席スピーカー)調整になります。
🔊	ダブルゾーンコミュニケーションモードに切りかわります。
消音	音量をミュートします。再度押すと元の音量に戻ります。
チャンネル へ/▶▶ (AV操作のみ)	[DVD再生時]:映像の頭出しをします。押し続けると早送りをします。 [テレビ・ラジオ]:プリセットが1つずつアップします。押し続けると連続して変化します。 [テレビ・ラジオ以外]:曲の頭出しをします。押し続けると早送りをします。
チャンネル ∨/◀◀ (AV操作のみ)	[DVD再生時]:映像の頭出しをします。押し続けると早戻しをします。 [テレビ・ラジオ]:プリセットが1つずつダウンします。押し続けると連続して変化します。 [テレビ・ラジオ以外]:曲の頭出しをします。押し続けると早戻しをします。
▶/ (AV操作のみ)	[DVD再生時/テレビ・ラジオ以外]:一時停止/再生をします。 [テレビ]:ホームモード/お出かけモードを切りかえます。押し続けるとお出かけスキャンを実行します。お出かけスキャン実行中に押すと、お出かけスキャンを中止します。 [ラジオ]:バンドを切りかえます。押し続けるとオートメモリーを行います。
1 ~ 9(※1)	数字の1 ~ 9を入力します。 [テレビ]:プリセット1 ~ 9の放送局を受信します。 [ラジオ]:プリセット1 ~ 9の放送局を受信します。長押しするとプリセットスイッチに放送局を記憶します。
0(※1)	数字の0を入力します。 [テレビ]:プリセット11の放送局を受信します。
削除(※1)	入力した文字を1つ削除します。 [テレビ]:プリセット10の放送局を受信します。
完了(※1)	数字入力を完了します。 [テレビ]:プリセット12の放送局を受信します。
設定	設定画面を表示します。 スライドスイッチ【NAVI】:本機の設定画面を表示します。 スライドスイッチ【DVD】/【MONITOR】:リアビジョン側の設定画面を表示します。
🌫 (プラズマクラスター)	プラズマクラスターのモードを切りかえます。 ・プラズマクラスター付リアビジョンのみ
💡 (ルームランプ)	リアビジョンのルームランプを一定時間点灯させます。 ・ルームランプ付リアビジョンのみ
エアコン	リアエアコン操作画面を表示します。 ・対象のリアビジョンとエアコン・コントロールユニットを取り付けた場合のみ

※1 テレビ:プリセットした放送局受信中は、ワンセグ/地上デジタル放送を切りかえます。

リモコン(RUE-RST01)の使い方(3/3)



■ 地図画面専用操作:スライドスイッチ[NAVI]

1	地図の方位(ノースアップ/3Dマップ/ヘディングアップ)を切りかえます。
2(※2)	現在地画面の、ナビ操作/オーディオ操作スイッチの表示(切換>> → OFF<< → ON>> →)を切りかえます。
3(※2)	ナビ操作スイッチの 自宅 または 路線切換 、オーディオ操作スイッチの ミュート と同じ操作です。それぞれ自宅誘導、路線切換画面表示、ミュートON/OFFを行います。
4(※2)	現在地画面のナビ操作スイッチ/オーディオ操作スイッチを切りかえます。または地図画面のランドマークの表示/非表示を切りかえます。
5(※2)	ナビ操作スイッチの お気に入り または 地点登録 、オーディオ操作スイッチの ◀◀ と同じ操作です。それぞれお気に入り周辺検索画面表示、地点登録画面表示、曲/映像/放送局等の頭出し・長押しで早戻しを行います。
6(※2)	ナビ操作スイッチの ルート または 地図設定 、オーディオ操作スイッチの ▶▶ と同じ操作です。それぞれルート画面表示、地図の表示設定、曲/映像/放送局等の頭出し・長押しで早送りを行います。
7(※2)	ナビ操作スイッチの 地図切換 と同じ操作です。地図切換画面表示を行います。
0(電話番号)	ナビメニューの「電話番号から探す」画面を表示します。
削除(周辺)	お気に入り周辺検索画面を表示します。
完了(名称)	ナビメニューの「名称で探す」画面を表示します。

※2 現在地画面に表示されているナビ操作スイッチ/オーディオ操作スイッチ(27ページ)の左から順に、リモコンの2・3・4・5・6・7が割り当てられています。

8. オプション機器 DVDを見る

別売DVDプレイヤー DVE-5300接続時は本機からDVD操作の一部を行うことができます。



- DVE-5300の取扱説明書も参照してください。
- DVE-5300とその他のHDMI入力製品を同時に接続することはできません。

1 HDMI接続機器選択画面で接続機器に「DVD/CD」を選ぶ

[**NAVI**] スイッチを押して **設定** → **各種設定** → **HDMI接続機器選択** の順にタッチし、**DVD/CD** にタッチしてください。

- HDMIまたはDVD/CD再生時は本設定を操作することができません。設定変更するときは、HDMIまたはDVD/CD以外のAVソースに切りかえてから操作を行ってください。

2 レーベル面を上にしてDVE-5300のDVD/CD挿入口にディスクを挿入する

3 [**♪ AUDIO**]スイッチを押す

4 AVソースメニューの **DVD/CD** をタッチする

- [**AV**] スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」71ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。



<ディスクを取り出すには>

1 DVE-5300の [**▲**] スイッチを押す

ディスクが排出されます。ディスクは必ず取り出してください。

8. オプション機器 DVD操作画面について(1/2)

再生中に画面をタッチすると操作画面が表示されます。



• ディスクまたは再生状態によっては、その操作を受け付けない場合があります。画面には ⊘ (禁止) マークが表示されます。

<DVDビデオ(DVD-V)・情報表示モード>



① 再生ディスク表示 再生しているディスクの種類が表示されます。

• DVD-V:
市販のDVDビデオディスクまたはビデオモードで記録されたDVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWのディスク。

② 再生情報表示 DVDの再生情報が表示されます。

• 表示内容についてはDVE-5300の取扱説明書を参照してください。



再生中にタッチすると現在のチャプターと前のチャプターの頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。

- 頭出し:
現在のチャプターの頭出しをします。続けてタッチすると前のチャプターの頭出しをします。
- 早戻し:
1秒以上タッチすると2倍速、5秒以上タッチすると8倍速、10秒以上タッチすると32倍速で早戻しします。指を離すと通常再生に戻ります。
- コマ戻し:
一時停止中にタッチするとコマ戻し再生をします。



再生中にタッチすると次のチャプターの頭出しをします。タッチし続けると早送りします。

一時停止中にタッチするとコマ送り再生をします。

- 頭出し:
次のチャプターの頭出しをします。
- 早送り:
1秒以上タッチすると2倍速、5秒以上タッチすると8倍速、10倍以上タッチすると32倍速で早送りします。指を離すと通常再生に戻ります。
- コマ送り:
一時停止中にタッチするとコマ送り再生をします。



再生を一時停止(ポーズ)します。

• 一時停止中に をタッチすると再生を開始します。



再生を停止します。

• をタッチするとディスクの初めから再生を開始します。

8. オプション機器 DVD操作画面について(2/2)

	DVD トップメニュー画面を表示します。	<ul style="list-style-type: none"> メニュー操作については  の項目を参照してください。 直接メニュー画面をタッチしても操作することができます。
	DVD メニュー画面を表示します。	<ul style="list-style-type: none"> メニュー操作については  の項目を参照してください。 直接メニュー画面をタッチしても操作することができます。
	<p>キー ON にタッチするとDVDメニュー画面を操作するスイッチを表示します。</p> 	<ul style="list-style-type: none">   :カーソルを左右に移動します。   :カーソルを上下に移動します。 10キー : 10キーを表示します。数字を入力することができます。 RETURN :前の画面に戻ります。 決定 :選択した項目を決定します。  :メニュー操作画面を終了します。 キー OFF :操作画面表示をOFFにします。 キー ON スイッチをタッチするとメニュー操作画面を表示します。  移動  移動 をタッチするとタッチスイッチを画面の上下に移動できます。
	<p>気に入った場면을繰り返し再生することができます(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> RPT CHAPTER→RPT TITLE→RPT OFF→・・・ RPT CHAPTER:チャプターリピート RPT TITLE:タイトルリピート
	再生情報が表示されます。再度タッチすると表示が消えます。	
	<p>DVDビデオのモード切換画面が表示されます。再生中に画面表示・音声・字幕言語・アングルを切りかえることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 音声 : タッチするたびにディスクに収録されている音声を切りかえます。 字幕 : タッチするたびにディスクに収録されている字幕言語を切りかえます。 アングル : タッチするたびにディスクに収録されているアングルを切りかえます。 ディスクによっては切りかえができない場合があります。
	メニュー番号・チャプター番号・タイトル番号を指定して見たいシーンを探すことができます。	<ul style="list-style-type: none"> メニュー番号のサーチ: メニュー画面表示中に操作できます。 チャプター番号のサーチ: 再生中・一時停止中に操作できます。 タイトル番号のサーチ: 停止(STOP)中に操作できます。
	ディスク初期設定画面が表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> ディスク初期設定操作は152ページを参照してください。
	画質調整画面が表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> 画質調整については114ページを参照してください。

ディスク初期設定画面について

ディスクのSetup画面を本機から操作することができます。設定内容についてはDVE-5300の取扱説明書を参照してください。



- ディスク初期設定はディスクが再生停止中のみ行うことができます。



- 1 DVDまたはCDの操作画面で、**初期設定** にタッチする

- 2 **▲ ▼ ◀ ▶** にタッチして項目を選択し、**決定** にタッチして項目を決定する

- **戻る** にタッチすると前の画面に戻ります。
- **10キー** にタッチすると10キー入力画面が表示されます。
- **移動** にタッチすると操作メニューの表示位置が変わります。
- **キーOFF** にタッチすると操作メニューの表示が消えます。画面にタッチすると再度表示されます。

8. オプション機器 CDを聴く

別売DVDプレイヤー DVE-5300接続時は本機からCD操作の一部を行うことができます。



- DVE-5300の取扱説明書も参照してください。
- DVE-5300とその他のHDMI入力製品を同時に接続することはできません。

1 HDMI接続機器選択画面で接続機器に「DVD/CD」を選ぶ

[**NAV**] スイッチを押して **設定** → **各種設定** → **HDMI接続機器選択** の順にタッチし、**DVD/CD** にタッチしてください。

- HDMIまたはDVD/CD再生時は本設定を操作することができません。設定変更するときは、HDMIまたはDVD/CD以外のAVソースに切りかえてから操作を行ってください。

2 レーベル面を上にしてDVE-5300のDVD/CD挿入口にディスクを挿入する

3 [**♪ AUDIO**]スイッチを押す

4 AVソースメニューの **DVD/CD** をタッチする

- [**AV**] スイッチを2秒以上押し続けると、ルート案内の音声・映像はそのままオーディオ・ビジュアルソースをOFFにすることができます(「AV OFF」71ページ)。同乗者が寝ている時など、車室内を静かにしたい場合に使用してください。



<ディスクを取り出すには>

1 DVE-5300の [**▲**] スイッチを押す

ディスクが排出されます。ディスクは必ず取り出してください。

8. オプション機器 CD再生画面について(1/2)

CDとMP3/WMA/AACでは操作できる内容が異なります。

<MP3/WMA/AAC・情報表示モード>



<CD・情報表示モード>



① 再生ディスク表示 MP3/WMA/AACを再生すると「Compressed AUDIO」と表示されます。

② 再生情報表示 CDの再生情報が表示されます。

・表示内容についてはDVE-5300の取扱説明書を参照してください。

再生している曲と前の曲の頭出しをします。タッチし続けると早戻しします。指を離すと通常再生に戻ります。

再生を一時停止(ポーズ)します。

・一時停止中に [] をタッチすると再生を開始します。

次の曲の頭出しをします。タッチし続けると早送りします。指を離すと通常再生に戻ります。

再生を停止します。

・ [] をタッチするとディスクの初めから再生を開始します。

MP3/WMA/AACでは聴きたいフォルダーを選ぶことができます。タッチするたびに前後のフォルダーに切りかわります。

MP3/WMA/AACでは聴きたい曲を探すことができます。リスト画面でフォルダー名と曲名をタッチします。



・ [] にタッチしてフォルダーまたはファイルを選択し、[決定] にタッチして決定することができます。

・ [] にタッチすると次のページを表示します。

・ [戻る] にタッチすると前の画面に戻ります。

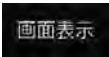












・ [移動] にタッチすると操作メニューの表示位置が変わります。

・ [キー-OFF] にタッチすると操作メニューの表示が消えます。画面にタッチすると再度表示されます。

ディスク初期設定画面が表示されます。

・ ディスク初期設定操作は152ページを参照してください。

8. オプション機器 CD再生画面について(2/2)

	再生情報の表示を切りかえます。	<ul style="list-style-type: none"> • CD: 再生情報表示ON/OFFが切りかわります。 • MP3/WMA/AAC: タッチすると表示される再生情報が切りかわります。 表示OFFにすることもできます。
	再生中の曲またはフォルダー内の曲を繰り返し再生します(リピート再生)。タッチするたびにリピート再生の種類が変わります。	<ul style="list-style-type: none"> • CD:  Track→OFF→・・・ • MP3/WMA/AAC:  File→ Folder→OFF→・・・  File: 1曲のみを繰り返し再生します。  Folder: フォルダー内の曲のみを繰り返し再生します。 • リピート再生とミックス再生は同時に使用することはできません。
	ディスク内の曲またはフォルダー内の曲を順不同で再生します(ミックス再生)。タッチするたびにミックス再生の種類が変わります。	<ul style="list-style-type: none"> • CD:  →OFF→・・・ • MP3/WMA/AAC:  Folder→ →OFF→・・・  Folder: フォルダー内の曲のみを順不同に再生します。  :ディスク内の曲を順不同に再生します。 • リピート再生とミックス再生は同時に使用することはできません。

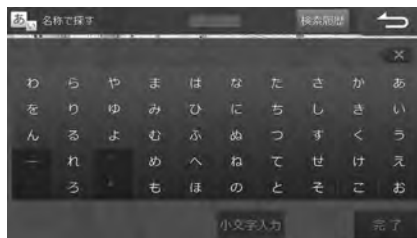
文字入力のかた(1/2)

文字の入力は登録操作や場所の検索などが必要になります。使用する機能によって表示される画面や手順が多少異なりますが基本的な入力方法は以下のとおりです。

<登録地点の名称を入力するとき>



<50音入力で施設などを検索するとき>



文字を入力する

ここでは登録地点の名称を入力する操作を例に説明します。

1 入力したい文字の種類をタッチする

- 選択できる文字種は **かな** **カナ** **英数** **記号1** **記号2** です。英数字や記号の場合は **半角** を選択できます。
- 拗音(ょ)や促音(っ)などを入力するときは **小文字** をタッチします。
- グレーアウトしているスイッチは操作できません。

2 入力したい文字や記号をタッチする

- 間違えて入力した場合は **✕** をタッチして入力しなおします。**✕** をタッチするたびにカーソルの左側から1文字ずつ文字が削除されます。**✕** をタッチし続けると入力したすべての文字が削除されます。
- カーソルは、**◀ ▶** をタッチして移動します。

3 漢字に変換する場合は **変換** をタッチし目的の漢字を表示させる

- 漢字変換しない場合は手順4へ進んでください。
- 変換前の状態に戻すには **✕** をタッチします。
- 別の漢字に変換するには、もう一度 **変換** をタッチします。
- 1つ前の漢字に戻すには **前変換** をタッチします。
- 文節区切りを変更するには **◀ ▶** をタッチします(「文節区切りを変更する」157ページ)。



4 **確定** をタッチする

- 漢字が確定されます。
- 確定したあとで修正する場合は **✕** をタッチして文字を削除し入力しなおします。**✕** をタッチするたびにカーソルの左側から1文字ずつ文字が削除されます。**✕** をタッチし続けると入力したすべての文字が削除されます。



5 **完了** をタッチする

- 文字入力を終了し元の画面に戻ります。

■ 文節区切りを変更する

変換後(確定前)に   をタッチすると変換対象とする文節の区切りを変更できます。

1 をタッチして区切り位置を変更する

-   をタッチするたびに文節の長さが1文字ずつ増減します。
- 以降の操作は156ページ「文字を入力する」の手順3に戻ります。

■ 検索履歴を使用する

以前入力した文字列を利用して入力することができます。

1 **検索履歴** をタッチする

- 以前入力した文字列がリスト表示されます。

2 リストから希望の名称をタッチする

3 **完了** をタッチする

- 選んだ文字列が入力されている状態で文字入力画面に戻ります。
- 20件を超えた場合は古いものから順に削除されます。
- 選択した検索履歴を消去するには **消去** をタッチします。すべての検索履歴を消去するには **消去** をタッチし続けます。

■ 数字を入力する

1 入力したい数字をタッチする

- 間違って入力した場合は **×** をタッチして入力しなおします。**×** をタッチするたびにカーソルの左側から1文字ずつ数字が削除されます。**×** をタッチし続けると入力したすべての数字が削除されます。
- 無効な数字や入力可能文字数以上を入力しようとするとエラーメッセージが表示されます。

2 **完了** をタッチする

- 数字入力を終了します。

困ったときは(よくあるご質問)(1/3)

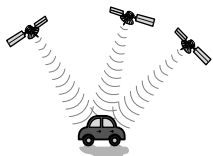
Q 自車位置って何?

A 現在、自分の車がいる場所のことです。どの画面からでも現在地(自車位置画面)を表示できます。

Q どうして自車位置(現在地)がわかるの?

A 自車位置は「GPS信号とジャイロ/車速センサー」を組み合わせたシステムで割り出します。

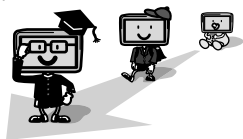
- GPS(グローバル・ポジショニング・システム)とは
高度21,000kmの宇宙空間に浮かぶ3個以上のGPS衛星の電波を受信して、自車位置を割り出すシステムです。
4個以上の衛星を受信すると3次元側位(高度/経度/緯度)となり、3個の場合は2次元(経度/緯度)となります。この情報は、米国国防総省によって管理されており、意図的に精度をかえる場合があります。



- 高い精度で使い続けるために次のような利用をおすすめします。
 - ・ ナビ画面でGPS信号が受信できていることを確認してから走行する
 - ・ 良好な信号が受信できるようにアンテナをきれいにする
 - ・ アンテナや車速信号の接続に異常がないか定期的に確認する
 - ・ やさしくしていぬいに扱う
- ジャイロ/車速センサーとは
ジャイロセンサーとは航空機や船舶などの移動体の方向変化を計測するためのもので、カーナビゲーション用に使用する場合は車速センサーと共に用います。ジャイロセンサーで方向を、車速センサーで走行距離を検出して自車位置を算出します。



- 使い始めの自車位置精度について
ジャイロ/車速センサーはその車の走行情報を蓄積しなければ本来の性能を発揮できません。今までの情報がないシステムの取り付け直後や今までの情報が生かせないタイヤ交換直後などは、自車位置が正しく表示されないことがあります。そのまま走行を続けると、センサーの情報から算出した位置とGPSの位置の誤差量を学習して次第に精度が上がっていきます。



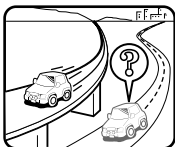
このシステムの場合、GPS信号を受信できない場合でも測位が続けられますし、ジャイロセンサーだけの走行で表われる「すれの積み上げ」も発生しないメリットがあります。

Q どうして自車位置がずれるの?

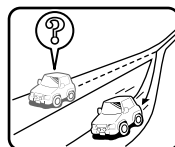
A 記憶されている車速信号情報は車やタイヤの種類で異なります。別の車に付けかえる/タイヤを履きかえる/タイヤローテーションを行うと、車速信号情報と実際の位置情報にずれが生じます。このような場合は距離補正値を一度初期化して、再度、自動距離補正を行う必要があります(「距離補正」106ページ)。

- GPS衛星は米国の国防総省により管理されており衛星自体が故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは自車位置マークがずれることがあります。多少の「ずれ」は本機性能の限界も考えられます。またGPSが受信できない場合や次のようなときにも自車位置がずれることがあります。

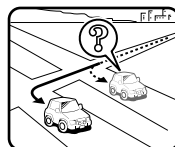
高速道路を走行している場合、その側道に自車位置マークがのるときがあります。またその逆もあります。



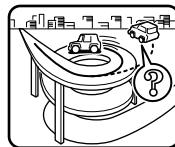
角度の小さなY字路や平行路を走行しているとき他方の道路に自車位置マークがのる場合があります。



基盤目状の道路を走行している場合、隣りの道路に自車位置マークがのるときがあります。



螺旋状の道路やヘアピンの道路などを走行している場合、自車位置マークがずれるときがあります。



勾配の急な山岳等を走行している場合、自車位置マークがずれるときがあります。



雪道や舗装していない道路などの滑り易い道路を走行しているとき、自車位置マークがずれることがあります。また、タイヤチェーン等を装着して走行している場合でも、自車位置マークがずれることがあります。



以下の場合には故障ではありません。そのまましばらく走行を続けると自動的に修正します。

- ・ 直線または緩やかなカーブを長い距離走行した直後。
 - ・ 立体駐車場などで切り返しや旋回をした場合。
 - ・ 混雑や渋滞で低速発進や停止を繰り返した場合。
- ただし、高速道路と一般道路が重なっているときなどでは自動的に修正できない場合があります。このようなときは、自車位置を修正してください(「自車位置修正」107ページ)。また、経路誘導中の場合は路線切換(「路線切換」27ページ)を行ってください。

Q 画面上に表示された「十字カーソル」を消すには?

A 地図をスクロールしたときの「十字カーソル」を消すには、[現在地]スイッチを押して現在地画面に戻してください。

Q 止まっているのに、どうして自車位置が勝手に動き回るの?

A 車速の接続が正しいか確認してください。接続が正しいときは、スピードセンサーコード(車速信号線)にノイズが乗っている可能性があります。ナビのACCやバッテリーコードにノイズサプレッサーを入れたり、スピードセンサーコードを車両配線から離してください。

Q 正しい案内がされなくなった

A 以下の事項を確認してください。

- タイヤを交換していませんか?
タイヤ交換後、記憶されている車速信号情報と実際の位置情報にずれが生じてしまう場合がありますが、走行すると自動で補正されます。それでもずれが生じる場合には、距離補正値を初期化してください(「距離補正」106ページ参照)。
- スピードセンサーコード(車速信号線)は外れていませんか?
「車両情報」(131ページ)で確認し、お買い上げの販売店へご相談ください。
- GPSアンテナを確認する。
「車両情報」(131ページ)で確認し、お買い上げの販売店へご相談ください。

Q 音声案内が遅れるのは?

A 自車位置と現在地に誤差が生じるためです。
本機は距離係数などを学習し、自動補正を行いますので、走行するたびに自車位置精度が向上していきます。どうしても案内が遅れる場合には手動補正する必要があります(「距離補正」106ページ)。

9. 付録

困ったときは(よくあるご質問)(2/3)

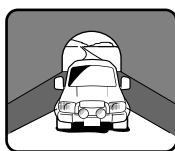
Q VICS渋滞情報の一部がいつのまにか表示されなくなった

A 道路交通情報をナビゲーションなどに的確に表示できるよう、VICSリンク(主要交差点毎に道路を区切った単位)というデータ方式を採用しています。このため、道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況に変化をきたす場合は、VICSリンクの追加や変更を行います。この結果、新しいVICSリンクにより情報の提供が行われると、ごく一部の地域ですが、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。

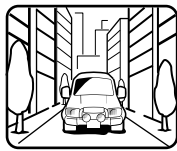
ただし情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクにも変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。そのため、地図ソフトの発売時期から3年間程度経過すると、地図画面上で渋滞情報(赤・橙・緑色の矢印等)などを表示できない場所が徐々に出てきます。この現象はVICS地図表示でのみ発生します。VICSリンクは随時更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめします(本製品の道路単位は2016年11月版です)。

Q どうしてGPSが受信できないの?

A GPSアンテナ近くで携帯電話などを使用したり、次のような場所ではGPSが受信できないことがあります。



トンネルの中



高層ビル等の間



高架道路の下



樹木の間

- ルーフキャリアなどの使用時には、GPS衛星の電波がさえぎられて自車位置を測位できなくなることがあります。このようなときは、アンテナとルーフキャリアを離して設置してください。
- ナビ本体のアースの接続は確実でしょうか?
お買い上げの販売店へご相談ください。

Q ナビゲーションを高い精度で使うには?

A 使いはじめなどは、受信感度の良い状態で100km以上走行することをおすすめします。

Q VICSサービスの提供区域なのに受信されない

A VICSサービスの提供区域は、全都道府県の区域でおおむねNHK-FM放送を受信することができる範囲です。ただしサービスの提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用できない場合があります。

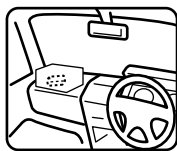
Q どうしてFM多重放送やVICS情報が受信できないの?

A FM多重放送は、FM放送の音声のすき間にVICS情報を盛り込みます。利用する場合は、情報を提供している放送局に周波数を合わせる必要があります。また、情報を取り込んでから表示するので、受信状態になるとすぐに表示されるわけではありません。受信しにくいときは、受信エリアの確認をしてください。
さらにVICSには、狭い範囲を対象にした「光ビーコン」「電波ビーコン」「ITSスポット」があります。(本機は電波ビーコンには対応していません。)

この情報は次のようなとき受信できないことがあります。



大型車と並走



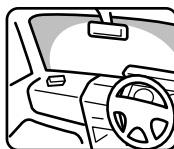
アンテナの上に物を置く



高速高架道路の下



雪などの悪天候



アンテナ受光部の汚れ
フロントガラスの汚れ

- ・ 高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路のITSスポットから情報を受信してしまう場合があります。

Q VICSの渋滞情報ってなに?

A VICS渋滞情報は、地図上に渋滞地点や渋滞区間を「矢印」で提供します。方向は矢印で、混み具合は色(渋滞は赤)で表します(「渋滞情報や道路交通情報マークの表示例」56ページ)。

Q ルートを外れたらどうするの?

A ルートの外れには「測位誤差」によるもの「運転ミス」によるものの二つがあります。ルートを走行中に自車位置が近接する道路に移動してしまうのが「測位誤差」によるものです。
この場合はそのまま走行を続けると自車位置は「本来の道路」に戻ってきます。
案内している交差点で曲がらなかったときなどの間違いによるルートの外れは、リルート機能によって「新たなルート」を自動的に探し出してくれます(「リルートについて」31ページ)。

Q ルートを消すにはどうするの?

A ルートは目的地周辺で案内を終了しますが、目的地情報は残ります。また、目的地への接近が少ないいつまでも目的地への案内を続けます。
これらを消す場合は、ナビメニュー画面でルートを消去してください(「ルート消去」43ページ)。

Q ルートは記憶できないの?

A ルートを記憶させることはできません。

Q ルート探索対象道路は?

A ルート探索対象道路は道幅が5.5m(一部3.0m)より広い道路となります。

Q ルート探索のコツってなに?

A いろいろ使い方がありますが、下記は周遊コース設定のコツの一例です。
2泊3日の旅行で出発地に戻ってくる場合は以下の操作を行います。
1) 出発地(自車位置)を目的地に設定します(当然コースは表われません)。
2) 立ち寄る地点(経由地)をすべて設定します(31 ~ 33ページ)。
3) 自車位置から2泊3日のコースを確認します。
各経由地を宿泊地にしておくと、それぞれの日の走行距離を知ることができます。

困ったときは(よくあるご質問)

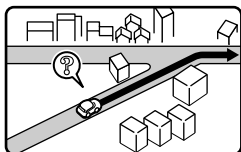
付録

Q こんなルートは故障なの？

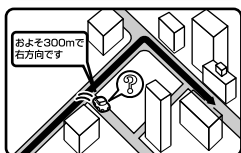
A ルート探索やルート案内において、次のような場合がありますが故障ではありません。

- ・ 冬の閉鎖・歩行者天国・時間規制などで通行できない場合
- ・ 新道の開通などにより通行できない場合
- ・ 実際に通行できない道を表示する場合
- ・ 再探索してもルートがかわらない場合
- ・ ルートが渋滞している場合
- ・ 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は目的地から離れた所までしかルート表示しない場合
- ・ 高速優先であっても、高架下の一般道路の案内を行う場合または逆の場合
- ・ Uターンするルートを表示する場合

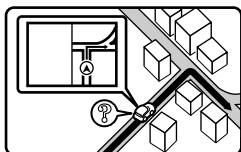
交差点で、案内されない場合があります。
また、交差点名称が案内されない場合もあります。



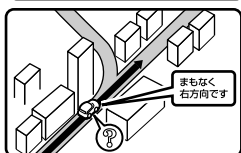
手前の交差点等で曲がったときなど音声案内される場合があります(案内ルートを外れた場合)。



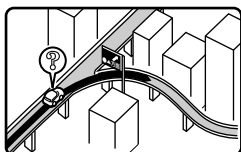
交差点拡大図が実際の道路形状と異なる場合があります。



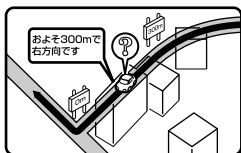
右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。



高速/有料道路で方面案内が表示/案内されない場合があります。



案内距離が実際の道路状況と異なる場合があります。



Q 思い通りのルートを引くには？

A ナビが自動で設定したルート以外の道を通して目的地まで行きたい場合は、利用するインターチェンジ(IC)を変更したり、通りたいルート上に経由地を追加すると、その地点を通るルートに変更することができます。経由地は最大で5箇所まで指定できます(31～33ページ)。

Q 時計(現在の時刻)がずれたら？

A 本機の時計表示はGPS情報から時間を算出していますので、時計表示がずれることはありません。ただし長い期間GPSが受信されない状態が続いた場合は時計がずれることがあります。GPSが受信されると正常な時間表示に戻ります。GPSを受信していてもずれている場合は本機を点検に出してください。

Q バッテリーを外してもメモリーは消えないの？

A 地点情報、設定(サウンド調整を除く)、ルート学習・渋滞学習、電話帳などは消えません。

Q どうして夜画面がちらつくの？

A 電圧が低いときは画面がちらつくことがあります。

Q 駐車場マークを消すにはどうするの？

A 駐車場マークには、ランドマークとVICS情報マークがあります。地域によっては駐車場マークが画面いっぱいに表示され、地図が見づらくなる場合があります。95、96ページを参照して駐車場マークを消してください。

トラブルシューティング(故障かな?と思ったら)(1/3)

操作のミスや勘違いを故障と間違えていませんか?



下の表をご覧ください。



お買い上げ店またはお近くのお問い合わせ窓口(裏表紙)までご相談ください。

操作中に停止したままになったり、画面が暗くなるなど正常に動作しなくなった場合は、一度エンジンキーをOFF/ONしてください。それでも正常動作しない場合は以下の表を参照して処置を行ってください。

<ナビゲーション関係>

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	ヒューズが切れている	所定容量のヒューズと交換する	
	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にする	
	結露している	しばらく(1時間程度)放置し、乾いてから使う	
	正しく接続されていない	取付説明書を参照して正しく接続されているか確認する。また、コードなどが極端に折れ曲がっていないか確認する	
	内部のマイコンがノイズなどの原因で誤動作してしまった	一度エンジンをOFF/ONし、本機をリセットする	
画面がふらつく	電圧が低い	車両のバッテリーや充電系を点検する	
走行しても地図が動かない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	5ページ
自転車位置を正しく測定できない	ACCが「OFF」になってから自転車位置が変わった フェリーポートによる移動 駐車場のターンテーブルによる回転 レッカー車による移動等	GPS信号受信状態(測位状態)でしばらく走行する	
自転車位置マークが表示されない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	5ページ
GPS信号が受信できない	GPS情報を利用できない状態である	周囲に障害物がない所へ移動する	
	GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている	電話の使用をやめる	
	GPSを利用したレーダー探知機を使っている	本機のGPSアンテナと離して使用してください	
自転車位置の誤差が大きい	衛星の配置が悪い	衛星の電波が受信しやすい場所へ移動する	
	2次元測位をしている		
	車速(スピードセンサーコード)が正しく接続されていない	取付説明書を参照して接続を確認してください	
データが保存できない	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にしてから保存する	
タッチスイッチがグレーになり操作できない	操作できないタッチスイッチをタッチした	車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作する。また、状況・設定などにより、操作できないスイッチがある場合があります	
音声案内が出力されない	音声案内の音量が小さく(音声OFF)になっている	音量を大きくする	115ページ
案内音量が大きすぎる/小さすぎる	案内音量が調整されていない	音量を調整する	115ページ
画面が見にくい	画面のコントラストや明るさ調整が不適正である	コントラストや明るさを調整する	114ページ
VICSまたはブラウザ読み上げ音声出力されない	音声読み上げの設定が「しない」になっている	VICSまたはブラウザでの音声読み上げ設定を「する」にする	102ページ
VICSまたはブラウザ読み上げ音量が大きすぎる/小さすぎる	音声読み上げ音量が調整されていない	音量を調整する	115ページ
VICSで受信した文字・図形などの情報を表示できない	VICSの情報として送出されていない	地区等により送出される情報は異なる	
	VICSの放送エリア外である	VICSの放送エリアに移動する	
	放送局の周波数が合っていない	受信可能な放送局に周波数を合わせる	130ページ
	データの取り込みが完全ではない	更新データを受信するまで待つ	
VICS情報(渋滞、規制、駐車場)の地図表示ができない	「VICS設定」でこれらの表示条件が表示しない設定になっている	「する」に設定する	96、102ページ
	VICSの放送エリア外である	VICSの放送エリアに移動する	

トラブルシューティング(故障かな?と思ったら)(2/3)

症状	原因	対処	参照ページ
VICS渋滞が考慮探索されない	「アクティブルートサーチ」が「しない」の設定になっている	「する」に設定する	100ページ
VICS情報の表示が乱れる	電波や光の情報がうまく受信されない	情報を受信次第表示が更新されます	
VICSの時間が時刻と違う	時計ではなく、表示中のVICS情報の提供時刻を示しています VICS情報を長時間受信していない場合は古い時間が表示されます	情報を受信次第更新されます	
有料道路に目的地/ 経由地を設定できない	付近の一般道路に目的地/経由地が設定されている	目的地/経由地の属性を「有料」に変更する	43ページ
NaviConがOnlineにならない	iPod/iPhoneのBLUETOOTH接続が「ハンズフリー」で設定されていない	「ハンズフリー」または「ハンズフリー+オーディオ」でBLUETOOTH接続を行う	60、118 ページ
	iPod/iPhoneが本機のUSB端子に接続されている	iPod/iPhoneを別売の接続ケーブルから外す	
	Androidスマートフォン側の接続先設定がされていない	Androidスマートフォンで、NaviConの接続先設定を行う	69ページ
メンテナンス機能でお知らせ設定(距離)をしても残距離が減らない	走行距離を計測するための車速パルス(スピードセンサーコード)が正しく接続されていない。	取付説明書を参照してスピードセンサーコードが正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する	

一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げの販売店に問い合わせてください。

<システム/オーディオ・ビジュアル関係>

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	ヒューズが切れている	所定容量のヒューズと交換する	
	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にする	
	結露している	しばらく(1時間程度)放置し、乾いてから使う	
セキュリティコードを忘れてしまい、セキュリティを解除できない	—	お客様登録したうえでアルパインインフォメーションセンターにご相談ください	裏表紙
映像が不鮮明になったり、雑音が入ったりする	電波が弱い	他の場所に車を移動して再確認する	
	バッテリー電圧が低下している	バッテリー電圧/バッテリー液量/バッテリー液比重および配線を確認する(負荷状態で11ボルトを下回ると誤動作の原因となります)	
映像が出ないまたは動きが悪い	車室内の温度が低い	車室内の温度を常温にする	
映像に斑点やしみ模様が出る	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、自動車などからの影響	妨害電波を受けない場所に車を移動する	
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります	故障ではありませんので、そのままご使用ください	
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるもの	故障ではありません。しばらくそのままお待ちください	
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるもの	故障ではありません。しばらくすると安定します	
音が出ない	音量の調整不良	音量スイッチを押して確認する	26ページ
片側のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードが外れている	スピーカーコードの接続を確認する	
	音量の調整不良	左右音量調整をして確認する	110ページ
サブウーファーから音が出ない	サブウーファーの設定がONになっていない	「サブウーファー設定」をONにする	111ページ
	後席個別DVDモード、後席個別TVモード、または後席個別HDMIモードになっている	後席個別モード時はサブウーファーからは音が出ませんが、故障ではありません	141ページ
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送やディスクに含まれていない	放送やディスクを変更して確認する	

トラブルシューティング(故障かな?と思ったら)(3/3)

症状	原因	対処	参照ページ
映像も音も出ない	オーディオ・ビジュアルモードがOFFになっている	AV OFFモードを解除する	71ページ
	接続コードの接続が不完全	各接続コードの接続を確認する	
MP3/WMA/AACが再生されない	書き込みに失敗している/対応フォーマット以外で書き込まれている	書き込みに失敗していないか確認する。または、「MP3/WMA/AACについて」を参照し、本機対応のフォーマットで書き込みを行う	169ページ
放送局が受信できない/雑音が入る(ラジオ)	アンテナが接続されていない(ラジオ)	アンテナが確実に接続されているか確認する(ラジオ)	
	放送局の周波数(チャンネル)が合っていない	周波数(チャンネル)を正しく合わせる	81ページ
	周りに障害物などがあり、受信状態が良くない	見通しが良いところに移動する	
自動的に放送局を選べない(ラジオ)	電波の弱い地域にいる	手動で受信する	81ページ
テレビ放送が受信できない	テレビ放送用のアンテナが接続されていない	添付のテレビ放送用のアンテナを接続する	
	B-CASカードが正しく挿入されていない	B-CASカードを挿入する	
	放送が行われていない	他のチャンネルを選ぶ	
映像にブロックノイズが出る(テレビ)	電波状態が悪い	場所を移動する	
	アンテナが外れている	アンテナの接続を確認する	
映像に字幕が出ない(テレビ)	字幕が設定されていない	字幕を設定する	78ページ
	字幕情報のない番組を視聴している	字幕情報のある番組を視聴する	
映像がモザイク状になる(テレビ)	電波状態が悪い	他の場所に車を移動する	
iPodが再生しない/iPodの音が出ない	iPodが認識されていない	iPodをリセットする iPodのリセットについては、iPod側のユーザーズガイドを参照してください	
ウォークマン® の音が小さい	ウォークマン®の「ソース別音量調整」が14ステップになっていない	ウォークマン®の音量レベルを必ず14ステップにする	111ページ
映像または音が出ない(HDMI)	本機対応以外の規格で出力設定されている	HDMI機器の出力設定を確認し、本機対応の規格に設定する	168ページ
	HDMI機器から映像/音声出力されていない	HDMI機器側で出力設定を行う 一度HDMI機器のOFF/ONを行う HDMI機器が画面OFFになっている場合は、HDMI機器を操作して画面を表示する	
	HDMI機器がBLUETOOTHオーディオ機器として、本機またはそれ以外の製品に接続されている	BLUETOOTHオーディオ接続を解除する	117ページ
ハンズフリー通話中にエコー(残響音)やハウリングが起こる	本機側の受話音量が大きすぎる	受話音量を小さくする	62ページ
ハンズフリー通話中、相手側の音声聞き取りにくい	自分と相手側が同時に発声している	お互いに一呼吸おいて交互に通話してください	
	受話音量が小さい	受話音量を大きくする	62ページ
携帯電話・スマートフォンが充電できない	正しく接続されていない	取付説明書を参照して正しく接続されているか確認する。また、アルバイホームページでお使いの機種情報を参照してください	
リアビジョンに映像が出ない	リアビジョンが正しく接続されていない	取扱説明書を参照して、正しく接続されているか確認する。また、エンジンACC OFF/ONする リアビジョン製品に添付されているリモコンでリアビジョン側の映像出力を切りかえる。切りかえ方法については、リアビジョン側の取扱説明書を参照してください	
Wi-Fi通信がつながりにくい	AP(アクセスポイント)側の設定が5GHz帯になっている	アクセスポイント側の設定を2.4GHz帯に変更してください	
	Bluetooth接続をしている	Bluetooth接続を解除してください	64ページ

トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)(1/4)

<表示メッセージ(システム)>

メッセージ	原因	対処	参照ページ
データの読み込みに失敗しました メディアを確認してください	USBメモリーの地図更新データ読み込みに異常が発生した	一度USBメモリーの抜き差しを行い、再度更新を行う。それでも直らないときは、再度データ取得を行ってください	
車種専用チューニング中は操作できません チューニング完了後に再度操作を行ってください	車種専用チューニング中に 音質調整 、 リアビジョン/アロマ 、 ダブルゾーン にタッチした	車種専用チューニングが完了後に操作してください	
車種専用データが破損しています 再度ダウンロードしてください	ダウンロードしたコンテンツデータ、もしくはUSBメモリーへ保存したコンテンツデータが破損している	一度USBメモリーの抜き差しを行い、再度更新を行う。それでも直らないときは、車種データファイルを再度ダウンロードし、車種専用チューニング操作を行ってください	
車種専用チューニングに失敗しました	車種専用チューニング中にUSBメモリーを取り外した	再度チューニング操作を行う	112、180 ページ
車種データの読み込みに失敗しました	車種データが破損している	車種データファイルを再度ダウンロードし、車種専用チューニング操作を行う	112ページ
プログラムアップデートに失敗しました 再起動を行います	BLUETOOTHファームウェアのアップデートに失敗した	一度USBメモリーの抜き差しを行い、再度更新を行う	
Bluetooth機能は使用できません 詳細はサービスセンターへお問い合わせください	BLUETOOTHファームウェアが正常に動作しない	お問い合わせ窓口にご相談ください	裏表紙
この地図差分更新データは使用できません USBメモリーを確認してください	使用できない地図差分更新データが格納されている	データを削除して、地図差分更新データを再度ダウンロードしてください 一度USBメモリーの抜き差しを行い、再度更新を行う。それでも直らないときは、再度データ取得を行ってください	
データの読み込みができないため操作できません	なんらかの原因で本機の地図データにアクセスエラーが発生した	お問い合わせ窓口にご相談ください	裏表紙
データを更新するため再起動します	アクセスエラー	自動的に再起動します	
データの読み込みができません 詳細はサービスセンターへお問い合わせください	アクセスエラー後に復帰しない。本機の地図データが破損している	お問い合わせ窓口にご相談ください	裏表紙
携帯電話を確認してください	携帯電話が正しく接続されていない	携帯電話の接続と、「BLUETOOTH設定」を確認してください	60、117 ページ
ETCカードか車載器を確認してください	ETCカードやETC車載器のシステムエラーが発生した	ETCカードを抜き差ししてください	
セットアップされていません	接続されているETC車載器またはETC2.0車載器のセットアップが完了の場合に表示される	販売店にてセットアップを行ってください	
カードかETC2.0車載器を確認してください	ETCカードやETC2.0車載器のシステムエラーが発生した	ETCカードを抜き差ししてください	
ETC2.0車載器がセットアップされていません	接続されているETC2.0車載器のセットアップが完了の場合に表示される	販売店にてセットアップを行ってください	
走行中は安全のため操作できません	走行中にメニュー操作を行った	車を安全な場所に移動し、必ず停車後パーキングブレーキを引いてから操作する。停車している状態でも変わらない場合は、取付説明書を参照して、スピードセンサーコードが正しく接続されているか確認する	

トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)(2/4)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
ETC2.0の接続ができませんでした	ETC2.0でのインターネット接続が可能なエリアではない	ETC2.0でのインターネット接続が可能なエリアに移動する	
メモリ不足のため致命的なエラーが発生しました エンジンをOFF/ONしてください	ブラウザ機能でページ閲覧操作中にメモリが不足した	一度エンジンをOFF/ONする	
Wi-Fi接続中/接続試行中は操作できません Wi-Fi設定からWi-Fiを切断するか接続試行が終了するまでお待ちください	Wi-Fi接続/接続試行をしている状態でETC2.0のブラウザ機能の情報閲覧を行った	接続中のWi-Fi通信機器を「切断」するか、接続試行が終了するまで待つてから、再度、ETC2.0のブラウザ機能の情報閲覧を行ってください	120ページ
アップデートに失敗しました メディアを抜かずにエンジンをOFF/ONしてください アップデートが再開します	メディア(USBメモリ)でのプログラムアップデート中にエラーが発生した	メディアを抜かずに、エンジンをACC OFF/ONする	
オープニング画像が破損しています オープニング画像設定画面から書き換えをしてください	ダウンロードしたオープニング画像データ、もしくはメディア(USBメモリ)へ保存したオープニング画像データが破損している	オープニング画像データを再度ダウンロードし、オープニング画像設定画面から書きかえをしてください	112ページ
ログアップロードを使用できません 詳細はサービスセンターへお問い合わせください	ログデータアップロード時のログファイル読み込み、書き込みエラー	お問い合わせ窓口にご相談ください	

<表示メッセージ(ナビゲーション関係)>

メッセージ	原因	対処	参照ページ
ルート計算できませんでした 目的地を幹線道路付近にセットしてください	目的地を指示したとき、周辺に道路がなくルート探索ができない	付近の主要道路にカーソルを合わせ、再度目的地を指示する	
これより広域の地図ではVICS情報を表示できません	10m ~ 1kmスケールの地図を表示中に2kmスケールの地図にした	地図スケールを1km以下の詳細な地図に切りかえる	5ページ
情報受信につつきしばらくお待ちください	FM多重放送やVICS情報を受信していない	しばらくしてもメッセージを表示する場合は選局し直してください	
情報がありません	FM多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していない	他の放送局を選局する	
ETCゲートを通行できません	通信エラーまたはETC車載器/ETC2.0車載器のエラー	料金所の係員の指示に従ってください	
切り換える道路がありません	路線切換操作を行ったときに、近くに切り換えられる有料道路または一般道路が存在しない	他の場所で路線切換操作を行う	27ページ

<表示メッセージ(オーディオ・ビジュアル関係)>

メッセージ	原因	対処	参照ページ
携帯電話を確認してください	携帯電話・スマートフォンが正しく接続されていない	携帯電話の接続と、「BLUETOOTH 設定」を確認してください	60、117 ページ
ネットワークのエラーにより通信できません 安全な場所に停車してWi-Fi機器側の状態をご確認ください	Wi-Fi通信設定が正しく設定されていない	「Wi-Fi通信機器設定」を確認してください	119ページ
		Wi-Fi通信機器接続を切断し、再度接続する	120ページ
		AP(アクセスポイント)の11h Management Frame bitを1に、Data Rate設定を8以下にそれぞれ設定してください。設定方法については、Wi-Fi通信機器の取扱説明書をご覧ください	
USBの接続を確認してください	接続エラー	一度本機からUSBメモリーを外し、再接続する	88ページ
iPodとの通信ができません 接続を確認してください	通信エラー	一度本機からiPod/iPhoneを外し、再接続する	84ページ
B-CASカードが正しく挿入されていません またはB-CASカードの端子部が汚れている可能性があります 乾いた布で軽く拭いてください	B-CASカードが奥までしっかり入っていない／前後逆向きに入っている／表裏逆向きに入っている／金色端子部が汚れている	添付のB-CASカードを正しく挿入する。または金色端子部を乾いた布で軽く拭く。それでも直らないときは、B-CASカードのテストを行ってください テストに成功した場合アルパインインフォメーションセンターへお問い合わせください テストに失敗した場合B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください	73、79 ページ
このB-CASカードは使用できません	B-CASカードが故障している、または交換の必要がある	添付のB-CASカードを正しく挿入する それでも直らないときは、B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください	73ページ
B-CASカードの交換が必要です			
B-CASカードに必要な情報がありません	B-CASカードが故障している、または使用できないB-CASカードが挿入されている	添付のB-CASカードを正しく挿入する それでも直らないときは、B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください	73ページ
B-CASカードのセキュリティ情報にエラーを検出しました			
このB-CASカードでは視聴できません	B-CASカードが対応していない受信方式のチャンネルを選局した	受信可能なチャンネルを選ぶ	
有料放送のため視聴できません	有料放送を受信している	本機では有料放送には対応していないため、受信可能なチャンネルを選ぶ	
データを取得できません	データ放送において閲覧対象のコンテンツが取得できない	再選局を行う	
双方向サービスには対応していません	データ放送受信時に双方向サービス対応のコンテンツ操作を行っている	双方向サービスには対応していないため、双方向サービスではないデータ放送コンテンツを選ぶ	
受信できません	存在しないチャンネルを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
ワンセグ放送がありません	ワンセグ放送を行っていないチャンネルでワンセグ放送を受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
ワンセグ放送のみ受信可能です	受信状態が悪く地上デジタル放送は視聴できない状態であるが、ワンセグ放送であれば視聴可能であるチャンネルを視聴した	ワンセグ放送を視聴する 地上デジタル放送が視聴可能な場所へ移動する	

トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)(4/4)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
未対応のサービスです	本機で対応できないサービスを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
放送チャンネルではありません	放送用のチャンネルではないチャンネルを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
このチャンネルは放送を休止しています	定常サービス／臨時サービスにおいて、CHは存在しているが、番組が放送されていないチャンネルを受信しようとした	受信可能なチャンネルを選ぶ	
TVのスクャンで受信できませんでした	ホームスキャン／お出かけスキャン完了後に、受信可能な放送局が全く無かった場合に表示される	テレビ放送が受信可能な場所へ移動して、再度スキャンを実施する	
	情報更新完了後に一つも番組情報を取得できなかった	テレビ放送が受信可能な場所へ移動して、再度情報更新を実施する	
TVの自動サーチを中止します	TVの自動サーチ中にGPS衛星情報が受信できなくなり、自車位置を測定できない	GPS衛星の電波が受信しやすい場所へ移動する	
情報が取得できなかった番組があります	情報更新完了後に一部番組情報を取得できなかった放送局があった	テレビ放送が安定して視聴可能な場所へ移動し、再度情報更新を実施する	76ページ
チューナーの異常高温を検出しました TVの表示ができません 車内の温度が下がるまでお待ちください	車内温度が高すぎる	車内温度を常温まで下げる	
TVのアンテナ接続に不具合があります 接続をもう一度確認してください	テレビのアンテナがショートしている	テレビのアンテナの接続方法を確認してください	
HDMI外部機器との通信ができません 機器との接続確認または映像の出力操作を行ってください	HDMI機器が正しく接続されていない	一度本機からHDMI機器を外し、再接続する／HDMI機器側の出力設定を行う	
HDMI外部機器の電源ラインに異常が発生しました 接続をもう一度確認してください	接続エラー	一度本機からHDMI機器を外し、再接続する	
非対応データのため再生できません	対応フォーマット以外の映像・音声データになっている	「HDMIについてのご注意」を参照し、本機対応のデータを再生する	168ページ
HDMIモニターとの通信ができません。モニターとの接続確認またはエンジンをOFF/ONしてください	接続エラー	エンジン(ACC)をOFF/ONする。またはHDMI対応モニター側のHDMI接続ケーブルを確認する	
接続HDMIモニター数がオーバーしています 接続を確認してください	HDMI対応モニターが4台以上接続されている	分配器を1台／HDMI対応モニターの接続数を4台以内にする	
	分配器を2台以上使用したカスケード(多段)接続になっている		
HDMI外部機器との電源ラインに異常が発生しました 接続をもう一度確認してください	接続エラー	エンジンをACC OFF/ONする	
異常高温を検出しました 車内の温度が下がるまでお待ちください	車内温度が高すぎる	車内温度を常温まで下げる	

操作中の画面にはいろいろなメッセージが表示されます。メッセージには現在の状態を知らせたり次の操作をガイドしたりするもののほか、上記のようなエラーメッセージを表示する場合があります。上記のエラーメッセージが表示された場合は「対処」の内容をよくお読みになり、その指示に従ってください。

AVソースメディアについての注意

HDMIについてのご注意

本機で対応しているHDMI規格は次の通りです。下記以外の動作保証および性能保証はいたしかねます。

- 映像規格
 - 入力解像度: 720p/480p/480i/VGA
 - 出力解像度: 480p/720p
- 入力音声規格
 - サンプリング: 32kHz/44.1kHz/48kHz
- 出力音声規格
 - サンプリング: 44.1kHz

USBメモリーについてのご注意

<再生できるUSBメモリーについて>

- 本機はUSB Mass Storage Class 対応のUSBメモリーを操作できます。
- USBメモリーは、USBメモリー規格に準拠したメモリーをご使用ください。
- 対応USB規格
 - USB 1.1/2.0
- 対応ファイルシステム
 - FAT 16/32
- 供給電圧
 - 5V
- 再生可能フォーマット一覧

本機対応のフォーマットで記録されたデータのみ再生することができます。「本機対応のフォーマットについて」(169ページ)を参照してください。

 - MP3フォーマット("mp3")
 - WMAフォーマット("wma")
 - AACフォーマット("m4a")

<再生できないUSBメモリー>

- ハブ付USBメモリーは再生できません。またUSBハブも接続対象外です。

<取り扱い上のご注意>

- USBメモリーの動作保証はしておりません。ご使用の際にはUSBメモリーの使用条件内でのご利用をお願いします。USBメモリーの取扱説明書もよくお読みください。
- また以下のような場所での使用や保存は避けてください。
 - 高温になった車内や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
 - 特に以下の点について十分に注意してください。
 - 車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、USBメモリーが劣化し再生不能となる場合があります。
- USBメモリーは運転に支障をきたさない場所に固定してください。
- USBメモリーは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- USBメモリー規格に準拠したUSBメモリーを使用しても、USBメモリーの種類や状態により正常に動作できない場合があります。
- USBメモリーの種類や記録状態、エンコードソフトの設定によっては再生や表示ができない場合があります。
- コピープロテクト(著作権保護)されたファイルは再生できません。
- 複数のパーティションを持つUSBメモリーはサポート対象外です。
- セキュリティ機能を持つUSBメモリーはサポート対象外です。
- 大切なデータはパソコン等を用いてバックアップを取っておくことをおすすめします。

iPod/iPhoneについてのご注意

<再生できるiPod/iPhoneについて>

- 本機で対応しているiPod/iPhone は次の通りです。これ以前のバージョンの動作保証および性能保証はいたしかねます。
 - iPod touch(第5世代) 32GB/64GB: Ver.9.3.3
 - iPod touch(第4世代) 8GB/32GB/64GB: Ver.6.1.6
 - iPod touch(第3世代) 8GB/32GB/64GB: Ver.5.1.1
 - iPod touch(第2世代) 8GB/16GB/32GB/64GB: Ver.4.2.1
 - iPod touch(第1世代) 8GB/16GB/32GB: Ver.3.1.3
 - iPod nano(第7世代) 16GB: Ver.1.0.4
 - iPod nano(第6世代) 8GB/16GB: Ver.1.2
 - iPod nano(第5世代) (video camera) 8GB/16GB: Ver.1.0.2
 - iPod nano(第4世代) (video) 8GB/16GB: Ver.1.0.4
 - iPod nano(第3世代) (video) 4GB/8GB: Ver.1.1.3
 - iPod classic 80GB/160GB: Ver.1.1.2
 - iPod classic 120GB: Ver.2.0.1
 - iPod(第5世代) (video) 60GB/80GB: Ver.1.3
 - iPod(第5世代) (video) 30GB: Ver.1.3

- iPhone 6 Plus 16GB/64GB/128GB: Ver.9.3.3
- iPhone 6 16GB/64GB/128GB: Ver.9.3.3
- iPhone 5S 16GB/32GB/64GB: Ver.9.3.3
- iPhone 5C 16GB/32GB: Ver.9.3.3
- iPhone 5 16GB/32GB/64GB: Ver.9.3.3
- iPhone 4S 16GB/32GB/64GB: Ver.9.3.3
- iPhone 4 16GB/32GB: Ver.7.1.2
- iPhone 3GS 16GB/32GB: Ver.6.1.6
- iPhone 3G 8GB/16GB: Ver.4.2.1

- ご使用のiPod 製品名を確認するには、アップルのホームページをご覧ください。
- 最新の接続確認情報は、アルパインホームページをご覧ください。

<取り扱い上のご注意>

- iPod/iPhoneの機能については、iPod/iPhoneユーザーズガイドを参照してください。
- 車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときにiPod/iPhone を車内に放置すると、iPod/iPhone 故障の原因になります。
- 本製品を使用中にiPod/iPhoneのデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

ウォークマン® についてのご注意

<再生できるウォークマン® について>

- 本機で対応しているウォークマン® は次のとおりです。下記以外の動作保証および性能保証はいたしかねます。
 - NW-A30/ZX100/A20/S10/S10K/ZX2/S15/S15K/S14/S14K/A17/A16/ZX1/F880/S780/S780K/E080/E080K/F800/F800K/F800BT/S770/S770K/S770BT/E060/E060K/Z1000/A860/A850/A840/S760/S760K/S760BT/S750/S750K/S740/S740K/S640/S640K/E050/E050Kシリーズ
- ご使用のウォークマン® の製品名を確認するには、ソニーのホームページをご覧ください。
- 対応ウォークマン® についてはアルパインのホームページをご覧ください。
- 最新の接続確認情報は、アルパインホームページをご覧ください。

本機対応のフォーマットについて

MP3/WMA/AACについて

MP3	正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体のISOとIECの共同活動機関であるMPEGが定めた圧縮規格です。 MP3は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。また、CDクオリティに近い音質を実現しても約1/10の圧縮率を得ることができます(サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合)。 このような高圧縮率を実現しているMP3フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。
WMA	正式には「Windows Media™ Audio」と言い、音声データを圧縮する方式です。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約半分)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにCD同等の音質を保ちます。
AAC	AACとは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2およびMPEG4で使用される音声圧縮の基本フォーマットです。本機ではiTunes®AACファイル(著作権保護されていない)のみ対応しています。

ファイルの規格について

対応規格	MP3: MPEG-1 Audio Layer Ⅲ、 MPEG-2 Audio Layer Ⅲ、MPEG-2.5 WMA: Ver.7.x/8.x/9.x
対応サンプリング周波数	MP3: 8kHz ~ 48kHz WMA: 8kHz ~ 48kHz AAC: 8kHz ~ 48kHz
対応ビットレート	MP3: 8kbps ~ 320kbps WMA: 8kbps ~ 320kbps AAC: 16kbps ~ 320kbps
最大対応サイズ	512MB

- VBRに対応しています。
- フリーフォーマットには対応していません。
- MPEG1・2・2.5でそれぞれビットレートが異なります。
- 低ビットレートのMP3/WMA/AACファイル再生時は十分な音質が得られない場合があります。

ID3タグ/WMAタグについて

ID3タグは、ID3 Tag v1.0・v1.1・v2.2・v2.3・v2.4に対応しています。WMAタグはVer.1.xに対応しています。
タグ情報が付与されているMP3/WMA/AACファイルでは、タイトル名(曲名)・アーティスト名・アルバム名の情報を表示できます。

MP3/WMA/AACを作成するには

MP3/WMA/AACファイルを用意し、USBメモリーに書き込みます。

本機で認識できるフォルダー数の上限	1024個
本機で認識できるフォルダー階層の上限	8階層 フォルダーを階層表示することはできません。 再生できる曲が含まれているフォルダーのみがサーチの対象になります。
本機で再生可能なファイル数の上限	15000個※ ※ 対応拡張子のファイルであれば本機対応のフォーマットでなくてもカウントされます。

- 収録ファイル数が多いと動作開始まで時間がかかります。そのような場合にはファイル数を減らしてください。
- ダウンロードした音楽ファイルの圧縮フォーマット(.m4a)によっては本機で再生できない場合があります。その場合はパソコン等を使用して、本機対応のフォーマット(AAC/MP3/WMA)への変換をお試しください。

ファイル名について

本機で再生可能なMP3ファイルの拡張子は「mp3」です。WMAファイルの拡張子は「wma」です(WMAはVer.7.x・8.x・9.xに対応)。AACファイルの拡張子は「m4a」です。ファイル名の最大文字数は255文字(拡張子含む)です。

MP3/WMA/AACの再生について

MP3/WMA/AACファイルが収録されているメディアを挿入すると、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMA/AACファイルを再生します。ファイルをチェックしている間は、音は出ません。

- DRM(デジタル著作権管理Digital Rights Management)で著作権保護されたファイルは、本機では再生できません。
- 作成したライティングソフトや変換ソフトによっては再生できない場合があります。
- AACファイルを作成したソフトによってはファイル形式と拡張子が異なります。本機ではVer.11.0.1までのiTunesを使用してエンコードされたAACファイルのみの再生に対応しています。

MP3/WMA/AACの再生時間表示について

MP3/WMA/AACファイルの書き込み状況により、再生時間が一致しないことがあります。
VBRの早送り/早戻し動作をすると再生時間が一致しないことがあります。

9. 付録 約款・規約、その他(1/7)

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)、は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。))を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー 1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
 - (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき
- (当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

- 但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

■ 別表

視聴料金 300円(税抜き)
ただし、車載機購入価格に含まれております。

■ マイクロソフトからの使用許諾契約書

下記の使用許諾契約書をよくお読みのうえ、本ナビゲーションを正しくお使いください。

<使用許諾契約書>

本ナビゲーションには、アルパイン株式会社(以下「ALPINE」)のソフトウェアに加え、Microsoft社(以下「MS」)製Microsoft® Windows® AutomotiveがOSを使用したソフトウェア(以下「本ソフトウェア」)が含まれています。本ソフトウェアはコンピューターソフトウェアMicrosoft® Windows® Automotive並びに、それに関連した媒体、印刷物、「オンライン」、電子文書を含むこともあります。本ソフトウェアは無体財産権に関する法律、条約により国際的に保護されており、本ソフトウェアは許諾されるものであり、販売されるものではありません。お客様が本契約書の条項に同意されない場合、本ソフトウェアを使用複製することはできません。本契約は、お客様以下のことを許諾致します。

- お客様は、本ナビゲーションにおいてのみ本ソフトウェアを使用することができます。

9. 付録 約款・規約、その他(2/7)

- 本ソフトウェアは提供時の現状のままで、そこに含まれるあらゆる瑕疵とともに提供されるものであり、品質、性能、正確性その他不適切な取扱に伴う危険について何ら保証致しません。お客様が本ソフトウェアを使用する際支障をきたすことや、また、本ソフトウェアが第三者の無体財産権を侵害していないことについても何ら保証致しません。
- 法律の許す限りにおいて、本ソフトウェアの使用から生ずるいかなる損害(間接損害、特別損害、結果損害、偶発損害)についても、一切責任を負わないものとします。
- 本ソフトウェアに音声認識 および 音声制御機能が含まれている場合、お客様は音声認識 および 音声制御機能には統計的な手法であること、音声認識、制御の際の誤りはその過程上本質的に存在すること、その音声認識 および 音声制御機能の誤りに起因するあらゆる損害の法的責任はお客様にあること承諾されたものとします。
- お客様が、本ソフトウェアにつき、リバースエンジニアリング、逆コンパイルその他解析作業を行うことは禁じられます。但し、法律が明示的に許諾する範囲においてはこの限りではありません。
- 別途契約書が提示されない限り、本ソフトウェアのバージョンアップ品または付属品についても本契約が適用されるものとします。
- お客様に、復元または再インストールのためのソフトウェアが別媒体によって提供された場合、お客様は、提供されたソフトウェアを、復元または再インストールのためにのみ使用できるものとします。
- バージョンアップソフトウェアが別媒体やWEBからのダウンロード、もしくは他の手段で本ナビゲーションと別に提供された場合、お客様は提供されたソフトウェアの一部複製し、既存のソフトウェアの代わりとして、本ナビゲーションにインストールできます。また、そのアップグレードソフトウェアは添付の仕様許諾契約書の追加条項も含めた使用許諾契約書に従って使用できるものとします。
- お客様が、この使用許諾契約書の条項と条件を厳守されない場合は、他のいかなる権利も失うことなく、この使用許諾契約書の契約を終らせることができます。契約終了時、お客様はソフトウェアの全ての複製と部品を壊すこととなります。
- 本ソフトウェア、添付の印刷物、その複製物に含まれる全ての権利や無体財産権(画像、写真、アニメーション、ビデオ、オーディオ、音楽、テキスト、ソフトウェアに組み込まれている「アプレット」も含めて)、は、各コンテンツのオーナーの財産であり、著作権法あるいは無体財産権に関する法律と条約によって保護されています。この使用許諾契約書は、お客様にこのようなコンテンツを使用権を許諾してはいません。特にこの使用許諾契約書のもとで認可されていない全ての権利は、ALPINEとMSによって留保されます。ソフトウェアを通じてアクセスできるオンラインサービスの使用は、そのようなサービスに関連して使用のための各条項で管理されています。このソフトウェアが電子形式のみで提供されるドキュメンテーションが含まれている場合は、そのような電子ドキュメンテーションの一部のみ複製印刷できます。
- 本使用許諾契約書では、ALPINE、MSの登録商標やサービス商標の使用権利を許可しません。
- 製品や本使用許諾書に関してのお問い合わせは、本ナビゲーションの取扱説明書に記載されているアルパインインフォメーションセンターにお問い合わせください。
- お客様は、本契約に基づいて、本ソフトウェアの使用の権利を譲渡できるものとします。ただし、譲渡者は本使用許諾契約書の条項と条件に同意することを条件とします。また、本ソフトウェアがバージョンアップしている際は、以前のバージョンを含めたものも含め譲渡し、本ナビゲーションと分けての譲渡することはできません。
- 本ソフトウェアはアメリカ合衆国で製品化されたものを含んでいます。お客様は、アメリカ合衆国の輸出管理規制およびアメリカ合衆国その他の政府が発する輸出地に関する規制等、本ソフトウェアに適用される輸出に関する国際的、国内的規制を遵守することに同意されたものとします。

交通事故防止等安全確保のために 必ずお守りください

この取扱説明書では、安全にかかわる注意事項をその危険の大きさの程度に応じて、次のように分類して記載しています。



警告

その危険を回避できなかった場合に、死亡又は重傷を負う可能性のあるもの

- 運転者は走行中に操作をしないでください。
- 運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- 操作は安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
- 安全な場所以外では追突・衝突されるおそれがあります。
- 運転中は画面を注視しないでください。
- 運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- 常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。

- 本商品に収録されている地図データ・交通規制データ・経路探索・音声案内などが実際と異なる場合があるため、運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- 一方通行表示については常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。
- 一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。
- 本商品を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

路線別データ使用規約

本使用規定(「本規定」)は、アルパイン株式会社が提供する「高速道ナビ」サービスにより配信される「地図データ」(「本データ」)の提供元である株式会社ゼンリン(「弊社」)とお客様間の、本データの使用許諾条件を定めたものです。本データのダウンロード前に必ずお読みください。なお、お客様が本データをダウンロードされた場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

<使用規定>

1. 弊社は、お客様に対し、お客様自身が管理使用するアルパイン株式会社製「XL」(「機器」)1台に限り、本データを以下のいずれかの方法によりインストールし、機器の取扱説明書(「取説」)および本規定の定めに従い使用することを許諾します。なお、お客様は、本データの機器へのインストールを一部でも開始した場合は、本データをインストールする機器を変更できないものとします。
「パソコン経由でのインストール」
(1) お客様自身が管理使用するパソコン1台に限り、本データをダウンロード(複製)する。
(2) 上記(1)に従いパソコンにダウンロード(複製)した本データを、USBメモリーにコピー(複製)する。
(3) 上記(2)に従いUSBメモリーにコピー(複製)した本データを、当該USBメモリーを機器に挿入し、機器にコピー(複製)する。
「携帯電話経由でのインストール」
お客様自身が管理使用する携帯電話を通じて本データをダウンロードし、機器にコピー(複製)する。
2. お客様は、本データのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
(1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本データを使用すること。
(2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
3. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
(1) 本データの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属し、お客様は、本データに関して、本規定で許諾される権利以外の一切の権利を有しないこと。
(2) 本データおよび本データを使用することによってなされる案内などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、すべてが正確かつ完全ではないこと。弊社は、このような場合においても本データの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
(3) 本データに関する弊社のお客様に対する損害賠償責任は、弊社の故意または重過失による場合を除き、お客様が直接被った現実かつ通常の損害の賠償に限られ、また、機器の対価としてお客様がアルパイン株式会社またはその販売代理店に対して現実に支払った金額を限度とすること。なお、この規定は、本データに関する弊社の損害賠償責任のすべてを規定したものとすること。
(4) 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
4. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
(1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本データの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信することまたは同時に2台以上の機器で使用する。
(2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他の方法の如何を問わず、本データ(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
(3) 本データをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
(4) その他本データについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

9. 付録 約款・規約、その他(3/7)

地図データについて

収録データについて

収録されているデータ情報及び作成年月	
高速・有料道路	2017年12月
国道・都道府県道	2017年10月
高速・有料道路料金データ	2017年12月
交差点情報(ランドマーク・名称)	2017年11月
交通規制データ	2017年11月
VICSリンク開示	2017年11月
電話番号検索(タウンページ)	2017年11月
電話番号検索(ハローページ)	2017年8月
市街地図データ	2017年7月
住所検索データ	2017年11月
目的地情報(文字情報)	2017年10月
一般道レーン情報	2017年11月
都市高速入口案内データ	2017年3月
3Dジャイロ用昇降データ	2017年12月
静止画3Dリアル交差点データ(作成日)	2017年9月
動画3Dリアル交差点データ(作成日)	2017年10月
VICS交通統計データ(データ鮮度)	2016年10月1日～ 2017年9月30日
収録データ件数	
住所検索件数	約3,650万件
電話番号検索データ数(タウンページ)	約700万件
市街地図格納都市数	1,102都市
VICS交通統計データ(距離数)	約8万km
ハローページ収録件数	約1,455万件
交差点拡大対象交差点数	約81万件
郵便番号件数	約15万件
最寄り検索総数	約17万件

<収録データの補足説明>

- 「個人宅電話番号・名称データ」による「電話番号」検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で検索が可能です。なお、検索された物件の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。また電話番号非公開訪問先宅(データ収録外物件)については入力電話番号「局番」周辺の位置検出となります。
- 「住所検索データ」による「住所」検索は住所の整備状況により一部検索出来ない住所があります。また検索された住所の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。
- 「50音データ」および「タウンページ電話番号データ」によるピンポイント検索は、国土地理院発行地図の番号未掲載や電話番号登録時の状況により周辺地域による位置検出となる場合があります。
- 市街地カバー面積は収録地域によって全域をカバーしていない場合があります。

地図・情報について

このアルパインナビゲーションシステムの「地図」は「全国デジタル道路地図データベース」と「交通規制データベース」をもとに、株式会社ゼンリンが独自に収集した情報(高速道路・有料道路は2017年12月までに、国道・都道府県道は2017年10月現在までに)を網羅し、作成したものです。

本品に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては実際の道路状況および交通規制に従ってください。

地図の内容は、予告なく新しい地図データに更新されることがあります。現在、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、以下の地区において地図データ更新を停止しております。
南相馬市／浪江町／双葉町／大熊町／富岡町／楳葉町／飯館村／葛尾村

<地図版権について>

- このナビゲーションに搭載されている地図の内容の一部または全部の複製を禁じます。
- ©2018 一般財団法人日本デジタル道路地図協会
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地図及び2万5千分の1地形図を使用しました。(承認番号 平29情使、第444-B82号)
- この地図作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認 12-0040、12-0060)
- 3次元地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用しました。(承認番号 平29情使、第26-001号)

- この地図に使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター(JARTIC)の交通規制情報を使用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 「VICS」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 本品に使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。
(予測データ提供元:NTTデータ、予測の元となる情報:JARTIC/VICSセンター)
- © 2018 ZENRIN CO., LTD.
- © 2017 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION
- © 2017 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
- © ジオ技術研究所
- © 2018 ALPINE ELECTRONICS, INC.

個人宅電話番号・名称データについて

個人宅電話番号・名称データはおおむね2017年8月までに収集されたデータを使用しています。

- ※ 個人情報保護に関する基本方針およびナビゲーション地図に搭載されている個人データの取り扱いについては下記アドレスのホームページをご覧ください。
<https://www.alpine.co.jp/>

セキュリティ設定について

セキュリティコードを設定すると、盗難被害に遭ってナビを取り外されても、セキュリティコードを入力しないと本機を使用できません。セキュリティコードを設定することをお勧めします。



- 設定方法は「セキュリティ設定」(107ページ)を参照してください。

カーナビゲーションに記録されるデータについて

カーナビゲーションは、お客様ご自身の操作によりメモリーに記録される「地点情報」や「走行軌跡」の他にも、製品の修理等に役立てることを目的に、自動的に記録されるデータがあります。

- ① カーナビゲーションが自動的に記録するデータ
電源がONの状態の下記データを自動的に記録します。
 - ・ 目的地設定履歴 等
- ② 記録されたデータの開示について
弊社および弊社関連会社(開発委託先・サービス会社等)は、カーナビゲーションに記録されたデータを製品の修理、カーナビゲーションの研究開発を目的に取得・流用することがあります。
また、弊社および弊社関連会社は、以下の場合を除き、取得したデータを第三者に開示・提供することはありません。
 - ・ カーナビゲーションを所有するお客様ご自身の同意がある場合。
 - ・ 裁判所命令などの法的強制力のある要請に基づく場合。
 - ・ 統計的な処置を行う等、使用者が特定されないよう加工したデータを研究機関等に提供する場合。

FM VICS情報が受信できる代表的な周波数

全国のNHK FM放送局と同一周波数で放送しています。

- 情報提供地域の違いによって情報内容が異なります。詳しくはVICSのホームページをご覧ください。

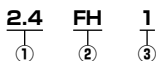
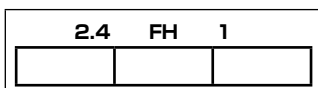
VICSに関するお問い合わせ

- VICSの概念・計画、表示された情報内容、文字・図形情報の表示内容については
VICSセンター お客様相談窓口
【電話番号】0570-00-8831 (PHS、IP電話等からは利用できません)
【受付時間】平日 9:30～17:45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
【FAX番号】03-3562-1719(24時間受付)
【URL】<https://www.vics.or.jp/>
- 地図表示のサービスエリア・受信可否・車載機の調子・機能・使い方についてはアルバイン インフォメーションセンターへお問い合わせください。

電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、アルバイン インフォメーションセンターまでご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えばパーティションの設置など)についてご相談してください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、アルバイン インフォメーションセンターへお問い合わせください。



- ① 「2.4」GHz帯を使用する無線設備を表します
- ② 「FH」変調方式を表します
- ③ 「1」想定される干渉距離(約10m)を表します

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、オープンソフトウェアを含んでいます。

Independent JPEG Group License

LEGAL ISSUES

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.

All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

- (1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no -warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
- (2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
- (3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA.

ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU

Autoconf.

It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable.

The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install -sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software.

(Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.) So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files.

To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that

"The Graphics Interchange Format (c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF (sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

LZF

Copyright (c) 2000 -2008 Marc Alexander Lehmann <schmorp@schmorp.de>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Alternatively, the contents of this file may be used under the terms of the GNU General Public License ("GPL") version 2 or any later version, in which case the provisions of the GPL are applicable instead of the above. If you wish to allow the use of your version of this file only under the terms of the GPL and not to allow others to use your version of this file under the BSD license, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the GPL. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this file under either the BSD or the GPL.

wpa_supplicant

Copyright (c) 2002-2012, Jouni Malinen <j@w1.fi> All Rights Reserved.

Copyright (c) 2002-2004, Instant802 Networks, Inc.

Copyright (c) 2005-2006, Devicescape Software, Inc.

Copyright (c) 2011-2012, Qualcomm Atheros

Copyright (c) 2011-2012, Qualcomm Atheros, Inc.

Copyright (c) 2009-2011, Atheros Communications, Inc.

Copyright (c) 2009-2011, Atheros Communications

Copyright (c) 2007-2012, Intel Corporation

Copyright (C) 2008-2010 The Android Open Source Project

Copyright (c) 2004-2005, Sam Leffler <sam@errno.com>

Copyright (c) 2004, Video54 Technologies

Copyright (c) 2004, 2Wire, Inc

Copyright (c) 2007, Johannes Berg <johannes@sipsolutions.net>

Copyright (c) 2008-2009 Jouke Witteveen

Copyright (c) 2004, Gunter Burchardt <tira@isx.de>

Copyright (c) 2009-2010, Dan Harkins <dharkins@lounge.org>

Copyright (c) 2009-2012, Masashi Honma <masashi.honma@gmail.com>

Copyright (c) 2006, Dan Williams <dcwb@redhat.com> and Red Hat, Inc.

Copyright (c) 2009-2010, Witold Sowa <witold.sowa@gmail.com>

Copyright (c) 2011, Kel Modderman <kel@otaku42.de>

Copyright (c) 2014 Toshiba Corporation

Copyright (c) 2014 Toshiba Corporation Semiconductor & Storage Products Company

Copyright 2007 Andy Green <andy@warmcat.com>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above -listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2003, 2004 David Young. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are

met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of David Young may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY DAVID YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL DAVID YOUNG BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation

Copyright (c) 2006-2007 Sony Corporation

Copyright (c) 2008-2009 Atheros Communications

Copyright (c) 2009-2010, Jouni Malinen <j@w1.fi>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of Sony Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2000 -2003 Intel Corporation All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

EGL

- * Copyright (c) 2008 -2009 The Khronos Group Inc.
- * Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and/or associated documentation files (the "Materials"), to deal in the Materials without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Materials, and to permit persons to whom the Materials are furnished to do so, subject to the following conditions:
- * The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Materials.
- * THE MATERIALS ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.
- * IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE MATERIALS OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE MATERIALS.

vecmath

Copyright (C) 1997, 1998, 1999 Kenji Hiranabe, Eiwa System Management, Inc.

This program is free software.

Implemented by Kenji Hiranabe (hiranabe@esm.co.jp), conforming to the Java (TM) 3D API specification by Sun Microsystems.

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation. Kenji Hiranabe and Eiwa System Management, Inc. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "AS IS" with NO WARRANTY.

Loki Library

The Loki Library

Copyright (c) 2001 by Andrei Alexandrescu

This code accompanies the book:

Alexandrescu, Andrei. "Modern C++ Design: Generic Programming and Design Patterns Applied". Copyright (c) 2001. Addison-Wesley.

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above

copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation.

The author or Addison-Wesley Longman make no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

STL

Copyright (c) 1992-2007 by P.J. Plauger. ALL RIGHTS RESERVED.

Consult your license regarding permissions and restrictions.

This file is derived from software bearing the following restrictions:

Copyright (c) 1994 Hewlett-Packard Company

Permission to use, copy, modify, distribute and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation.

Hewlett-Packard Company makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

V5.03:0009

SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008)

SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008)

Copyright (C) [dates of first publication] Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice including the dates of first publication and either this permission notice or a reference to <http://oss.sgi.com/projects/FreeB/> shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SILICON GRAPHICS, INC. BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Silicon Graphics, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from Silicon Graphics, Inc.

<保証書について>

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げの日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

<アフターサービスについて>

- 調子が悪いときは、この取扱説明書や「完全操作ガイド」(裏表紙参照)でもう一度ご確認ください。
- それでも調子が悪いときは、保証書記載(裏面)に従い修理させていただきますので、お買い上げ店または「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品は、製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げのお店または「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 修理によって登録内容が消去される場合があります。修理を依頼する前には、必ず登録している内容の控えを取ってください。

<規格/付属品>

ナビゲーション部

受信周波数	1575.42±1MHz
受信感度	-130dBm

GPSアンテナ部

本体部外形寸法 (幅×高さ×奥行)	26.0mm×12.9mm×26.0mm
重量	12g

地上デジタルテレビ・チューナー部

受信周波数	470～710MHz
回路方式	PLL周波数シンセサイザー
受信チャンネル	UHF13～52チャンネル
受信感度	-85dBm

ラジオ・チューナー部

受信周波数	AM:522～1629kHz
	FM:76.0～95.0MHz
実用感度	AM:22.5μV
	FM:0.8μV(75Ω):9.3dBf(新IHF)
ステレオセパレーション	FM:45dB以上
SN比	FM:80dB以上
イメージ妨害比	FM:80dB以上
IF妨害比	FM:80dB以上

FMVICSチューナー部

受信周波数	FM:76.0～95.0MHz
-------	-----------------

BLUETOOTH部

BLUETOOTHバージョン	Bluetooth3.0
対応プロファイル	HFP、OPP、PBAP、A2DP、AVRCP、SPP
出力	+4dBm(Power Class2)

HDMI入力部

対応I/F	480p(720×480p @59.94Hz/60Hz) 480i(1440×480i @59.94Hz/60Hz) 720p(1280×720p @59.94Hz/60Hz) VGA(640×480p @59.94Hz/60Hz)
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

HDMI出力部

対応I/F	720x480p @ 59.94/60Hz(4:3) 720x480p @ 59.94/60Hz(16:9) 1280x720p @ 59.94/60Hz(16:9)
接続可能台数	カスケード(多段)接続1段、最大4台

USBメモリ部

ファイルシステム	FAT 16/32
再生信号圧縮方式	MP3、WMA、AAC
供給電圧	5V

Wi-Fi通信部

対応規格(周波数帯域)	IEEE 802.11 b/g/a/n(2.4/5GHz*) ※W56のみ
対応チャンネル	2.4GHz:1～13ch 5GHz:100～140ch
セキュリティ方式	Open System/WEP/WPA Personal/ WPA2 Personal

総合

電源電圧	DC14.4V(動作範囲:11～16V)マイナスアース
最大出力	50W×4
プリアウト出力(音声最大出力レベル)	2V/10kΩ(最大)*
動作温度範囲	-20° C～+60° C
外形寸法(幅×高さ×奥行)	ボックス部: 178mm×50mm×161.8mm
重量	約1.3kg
付属品	取扱説明書・保証書類一式・取付部品一式 (取付説明書参照)

※ プリアウトケーブル接続時(付属部品にプリアウトケーブルがないモデルもあります。取付説明書を参照してください)

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があり得ますので、あらかじめご了承ください。

- BLUETOOTH®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アルパイン株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。
- Microsoft、Windows、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MPEG Layer-3オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonから実施許諾されています。
- 本製品の供給は、収益を発生する放送システム、ストリーミングアプリケーション、その他のコンテンツ配信システム、または物理的媒体で、本製品で創作されたコンテンツを配信する権利を暗示するものではありません。当該使用には、独立したライセンスが必要です。詳細に関しては、<http://mp3licensing.com>にアクセスしてください。
- "ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN"ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing, LLCの商標または、登録商標です。
- Apple、iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touch、and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- エコ運転支援機能はPivot社(www.pivotjp.com)製のe-drive機能の判断方式を使用しています。
- QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。
- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- マップコードは株式会社デンソーの登録商標です。
- ETC2.0は一般社団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- 本製品には、株式会社ACCESSのNetFront Browser DTV Profile BML Editionを搭載しています。
- ACCESS、NetFrontは株式会社ACCESSの日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- プラズマクラスターロゴ(図形)およびプラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の登録商標です。
- ぬけみちデータ/MAPPLEは株式会社昭文社の登録商標または商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™ロゴは、Wi-Fi Alliance®の認証マークです。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- 本地図上に表示される各社のロゴは、ビジネス上の所在地を示すものです。本製品におけるロゴの使用は、本製品と各社の間のスポンサー関係、承認、推奨することを何ら示すものではありません。



ワイドFM

NetFront®

ACCESS™

HDMI®
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

<次の点にご留意ください>

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- ・ AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
 - ・ 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
 - ・ ライセンスを受けた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
- 詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

9. 付録 地図マーク一覧

表示	内容	表示	内容	表示	内容
	病院		マリーナ、ヨットハーバー		山
	学校		交差点		史跡、名所
	郵便局		冬期規制区間		公園
	消防署		商業施設		動物園
	警察署		ホテル		植物園
	都道府県庁		銀行		水族館
	市役所、区役所		工場、工場敷地		遊園地、テーマパーク
	町村役場		教会		博物館
	官公署(特定記号無)		神社		図書館
	インターチェンジ、ランプ		寺		美術館
	サービスエリア		墓地		ガソリンスタンド
	パーキングエリア		温泉		カー用品店
	ジャンクション		海水浴場		国防施設(自衛隊、米軍など)
	ランプ出口		スキー場		JRA競馬場、ウインズ
	料金所(スマートIC含む)		ゴルフ場		レジャー一般
	駐車場		運動施設(スタジアムなど)		事故多発地点記号
	飛行場		城、城跡		路上パーキングメーター
	港、フェリー発着場		キャンプ場		その他施設

・情報検索精度について

電話番号検索および50音検索などは、電話番号登録時の登録内容によっては、該当する施設付近を表示する場合があります。本機に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があります。使用に際しては実際の道路状況および交通規制に従ってください。
本機は天変地異による規制には対応しておりません。該当する地域周辺を走行される場合は警察・交通情報センター等にご確認ください。

・地図データベースについて

地図データベース上、最終更新されたものを使用していますが、地域によっては最終更新日が古い場所も存在し、現在の状況と異なる場合があります。

・交差点拡大図に表示される地図マークは形状が異なる場合があります。

クイックセットアップ(販売店設定)について

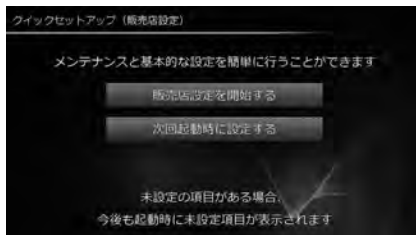
販売店設定は本機取り付け時に販売店で行いますので、通常は操作の必要はありません。クイックセットアップを初期化した場合、本設定を行ってください。本機初回起動時に設定画面が表示されます。

クイックセットアップ(販売店設定)をする

本機の初回起動時にクイックセットアップ(販売店設定)画面が表示されます。

1 販売店設定を開始する をタッチする

- ・次回起動時に設定する にタッチすると、お客様向けクイックセットアップ画面が表示され、次回起動時に再びクイックセットアップ(販売店設定)が表示されます。
- ・リアビジョンを接続されている場合で、リアビジョン側の設定に[コーディネートカラーコントロール/ブラズマクラスターコントロール]設定がある場合は、本設定を行う前に必ずリアビジョン製品側を[ナビ]に設定してください。



2 各項目の設定をする

「車種専用チューニング」をする

車種専用チューニングは本機をご購入された販売店で設定完了いたしますので、通常は設定する必要はありません。万が一設定が間違っていたり、本機を他の車に取り付けたりなど、再設定が必要な場合は「車種専用チューニング画面について」(112ページ)を参照してください。データをダウンロードすることもできます。「データ更新について(Wi-Fi)」(122ページ)、「データ更新について(メディア)」(124ページ)を参照してください。

車に合わせた設定を行います(2017年2月時点データ)。本機にプリセットされている車種から設定します。

設定する →

① お車のメーカーを選択 → 決定 → 車種を選択 → 決定

② 接続機器の設定

・リアカメラ: カメラあり カメラなし → 決定

・サブウーファー: あり または なし → 決定

・ステアリングリモコン^{※1}: 設定する または 設定しない → 決定

・リアビジョン^{※2}: あり または なし → 決定

③ 設定内容を確認 → 決定 → メッセージを確認 → はい → 閉じる^{※3} → 再起動

④ 再起動後、販売店設定を開始する → 車種専用チューニング画面の 次へ^{※4}

※1 選択した車種にステアリングリモコン設定がない場合、ステアリングリモコン設定画面は表示されません。

※2 リアビジョン設定がある車種でリアビジョンをHDMI接続している場合のみ、リアビジョン選択画面が表示されます。

※3 選択した車種により 閉じる の操作を行わない場合があります。

※4 再起動後、選択した車種によっては「車種専用チューニング画面の 次へ」の操作を行わない場合があります。「販売店設定」へ進んでください。

「販売店設定」をする

本機を取り付けた販売店の設定を行います。登録すると販売店へのルート検索・誘導が簡単にできます。

設定する → 地図から / 電話番号から / 住所から → 登録 → 次へ

「メンテナンス」をする

エンジンオイル・タイヤなど車両に関する各種点検時期を画面表示することができます。

設定する → 設定項目を入力 → 完了 → 次へ

・車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。

3 全ての項目の設定が完了したら 終了 をタッチする

4 メッセージを確認して、設定を終了する場合には はい をタッチする

10. 索引 索引(1/3)

五十音順

あ

アートワークアニメーション表示	106
アートワーク自動取得	105
明るさ	114, 139
空き道表示	95
アクティブルートサーチ	13, 100
アクティブルートサーチ案内音声割込み	100
(圧縮)フォーマットについて	169
アニメーション表示	106
アロマ	140
案内開始	7, 31, 32, 40
案内図表示	98
案内地点マーク一覧	43
案内誘導設定	98

い

位置情報	51
一括インストール	123, 125
一括ダウンロード	122
一般	40, 43
緯度・経度	37
イルミネーション運動設定	107
色の濃さ	114, 139
インストール	125

う

ウォークマン®	83
ウォークマン®についてのご注意	168
迂回エリア考慮	101
迂回距離	101
迂回する地点	49
裏番番組取得設定	78

え

英語案内表示	45
英語設定	106
映像ソース	105, 114
エコインフォ	9, 52, 107
エコガイド	52, 53
エコ情報初期化	107

お

オイルフィルター交換	131
オーディオ自動接続	117
オーディオモード画面への割込み	102
オープニング画像	112
オープニングサウンド	112, 115
お気に入り画面をカスタマイズする	35
お知らせ開始距離	131
お知らせ開始日	131
お知らせ設定	131
お知らせ日	131
お問い合わせ	132
オプションキー	30, 107
音質調整	109
音声案内	46
音声情報読み上げ	58
音読み上げ	115
音量調整	115

か

ガイド音声の音量を設定する	3, 115
外部接続機器選択	103
外部入力	94
各種設定	95
各部の名称	26
画質調整	114, 139
カメラについて	15, 136
画面OFF	30, 107
画面カラー変更	107
画面サイズ	114
幹線	40, 43

き

規格	177
機器探索	120
機器探索結果リスト	121

機器登録	118, 121
機器名 入力登録	121
気象警報/災害エリア	58, 129
気象警報・災害エリア表示	58, 96
規制	58
規制エリア	129
規制エリア表示	58, 96
規制考慮	40
規制マーク	57
規制マーク表示	96
軌跡情報を消去	95
軌跡表示	95
基本情報	51
行政界色分け	96
距離	40, 43
距離補正	106
緊急警報放送(EWS)の割込み	79
緊急情報画面	58

く

クイックセットアップ	2, 107
クイックセットアップ(販売店設定)	180
クロスオーバー	111

け

携帯電話を接続する	60
経由地スキップ	43
経由地編集	42
経路設定	100
県域設定	78
現在地画面	5
県境案内	98

こ

広域	5
交差点拡大図	44
更新履歴	127
後席個別TV・DVD・HDMI	103, 141, 143
後席スピーカー音量	141
後席操作音	115
後席表示設定	141, 142
高速渋滞モード	8, 46
高速・有料モード地図	97
交通情報	129
交通情報を聴く	71, 80
行程ガイド	9
行程ガイド施設マーク	47
行程ガイドマーク	47
合流案内	98
固定ガイド線	15, 137
困ったときは(よくあるご質問)	158
コントラスト	114, 139

さ

災害エリア	58, 129
細道路オートスケール	97
サブウーファー設定	111
サブウーファースタイル	109
残距離音声案内	98

し

時間曜日規制考慮	100
自機情報	119
自機情報編集	117
事故多発警告案内	98
自車位置修正	107
自車マーク	5, 97
システム保存	131
施設の詳細情報画面について	39
自宅へ帰る	36
自宅を登録する	2, 48
自宅を登録する(特別地点)	49
自動サーチ設定	78
自動サーチモード	78
自動着信	116
自動着信時間	116
自動ハイウェイモード	97
シネマ	114
シャープネス	114
車種選択	112
車種専用サウンド	109
車種専用チューニング	112, 122, 124, 180

車両情報	99, 131
ジャンル	37
住所	36
住所名称	37
渋滞学習	102
渋滞・混雑表示	95
渋滞情報	56
渋滞推測(空き道)表示	96
渋滞推測(渋滞・混雑)表示	96
渋滞線明滅表示	96
充電施設	130
充電施設マーク	57
周辺	33, 37
周辺迂回	43
周辺検索	34, 37
縮尺	4, 5
受話音量	115
条件変更	43
詳細	5
詳細案内図表示	98
詳細情報	51, 118, 119
情報保持時間	102
情報割込み	102
初期設定(ディスク)	152

す

推奨	40, 43
数字を入力する	157
スクロール方面表示	97
ステアリングリモコン	103
スマートIC利用	100
スマートフォンナビ連携機能	69
スマートフォンを接続する	60

せ

セキュリティ設定	107
接続機器変更(BLUETOOTH)	118
接続状態(Wi-Fi)	119
全情報初期化	108
前席操作音	115
全設定項目初期化	107
全ルート表示	41

そ

走行距離リセット	131
走行運動地図切替	97
送話音量	115
ソース別音量調整	111
その他設定	106

た

タイムコレクション	111
ダウンロード	122
タッチスイッチの操作について	29
ダブルゾーンコミュニケーション	14, 144
ダブルゾーンサウンドコントロール	14, 103, 145
ダブルゾーンを設定する	141
短縮時間	100
短縮ダイヤル	64

ち

地域設定	78
地上D⇄ワンセグ自動切替	78
地図切替	9, 27
地図更新状況	132
地図更新について	126
地図色切替	96
地図色切替	96
地図スケール切り替え	5
地図データ(更新)	59, 122, 124, 126
地図データについて	172
地図の文字サイズ変更	97
地図表示設定	95
地図マーク一覧	179
地点登録	48, 49
着信音量	115
着信全画面割込み	116
着信・通話画面情報表示	116
着信履歴	63
駐車場情報	130
駐車場マーク	56

10. 索引

索引(3/3)

M

Media Xpander	110
MHL	82
MITM(中間者攻撃)Protection設定	91

N

NaviCon	69, 70
---------------	--------

P

Parametric EQ	111
---------------------	-----

T

T.CORR	111
--------------	-----

U

USBで更新	128
USBメモリー	71
USBメモリーについてのご注意	168

V

VICS	54
VICS WIDE	54
VICS情報	129
VICS設定	102
VICSタイムスタンプ	5
VICS駐車場・充電施設表示	96
VICS提供道路	96
VICSでの音声読み上げ	102
VICS道路交通情報マーク	47
VISUAL EQ	114

W

Wi-Fi更新	127
Wi-Fi設定	119
Wi-Fi通信機器探索インジケータ	121
Wi-Fi通信機器を接続する	66, 120
Wi-Fi通信機器を切断する	120
Wi-Fi電界強度インジケータ	12
WPS登録	121

X

X-OVER	111
--------------	-----

数字順

1画面	9
2画面	9
2画面表示Navi+AV	18
3Dマップ	5
3Dランドマーク表示	97
6ルート	40

[illegible]

[illegible]

[illegible]

地図画面の見かた

地図画面の表示について(地図色:標準(昼の場合))



VICS情報の表示例

渋滞情報や駐車場、規制区間などの情報を地図上に表示します。



※ 渋滞情報

- (緑色): 空き道(交通の流れが良い状態)
- (黄色): 混雑(交通の流れがやや悪い状態)
- (赤色): 渋滞(交通の流れが非常に悪い状態)

- 仕様および外観は改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは撮影・印刷条件により実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談/お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

< 製品ご相談窓口 >

(平成 30 年 4 月現在)

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

< 電話でのお問い合わせ >

TEL: 0570-006636

- ※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。(携帯電話・PHS:20秒10円)
- ※ 一部IP電話など接続できない場合には、次の番号をご利用ください。03-6704-4926



< メールでのお問い合わせ >

ホームページのお問い合わせフォームより受け付けています。



< FAXでのお問い合わせ >

FAX: 045-522-8700

- 電話受付時間(日、祝日、弊社休業日を除く)
月～金: 9:30 ~ 17:30
土曜日: 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
- アルパインホームページ <https://www.alpine.co.jp>
アルパイン製品に関してのご質問と回答をご紹介します。

< 修理ご相談窓口 >

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3-18-14	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県



お願い

本書はやさしく取り扱ってください。
無理に広げたり引っぱったりすると
ページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in Japan

68-35792Z22-B (Y-752_B5)